

形に沿うように沈線が3条並走する。

6 縄文時代中期の遺構と遺物

縄文時代中期の主要な遺構は地形に関わり、低位に位置する調査区東側ではみられず、より高位にある調査区西側に展開する。縄文時代中期の様相は竪穴住居を中心とする集落の居住域を構成する遺構群と配石遺構など祭祀的な意味合いで構築された遺構群からなる。なお、遺構には、調査中略号を使用した。本稿では縄文住居1～62と表記し、念のため調査時略号も併記している。出土遺物は竪穴住居より多くの土器・石器が出土した。

(1) 竪穴住居

縄文時代中期の竪穴住居は掘り込みを伴い、床面には地床炉や石囲炉を有するものが大半である。竪穴住居の密度は高く、縄文時代中期の間でも時期差があることを示唆している。遺構検出面はⅦ層上面であり、Ⅶ層がすでに失われていたより高位面の西端についてはⅧ層より下位の面で検出している。しかし、削平面であるにも関わらず中期の竪穴住居はある程度埋土が残存していることを考えると、調査区西端高位面において黒ボクに相当するⅦ層があまり厚く堆積していなかったことを物語っている。埋土の観察によれば、ほぼ全ての竪穴住居が自然堆積であり、故意に埋め戻された様相を呈する住居は認められない。一部焼失した住居もあったが建築部材を特定し上屋を復元することはできなかった。

(福島)

縄文住居1 (第130図、写真図版100) SI406

古代の遺構調査中、検出した石囲炉である。不揃いの垂角礫が円を描くように巡るが、西側は欠落している。石囲炉北側に接して土器が埋設されていた。土器は地文のみであるが、下膨れの器形から中期後葉～末葉の深鉢であると考えられる。遺構の帰属時期もこの時期であると思われる。

縄文住居2 (第130図、写真図版101) SI407

古代の遺構調査中、石囲炉を検出した。住居は平面円形基調であると考えられるが、住居大半は調査区外西側へ続く。埋土は自然堆積である。石囲炉は古代の住居によって攪乱されている。少量の縄文土器が出土した。遺物・遺構面からみて縄文時代中期の竪穴住居であると考えられる。

(中村)

縄文住居3 (第131図、写真図版102) SI419

平面楕円形の小規模な住居である。石囲炉があるが、石は散在しており、乱れている。少量の縄文土器が出土した。縄文時代中期後葉の住居であると考えられる。

(船渡)

縄文住居4 (第131図、写真図版103) SI425

古代の遺構の調査中に検出した。円形を基調とする竪穴住居であると思われる。床面にはやや掘り窪めた地床炉が認められる。被熱が非常に顕著であり、赤化のみならず硬化も著しい。埋土や床面から縄文土器や土製品が出土した。土器は大木10式のもので占められ、当該期の竪穴住居であろう。

(川村)

縄文住居5 (第131図、写真図版103) SI435

調査区西側の最も高位面で検出された。検出面が大きく削平を受けており、石囲炉の残骸がわずか

に残存する。残存状況が良くないため平面形態や規模が判断できない。縄文時代中期の可能性が高い。

(船渡)

縄文住居 6 (第132図、写真図版105) SI437

平面円形の竪穴住居である。縄文住居 5 (SI425) に切られる。床面にはやや掘り窪めた地床炉が認められる。埋土から縄文時代中期の土器が少量出土したが、詳細な時期は不明である。

(川村)

縄文住居 7 (第133図、写真図版106) SI482

平面楕円形の住居である。床面と考えられる焼土粒が薄く分布する平坦面と、少量の暗褐色シルトを含む楕円形のプランを認めたため、竪穴住居と想定した。埋土より縄文土器が出土した。縄文土器は大木 9～10a式であり、中期末葉の住居であると考えられる。

縄文住居 8 (第133図、写真図版107) SI483

平面円形の竪穴住居であり、縄文住居 4 (SI425) に切られる。床面北側には地床炉が認められる。大木 9式～10a式の土器が定量出土した。このことから縄文時代中期後葉から末葉頃の住居であると考えられる。

(中村)

縄文住居 9 (第134図、写真図版107) SI484

平面円形基調であると考えられるが、大半が調査区外北へ続く。暗褐色シルトの埋土であるが、遺物は少量限定的である。詳細な時期は不明であるが、検出面から縄文時代中期の可能性が考えられる。

(福島)

縄文住居 10 (第134図、写真図版108) SI485

平面円～楕円形の竪穴住居である。床面中央やや南寄りの位置で土器埋設炉を検出した。焼土部分は土抗状に掘り窪められている。焼土の周囲に石組は認められないが、焼土南辺にのみ一つの炉石が認められ、その下面に土器 (D107) が埋設されていた。埋土や床面から土器が定量出土した。中には赤色顔料容器とみられる特殊な土器も含まれる。出土遺物から縄文時代中期後葉から末葉に位置付けられる住居であると考えられる。

縄文住居 11 (第135図、写真図版109) SI486

平面楕円形の住居である。床面ほぼ中央に 2 箇所の連なる焼土が検出された。2 基の焼土は外縁部で接しているため、上面からの観察では 8 の字形に焼土が形成されている。いずれの焼土も中央部は浅くレンズ状に凹む形状であった。これを取り囲む石組は存在しなかったが、焼土西側縁辺部に限定し、一つの板状礫が立てられた状態で設置されていた。本来は複式炉として方形基調の石組が存在した可能性が考えられる。埋土から縄文時代中期の土器が少量出土した。出土した土器より縄文時代中期後葉の住居であると思われる。

縄文住居 12 (第135図、写真図版110) SI487

遺構の大半は縄文住居 13 (SI488) によって切られているが、円形あるいは多角形を基調とする平面形態の住居であるとみられる。埋土からわずかに土器が出土しており、大木 8b式に相当すると思われる。縄文時代中期中葉の竪穴住居であると考えられる。

縄文住居 13 (第136図、写真図版110) SI488

平面略円形の竪穴住居である。上面に集石を伴う集石 15 の下部土坑 (SK485) に切られている。床

面は締まり、中央南寄りで地床炉を検出した。炉の中央は浅くレンズ状に掘り窪められていた。埋土より少量の土器が出土した。土器は縄文時代中期後葉であるとみられ、遺構間の切り合い関係とも矛盾しない。

(中村)

縄文住居14 (第137図、写真図版111) SI489

平面略台形の竪穴住居である。床面中央東寄りには小規模な焼土が認められる。埋土より土器が少量出土した。縄文時代中期中葉～後葉の竪穴住居であると考えられる。

縄文住居15 (第138図、写真図版112) SI490

平面略台形の小規模な竪穴住居である。床面中央東寄りには焼土が認められる。埋土より土器が少量出土した。縄文時代中期の竪穴住居であると考えられる。

縄文住居16 (第138図、写真図版113) SI492

平面楕円形を呈する竪穴住居である。床面には焼土と礫からなる石囲炉の名残が認められる。埋土から少量の縄文土器が出土した。土器から縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であると考えられる。

(福島)

縄文住居17 (第139図、写真図版114) SI493

平面やや不整な円形の竪穴住居である。縄文住居18 (SI494) を切る。床面中央北東寄りで石囲炉を検出した。石囲炉は平面円形あるいは多角形となるよう花崗岩等の板状礫を選択して全周させている。埋土および床面より縄文土器が定量出土した。縄文土器は大木10a式が主体であり、縄文時代中期末頃の住居であるとみられる。遺構の切り合い関係とも矛盾しない。

縄文住居18 (第140図、写真図版115) SI494

平面不整な円形の竪穴住居である。縄文住居17 (SI493) に切られるが、この掘り込みは床面まで到達していない。床面は固く締まり、3基の炉を確認した。いずれもこの住居に伴うものであると考えられるが、新旧関係があるものと考えられる。方形基調の炉1は廃絶直前に機能していた最新の炉であるとみられる。一方、炉2・3はそれぞれ床面よりわずかに下面に落ち込み、その上面を貼床で被覆されており、より古段階に機能したようである。さらに、炉2は前庭部のような浅い掘り込みを伴い、石囲炉以外の石列も認められ、複式炉であった可能性が考えられる。埋土および床面より縄文土器が出土しており、土器から縄文時代中期後葉の住居であると考えられる。

(中村)

縄文住居19 (第141図、写真図版116) SI495

平面不整な円形の小規模な竪穴住居である。縄文住居20 (SI496) を切る。床面には地床炉が3箇所認められる。いずれも床面よりやや凹んだ地床炉であり、炉2のみ縄文土器深鉢下半 (D160) が埋設されている。炉2は凹み内部まで住居の埋土が堆積していることから廃絶に近い段階に機能していた炉であると判断できる。その他の2基の先後関係は不明であるが、部分的な貼床によって被覆されている点から炉2より先行していたと判断される。比較的多くの縄文土器が出土しており、これら土器の特徴から大木10a式に帰属すると思われる。住居も中期末葉の時期であると思われる。

縄文住居20 (第141図) SI496

遺構の大半を縄文住居19 (SI495) に切られ、全体形および規模は不明である。残存部から平面方形の可能性もある。少量の縄文土器が出土したが、時期を特定することは難しい。検出面、切り合いからみて縄文時代中期中葉～後葉の可能性はある。

縄文住居21 (第142図、写真図版117) SI801

3段階の変遷が認められ、A～C段階とした。Cは微かに痕跡が残存し、最古段階であると判断した。Aは最も平面規模が大きく、平面円～略方形で、Cを壊して構築されている。BはAの完全埋没後に作られた最新段階の住居であるとみられる。Aは炉が残存しており、北寄りに複式炉が設けられている。石囲炉と前庭部からなる。長軸方向は南北である。石囲部の形状は東西がやや長い隅丸台形状を呈し、前庭部の形状は北壁側が開く台形状を呈する。原位置を保った構成礫は石囲部で東側と西側に1個ずつ、前庭部で南側の両側に6個残存している。構成礫は扁平な亜角礫で、焼土は断面形が浅皿状を呈する。焼土直上のにぶい赤褐色土には骨片が多く含まれている。縄文時代中期の土器が多く出土した。Aの住居機能時に近い状況で出土した土器の型式は大木10式相当で、住居の時期も縄文時代中期末葉に比定される。

縄文住居22 (第144図、写真図版118) SI802

平面楕円形を呈する。石囲部1・石囲部2・前庭部で構成される複式炉である。前庭部が住居壁際にあるとすれば南西壁に位置することになる。複式炉前庭部前方の西側で踏み固めら堅くなっている。住居内北東隅より埋設土器(D198)を検出した。概ね住居の長軸上において正立斜位に埋設されていたが、底部は埋設されていた当初から欠損していたとみられる。埋土から出土した縄文土器から判断して中期後葉～末葉頃の住居であると考えられる。

(阿部)

縄文住居23 (第145図、写真図版119) SI740

平面隅丸台形であるとみられる。縄文住居18(SI494)に切られ、縄文住居24(SI741)を切る。平坦な床面では地床炉と石囲炉がそれぞれ1基検出された。石囲炉南東床面は顕著に固く締まっている。この石囲炉は埋没直前まで露出していた炉であると考えられる。出土遺物は比較的多いが、縄文土器は大木8b～10a相当まで型式幅があり、混入遺物も多分に含まれていることが容易に想像できる。より下層から出土した土器は大木10a式相当の土器であり、その他古い型式の土器は切り合う他の住居由来の混入遺物であると思われる。住居の時期は縄文時代中期末頃である可能性が高い。

(須原)

縄文住居24 (第146図、写真図版120) SI741

平面円形を基調とするものと考えられるが、遺構の大半が他住居によって失われている。縄文住居18(SI494)・縄文住居23(SI740)に切られる。出土遺物から時期を判断できないが、遺構の重複関係から縄文時代中期中葉～後葉頃の可能性がある。

縄文住居25 (第146図、写真図版121) SI742

平面楕円形の住居である。縄文住居54(SI911)・縄文住居27(SI751)に切られる。埋土より縄文土器が一定量出土した。縄文土器は大木9b～10a相当である。遺構の重複からみて住居の時期は縄文時代中期後葉である可能性が高い。

(船渡)

縄文住居26 (第147図、写真図版122) SI744

平面不整な円形の住居である。大形木柱列の木柱10埋没後の住居であると思われる。また、縄文住居27(SI751)・縄文住居48(SI904)を切っていると思われる。床面は凹凸があり、明瞭な平坦面を見出せなかった。床面には平面長方形の石囲炉が検出された。石囲炉は仕切り石によって2分されている。埋土より縄文土器が見つかった。出土した縄文土器は縄文時代中期後葉のものが多く、他住居のものが混入した可能性もあり、判然としない。

縄文住居27 (第148図、写真図版123) SI751

平面方形基調の竪穴住居であると考えられる。縄文住居25 (SI742) を切り、縄文住居26 (SI744) に切られる。床面で石囲炉を検出したが、石が欠落している部分があり、本来の形状は不明である。埋土より少量の縄文土器が見つかった。また、大木9b式の深鉢と思われる土器が床面で出土していることから、この住居は縄文時代中期後葉の遺構であると思われる。

(船渡)

縄文住居28 SI754

縄文時代の集落の南東部に位置する。平面形態は円形の住居であると想定されるが、北側は中世前半の堀1によって失われている。中央より南寄りに石囲炉が認められる。本来は前庭部を持つ配置であると推測され、その範囲が硬化していた。縄文時代中期後葉の大木9a式相当の土器が少量出土した。切り合う他住居なく、これらが住居の時期を示すと思われる。

縄文住居29 (第149図、写真図版124) SI758

縄文時代の集落の南東部に位置する。平面楕円形の住居であるが、南側の端部は前庭部の張り出しのためか、やや尖り気味である。貼床はないが、石囲炉の前庭部に相当する遺構南部には褐色粘土を貼った硬質面が認められた。石囲炉は長方形である。これには浅いが、硬化した面の広がる前庭部を有するとみられる。縄文時代中期後葉の大木9a式相当の土器が少量出土した。切り合う他住居なく、これらが住居の時期を示すと思われる。

(中村)

縄文住居30 (第149図、写真図版125) SI812

平面やや不整な円形を呈する。住居ほぼ中央で石囲炉を検出した。石囲炉は複式炉と考えられ、方形で小規模な部分とより大きな石組からなる。また、南側は前庭部と思われる部分が硬化している。出土遺物は縄文土器がある。土居は大木9式期であるとみられる。出土した遺物と遺構から推測して縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

(西澤)

縄文住居31 (第150図、写真図版126) SI813

縄文住居43 (SI827) を切る。床面が傾斜するため住居ではないかもしれない。

(澤目)

縄文住居32 (第150図、写真図版125) SI815

床面で炭化材が多く認められたため焼失住居であると思われる。床面中央南寄りでは複式炉を検出した。複式炉は方形石囲内部に土器埋設炉、方形石囲炉、石組を伴う前庭部がセットになっている。土器埋設 (D166) は深鉢下半のみが認められた。前庭部の石組は石囲炉に接する部分のみ列状に施されている。大木10a式に相当すると想定され、この住居は縄文時代中期末葉であると考えられる。

(西澤)

縄文住居33 (第150図、写真図版137) SI827

縄文住居31 (SI813) に切られる。床面が傾斜するため住居ではないかもしれない。

(澤目)

縄文住居34 (第151図、写真図版128) SI816

不整な平面形態の住居である。床面中央には地床炉と石が集中する。石囲炉であった可能性が考えられる。出土遺物が少量で時期を特定できないが、縄文時代中期の範疇であると思われる。

縄文住居35 (第152図、写真図版129) SI817

平面円形の住居である。同一箇所には2棟分の住居が存在する。規模の大きい縄文住居34B(SI825)が古く、これの埋没後に規模の小さい縄文住居34A(SI825)が作られたものと思われる。床面は中心部で比較的硬化した面がみられる。床面では1基の炉と2箇所の焼土を検出した。焼土も地床炉であると考えられ、1基の炉上面の凹みには住居埋土で充填堆積しており、B段階の炉であるとみられる。縄文土器が多く埋土から出土した。A段階埋土からは大木9a式、B段階はこれらに加え、大木10a～10b式とみられる土器がそれぞれ出土しており、A段階が縄文時代中期後葉、B段階が縄文時代中期末葉にそれぞれ位置付けられる。

縄文住居36 (第153図、写真図版130) SI818

中世前半の堀1によって大半が失われているが平面円形と推測される。床面には多くの炭化材が残存していることから焼失住居であるとみられる。床面には長方形の石囲炉が認められ、この石囲を仕切り石によって2分されている。出土遺物および遺構の形態から縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であると考えられる。

縄文住居37 (第153図、写真図版131) SI819

平面円形の竪穴住居である。床面では炭化材が多く認められ、焼失住居であると推測される。本来は複式炉であったと想定され、仕切りのある石囲炉に加えて前庭部の掘り込みを有する。しかし、この上に別の石囲炉が乗っており、時期差があるものと思われる。大木9b～10b式の土器が出土したが、住居機能時に近い出土状況の土器は大木10b式であると考えられる。出土遺物および遺構の形態から縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であると考えられる。

(西澤)

縄文住居38 (第154図、写真図版132) SI820

中世前半の堀1によって大半が失われているが、平面円形と推測される。埋土からわずかに縄文土器が出土した。出土土器から縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であると考えられる。

縄文住居39 (第154図、写真図版135) SI824

低地に接し下降する緩斜面地に立地する不整な円形で小規模な竪穴住居である。遺構下面より陥し穴が検出された。縄文時代中期の遺構であると考えられるが、より詳細な時期は不明である。

(澤目)

縄文住居40 (第155図、写真図版134) SI822

縄文住居41(SI830)と重複し、これを切る。床面には炭化材が多く認められ、焼失住居であると推測される。平面楕円形であると推測され、中央南東寄りに複式炉の名残が認められる。石は残存していないが、土器埋設炉が残存する。埋設された土器(D196)は大木9b～10式相当であると考えられ、住居は縄文時代中期後葉～末葉であると考えられる。

(西澤・福島)

縄文住居41 (第158図、写真図版140) SI830

縄文住居40(SI822)と重複し、これに切られる。調査時点では円形の竪穴住居であると認識して調査を進めたが、整理の過程で平面長方形あるいは長楕円形の竪穴住居であると考えた。したがって、図は調査時点での認識で留まっている。写真では周溝も長軸方向に列を成す柱穴も認められる。床面は市固く締まった平坦面である。石囲炉は円形基調であるが西端部石列が欠落しており、縄文住居40(SI822)の前庭部によって壊されているものと考えられる。柱穴の埋土より土器(D195)が出土しており、特徴は大木9a式に相当する。遺物より縄文時代中期中葉～後葉の住居であると考えられる。

(福島)

縄文住居42（第156図、写真図版136）SI826

低地に接し下降する緩斜面地に立地する不整な円形で小規模な竪穴住居である。遺構下面より陥し穴が検出された。縄文時代中期の遺構であると考えられるが、詳細な時期は不明である。

縄文住居43（第157図、写真図版137）SI827

低地に接し下降する緩斜面地に立地する不整な円形の竪穴住居である。縄文住居31（SI813）に切られる。縄文時代中期の遺構であると考えられるが、詳細な時期は不明である。

（澤目）

縄文住居44（第157図、写真図版138）SI828

中世前半の堀1によって大半が失われているが、平面円形と推測される。床面では炭化材を多く検出しており、焼失住居であると考えられる。完存していないが、石囲炉を検出した。仕切り石が認められることから2分されていたものとみられる。埋土からわずかに縄文土器が出土した。土器は大木9a式相当である。出土土器から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

縄文住居45（第158図、写真図版139）SI829

概ね平面円形の竪穴住居である。床面では石囲炉が認められ、石囲炉で仕切り石が認められ、2分されている。大木9b～10a式であると思われる。いずれも床面より出土しており、住居も縄文時代中期後葉～末葉であると考えられる。

（西澤）

縄文住居46（第159図、写真図版142）SI901

縄文時代中期集落の東端部に位置する。集落内でもいくつかみられる方形基調の住居であり、平面は隅丸長方形である。位置的に水に漬きやすい環境だったためか埋土最上位には沖積層の堆積が及んでいる。中期末の集落廃絶期まで凹みが残存していた可能性が高い。断面では周堤状の高まりも確認できた。周堤は積み上げ痕跡が認められないため地山削り出しの可能性が考えられる。床面中央やや東寄りには、円形に整えられた石囲炉が認められる。埋土から縄文土器が少量出土した。これらは大木9a式に相当するまとまりである。出土遺物から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

（立花・福島）

縄文住居47（第160図、写真図版143）SI903

平面不整な円形である。床面は平坦で、中央に焼土が検出された。焼土の周囲には堀方が認められることから本来は石囲炉であったものと考えられる。埋土はシルト主体の自然堆積である。少量の縄文土器が出土した。わずかな出土遺物より縄文時代中期中葉～後葉の竪穴住居であると推測される。

（須原）

縄文住居48（第160図、写真図版144）SI904

平面楕円形の竪穴住居である。縄文住居26（SI744）に切られる。床面では南東部に石囲炉が認められ、床面を掘り込んだ前庭部がみられる。前庭部は粘土貼り付けで硬化している。出土遺物が限定的で詳細な時期は不明であるが、縄文時代中期中葉～中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

（立花）

縄文住居49（第161図、写真図版146）SI906

平面多角形（六角形？）である。遺構南西部は粘土採掘坑によって切られている。遺構埋土は自然堆積である。固く締まった床面には2基の炉を検出した。住居南端部に掘り込み前庭部を有する炉は住居プランに則った形態である。前庭部に石組が部分的に残存する。焼土周りにも石が巡らされていた可能性が高い。この炉は人為的に埋め戻された形跡があり、石を外した後に埋め戻され床面が再生された

とみるべきである。一方単独の石囲炉は4個の礫で方形区画が作られ、それにもう一区画付随する可能性がある。こちらが新設の炉として機能したものと考えられる。周溝も平面プランに則って掘り込まれている。埋土から縄文土器が多く出土した新古入り混じっているが、大木10a式が主体のようである。出土遺物より中期末葉の竪穴住居であると考えられる。

(須原)

縄文住居50 (第162図、写真図版147) SI907

不整な平面形態であり、複数の住居が錯綜している可能性も考えられる。床面では3基の炉を検出した。うち南側の2基(A・C)は石囲炉であり、もう1基(炉B)も破壊された石囲炉だと考えられる。出土遺物は大木10式に相当するとみられる。縄文時代中期末葉の住居であると考えられる。

(立花)

縄文住居51 (第163図、写真図版148) SI908

平面やや不整な円形の竪穴住居である。床面南端部に石囲炉が検出された。石囲炉は平面長方形で仕切り石によって2分された複式炉である。石囲炉には前庭部が付随する。前庭部にも石列が認められる。埋土より大木9a式に相当する土器が出土した。縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

縄文住居52 (第164図、写真図版149) SI909

平面形態は不明であり、床面のみ検出した。石囲炉に前庭部が付随する複式炉であると推定される。床面に接して1点の縄文土器(D88)が出土した。出土土器から考えて縄文時代中期後葉の住居であると推測される。

(須原)

縄文住居53 (第165図、写真図版150) SI910

平面不整な円～方形である。周溝が複数条認められることから複数棟存在するものとみられる。床面では3基の炉を検出し、うち1基は石囲と前庭部を有する土器(D70)埋設炉(B)であった。同様の軸方向と前庭部を有する炉(C)は炉(B)作り替え前の炉である可能性が考えられる。これらとは別に石囲炉がみられ、単純な石囲炉であり残存状況から最新段階であるとみられる。埋土から多くの縄文土器が出土した。これらは大木8b～10a式相当である。縄文時代中期後葉～末葉の遺構であると推測される。

(立花)

縄文住居54 (第166図、写真図版151) SI911

平面円形基調の竪穴住居である。大形木柱列に切られる。粘土貼り付けによって硬化した南側床面には複式炉が認められる。石囲炉と前庭部からなり、長方形を呈する石囲炉は、仕切り石によって2分されている。ただし、それぞれの方形区画は大きさが異なり、前庭部側がやや大きく作られている。埋土より出土した土器は、大木9b式に相当すると思われる。出土遺物および遺構の特徴から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

縄文住居55 (第167図、写真図版152) SI912

縄文時代中期集落の東端部に位置する平面円形の竪穴住居である。埋土はシルトで自然堆積である。床面には2基の炉が確認された。炉1は焼土と石の抜き取り痕跡からなり、本来は石囲炉であったと考えられる。炉2は石囲炉であり、平面方形を指向して石が巡る。ただし、石は石材・大きさ・形態ともに不規則であり、内部は被熱していない。埋土より大木9a式に相当する土器が出土した。出土遺物から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

縄文住居56 (第168図、写真図版153) SI913

平面長方形の竪穴住居である。床面中央付近で石囲炉を1基検出した。石囲炉は平面円形である。1箇所欠落がみられるが、石は全周すると推測される。燃焼部は床面よりもわずかに低い面で被熱している。遺構の自然埋没後直上では集石遺構が構築されている。埋土よりわずかな土器が出土しており、土器は大木9a式に相当するものとみられる。出土遺物と検出面から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

(須原)

縄文住居57 (第169図、写真図版155) SI754

縄文時代中期集落の南東部に位置する。集石および列石を除去すると検出可能であることから、この住居埋没後配石遺構が構築されたものとみられる。遺構北端は中世前半の堀1によって切られているが、平面楕円形を呈すると思われる。床面中央やや南寄りに石囲炉を検出した。平面形は南端が直線的な楕円形である。石囲炉南端には前庭部と想定しうる褐色粘土を貼り付けた硬質面が認められた。埋土より縄文土器が出土し、土器は大木9a式でまとまっている。出土遺物および遺構の特徴から縄文時代中期後葉の竪穴住居であると考えられる。

(中村)

縄文住居58 (第170図、写真図版133) SI821

竪穴住居の全体像は掴めなかったが、小規模な石囲炉のみを検出した。石囲炉の平面は楕円形で仕切り石によって分割されている。出土遺物はないが、縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であった可能性が考えられる。

縄文住居59 (第170図、写真図版141) SI831

竪穴住居の全体像は掴めなかったが、石囲炉のみを検出した。石囲炉の平面は長方形で仕切り石によって2分されている。明瞭な掘り込みはみられないものの、石囲炉南端に取り付くように硬化面が認められ、前庭部であった可能性が高い。出土遺物はないが、縄文時代中期後葉～末葉の竪穴住居であった可能性が考えられる。

縄文住居60 (第170図、写真図版141) SI832

竪穴住居の全体像は掴めなかったが、石囲炉であるとみられる礫と焼土を確認した。礫は散在しており、原位置を留めていない礫もあると思われる。縄文時代中期の住居であったと考えられる。

(澤目)

縄文住居61 (第170図、写真図版145) SI905

全体形状は不明であるが、床面および石囲炉と柱穴を確認した。石囲炉は平面長方形で、仕切り石で2分される。また、前庭部の掘り込みも付随する。柱穴内より縄文土器片が出土しており、土器は大木9b式相当である。削平を受け住居の平面形態は不明ながら、遺構の特徴と出土遺物から縄文時代中期後葉の住居床面であると考えられる。

(須原)

縄文住居62 SI301

調査区西側、縄文時代集落の最西端に位置し、調査区西端に広がる湿地に接するように立地する。小判形に近い長楕円形を呈する。床面中央付近には地床炉が認められた。埋土は黒褐色シルトの自然堆積であり、出土遺物も多くはない。出土遺物および遺構の形態から縄文時代中期中葉～後葉の住居であると考えられる。

(福島)

(2) 埋 設 遺 構

竪穴住居との関係性が掴めない土器埋設遺構を集落内で4基検出した。これらは土器埋設遺構と呼称し、土器埋設遺構1 (SX908)、土器埋設遺構2 (SX801)、土器埋設遺構3 (SX909)、土器埋設遺構4 (SX923)である。いずれも埋設された土器は完存するものはないが、上下が失われていても全周する。これらの土器はいずれも縄文時代中期の集落では古い土器群に位置付けられる土器である。本来は竪穴住居に付随していたもので、その後の集落展開によって遺構本体が失われ、最終的にこれら土器埋設遺構のみが残された可能性も考えられる。

土器埋設遺構1～4 (図版179、写真図版173)

土器埋設遺構1 (SX908)は大木8b式の大形深鉢 (D333)を天地逆にして埋設されていた。土器下半部は失われている。狭小な堀方を有しており、いわゆる埋甕に近いあり方である。土器埋設遺構2 (SX801)も大木8b式の深鉢 (D335)を天地逆にして埋設されていた。土器下半および底部は失われている。これも狭小な堀方が認められ、いわゆる埋甕に近い状況である。土器埋設遺構3 (SX909)は大木8b～9a式相当の小形深鉢 (D346)の口縁部付近を検出し埋設土器であると判断した。土器は口縁部を上にしてのものの底部に向けて斜位に埋められていた。比較的大きめの堀方を有する。土器埋設遺構4 (SX923)は正位に埋められた状況の深鉢底部 (D339)である。土器は大木8b式あるいは9a式に相当すると思われる。

石器埋納遺構1 (図版179、写真図版173)

楕円礫を4点まとめて納めた状況を呈する。隣接する田鎖遺跡でも検出したものと同様の遺構である。遺跡内では特殊磨石として磨面を持つ石器に形態は似ているが、使用面は認められないためこれから使用するためにストックされていたものである可能性が考えられる。

(福島)

(3) 配 石 遺 構

配石遺構は、調査区西側でも南寄りに位置する集石・列石・石囲の複合的な遺構である。これらのうち列石と石囲はそれぞれ組み合わさった形で構成されており、一体の遺構であると考えられるが、集石はこれらと重なるように検出される場合もあるため必ずしも同一視できない。いずれも沖積層下部であるVI層によって完全に被覆され、VII層上面が純粋な検出面となっていることから沖積作用が始まる少し前に構築されたものであり、遺棄された状態で懸濁水によって水没していったものと考えられる。また、これらの下位には縄文時代中期の集落が形成されていることから縄文時代中期末～後期初頭までの間に構築され、そのまま遺棄され、埋没した遺構群であると判断できる。

(福島)

集石1 (第170図、写真図版156) SX905

調査区西側に位置する。平面不整形を呈する円礫・亜角礫のまとまりで構成される。本来は円を描くように配された可能性も考えられるが、乱れが生じている。下部には土坑状の掘り込みがあるが、上部との関係は不明である。

集石2 (第172図、写真図版157) SX904

平面楕円形を呈する円礫および亜角礫の集合である。下位には浅い掘り込みを伴うが石を据えるための堀方の可能性も考えられる。

集石3 (第173図、写真図版158) SX902

浅い堀方を有し、礫は円礫が多数を占める。一部立石として立ったままの礫が1点認められる。欠失部あるいは複数の集石の集合体の可能性もある。

集石4 (第173図、写真図版159) SX919

略方形を呈するが、堀によって北側を切られているため本来は円形基調であった可能性が考えられる。1点の花崗岩を中心に放射状に配置されている可能性も考えられる。

集石5 (第173図、写真図版159) SX918

円礫と大きめの角礫によって構成されている。検出した礫は散逸的で構成までは判明しない。部分的に円形、弧状となる箇所があり、複数の円形集石を内包あるいは複合する可能性がある。

集石6 (第174図、写真図版160) SX920

散逸的で欠失している部分が多くある可能性が高い。円礫を中心とするが、角礫も若干数混じる。東側には列石のように線的に並ぶものもある、列石に伴う石組であった可能性も考えられる。

集石7 (第174図、写真図版160) SX921

やや大きめ花崗岩が円を描くように配置され、その内区を小円礫で充填した集石であると考えられる。大半は乱れが生じており、元の形状は失われているものと考えられる。

集石8 (第173図、写真図版160) SX914

4分の1程度が残存する円形の集石であると推測される。中心には角礫花崗岩の立石が立てられていたと考えられる。立石は円礫の欠落部分側にやや傾いている。この立石を中心に長楕円形の円礫が放射状に隙間無く置かれている。長楕円形の円礫は中心に近くなるほど細く小さい傾向があり、意図的に選択されて配置されているものと考えられる。外縁部はより大形の礫が全周した可能性がある。

集石9 (第173図、写真図版159) SX913

堀1に北半を切られた半円状に円礫がまとめられており、本来は平面円形の集石であったものと推測される。円の中心と思われる部分は欠落しており、この円中心部に立石に伴う可能性が考えられる。円礫の配置に明確な規則性は認められない。

集石10 (第174図、写真図版167) SX911

列石の一部を覆うように検出された平面円形を呈する円礫のまとまりである。残存状況が良好であり、平面的な礫の配置が推測可能である。円外縁部は板状あるいは棒状の礫で円の外周に沿って縁取りがなされている。円内部は楕円形を中心とする円礫が放射状に密な状態で敷き詰められている。円礫は長辺を有効に配置するのではなく、設定された円の中に隙間無くぎっしり詰め込んだような状況である。中心部は欠落しているが、中心に本来立石があった可能性が高い。放射状円礫の中には、より大きな角礫が2個、間隔を空けて立石状に検出された。より複雑な円配置であったと思われる。配置等から列石より時間的に後に構築されたものと考えられる。

集石11 (第174図、写真図版162) SX912

平面円形を呈する円礫を中心とした集石である。円礫は概ね放射状に配置され、一部外縁部を花崗岩の角礫で縁取る様子が認められる。円の中心まで円礫が詰まっており、立石があったかどうか定かではない。しかし、円中心部はわずかに凹んでおり、円礫上に立石が倒立する可能性も考えられる。

集石12 (第174図、写真図版156) SX905

平面円形を呈する円礫のまとまりである。礫の配置に規則性はないが、より大形の角礫が立石状にみられる。集石の下位には平面円形の土坑が認められ、埋土は人為堆積である。墓壇の可能性も考えられるが、人骨は出土しなかった。

集石13 (第172図、写真図版157) SX903

長楕円形の円礫のまとまりである。平面円形であると推測されるが、欠落部分が大きく詳細は不明である。理由は不明であるが、本来円形の集石に乱れが生じたものとみられる。

集石14 (第172図、写真図版157) SX922

平面双円形に円礫のまとまりが認められた。近在する縄文住居46 (SI901) とは直接的な切り合い関係はないが、検出面の様子から住居廃絶後の埋没中に構築された集石であるとみられる。すでに水が漬き始め、沖積作用の堆積が始まった頃に構築されたと考えられる。円礫の配置に規則性はほぼ認められないが、角柱状の石柱が1点倒位で検出された。角柱は成形されており、立石として用いられたものと判断される。原位置に近い状況で倒れた可能性も考えられるが、これを据えた掘り込みは認められない。

集石15 (第179図、写真図版166) SK485

平面円形に円礫のまとまりが認められた。縄文住居13 (SI488) と重複し、下部土坑がこれを切っている。円礫は長楕円形のものが多く、放射状に敷き詰められていた様子が残存する礫配置から読み取ることができる。集石下部には土坑があり、墓壇の可能性も考えられる。

列石1 (第175図、写真図版162・163) SX900

2条の並走する列石である。南側を堀1によって切られている。北側では途切れがあり、連続性は不明であるが、SX907も同一軸線上にあるため密接な関係があったものと考えられる。列石は2条が約1mの間隔を空け、平行に延びる。軸方向は北北西方向であり、概ね直線的である。2条の列を構成する礫は、長楕円形の円礫が主体であり、長辺を列方向と直交するように並べられている。礫はそれぞれ堀方を持たないため、土をかき寄せて周囲が固定された可能性がある。西列には4箇所の平面略円形の石囲が付属する。石囲の中央には、その他の構成礫よりも大きい花崗岩が認められ、これらが立石であると考えられ、半ば倒立している立石も認められる。一方、東列には、やや乱れがあるが1箇所の石囲が認められる。列石に石囲のアクセントがあるが、これらは左右対称の関係ではないようである。西列は北端で列に乱れが生じており、列が欠失している箇所には集石が認められる。この集石は、外縁部の大形礫による縁取りから考えて直径約2mの円形であるとみられる。列の乱れとこの集石が呼応しているかのような状況である。現段階では、列石の解体と新たな集石の構築が併行しておこなわれたと想定される。

列石2 (第176図、写真図版164) SX907

列石1の北側で検出された列石である。その他の列石よりも散逸的で本来の形状を留めていない可能性が高い。巨視的にみると、散逸的な礫の分布は、南側に近接する列石1とほぼ同一軸方向、2条平行の列石であると捉えることができる。西列は乱れが大きいのが、礫の集中は1列想定され、列上に2箇所の花崗岩が間隔を空けて存在する。これら花崗岩は石囲中央の立石部分に該当していた可能性が考えられる。さらに、西側にはもう1列、短い礫の列状のまとまりがあり、3条であった可能性も考えられる。南側列石1を越え、列石3にも通じる可能性を指摘しておく。一方、東列は南端に石囲があり、中央には倒位であるが、花崗岩の角柱状礫が存在する。この東列は列石1の西列に連続するように並ぶが、石囲より北側は乱れており行方が不明瞭である。

列石3 (第177図、写真図版165・167) SX910

列石1の南側にほぼ同一軸で延びる2条の列石を主体とする。堀1によって列石の北端が寸断され、列石直下には縄文時代中期の竪穴住居57 (SI754) が検出されている。その他の列石よりも残存度が高く、列の長さも10mを超える。列石の構成礫は大半が長楕円形あるいは棒状の円礫である。円礫は列石1同様、列の軸方向と直交する向きに円礫長辺を据え、1個ずつ並べられている。2条の列

の間には1～1.2m程度の間隔があり、概ね平行する。やはり列には、石囲と立石が要所で付属する。西列には近接する2基1対の石囲が2箇所あり、規則性が見出される。一方、東列はその配置がやや異なり、3基1対の可能性が考えられる。また、一部石囲を起点として東西に延びる列も確認され、石囲には分岐点の意味を内包するものもあったと考えられる。西列北側には比較的まとまった集石10があり、これによって解体されている可能性がある。直下の堅穴住居が大木9a式期であるとみられるため、この列石は、それ以降の構築であると考えられる。

列石4 (第178図、写真図版165) SX916

列石3西側に直接接していないが、分岐するように弧状に延びる。その他の列石と異なり、列は複数の円礫を組み合わせて1条の列石としているようである。残存状況の良好な部分から推測すると、列状に2列長辺方向を順行させ、その平行する2列間を直角方向に向きを変えた円礫で充填するように並ぶ。弧状、並べ方が列石3とは大きく異なっているが、列石3の石囲から分岐するように延びるため一連の遺構である可能性が高い。

列石5 (第178図、写真図版167) SX924

列石3西側に位置し、散逸的であるが円礫が列状となる。立石を伴う石囲とみられる箇所も認められる。列は1条であるとみられ、微かに曲線を描いている。

(須原・福島)

(4) 大形木柱列

調査区西側で検出した大形の11基の土坑群は環状に巡って配置されていることが判明した。環状配置はやや長楕円形となっており、長軸となる主軸は北西方向を指向する。軸線を中心に左右対称配置となっており、それぞれ対象の土坑規模はそれぞれ近似する。ただし、北側列は堅穴住居があるため開口部径は小さくなっている。また、これら土坑の規模は頂点から離れるに従って規模が小さくなる傾向である。各土坑の配置から木柱が坑内に据えられていたものと判断したが、北西端と南東端に向け、木柱そのものも徐々に小さいものへと変化する可能性を指摘しておく。いずれも1.5～2mの開口部を持つ平面円形の遺構である。深さは大半が1.5mを越え、深く掘り込まれている。各木柱は平面円形を呈し、他の貯蔵穴などよりも深く円筒形に掘り込まれる。そのため調査中は幾度も掘削や記録作業を激しい湧水によって阻まれた。開口部は開くが、中位から下位にかけての壁は垂直に立ち上がり、崩落等が認められない。これらの特徴から土坑は大形の木柱を据えた直後に埋め戻された堀方であることが想定される。ただし、これら土坑断面では明瞭な柱痕跡は認められなかった。木柱の残存するうちに引き抜かれた可能性が考えられる。これら木柱の時期を特定できる出土遺物は得られていないが、遺構の重複関係(縄文住居3棟)から大木9a～9b式期の住居を切り、大木9b～10a式期の住居に切られている。したがって、この木柱列は中期後葉頃、短期間に構築されたものとみられる。同様の遺構調査例として一関市清水遺跡例が挙げられ、その平面的な配置も酷似する。

木柱1～11 (第190図、写真図版168～170)

各土坑は木柱1～11の呼称を与えた。木柱1(SK916)は木柱列の北西頂点部分に位置する。開口部は大きく外方へ開くが、下位は垂直に立ち上がる。底面は平坦である。木柱2(SK842)は南側木柱列のうち頂点部分に隣接する。陥し穴(SK)に切られる。開口部はわずかに外方へ開き、壁面下位は垂直気味に立ち上がる。木柱3(SK844)も開口部は外方へ開き、壁面下位は垂直気味に立ち上がる。木柱4(SK844)は壁面下位がわずかに膨らむ。木柱5(SK851)は湧水のため底面の記録が不可能であったが、規模および形態は対の関係にある木柱8(SK722)と近似するものと推測される。木

柱6 (SK724) と木柱7 (SK723) はそれぞれ同一規模であり、他の木柱よりも平面規模は小さく、深さも浅い。木柱8 (SK722) および木柱9 (SK721) は縄文住居48 (SI904) を切って構築されている。木柱10 (SI744—SK01) は縄文住居26 (SI744) と重複しており、木柱埋没後に住居が構築されており、住居より古いことがわかる。出土遺物少なく、遺物から遺構の時期を特定するのは困難であるが、先述した通り、縄文時代中期後葉に機能した遺構であると考えられる。

(5) 貯 蔵 穴

貯蔵穴 1～31 (第182図、写真図版174～179)

調査区西側で検出した土坑のうち、貯蔵穴の特徴を備えるものは27基である。その多くはⅦ層以下で検出できる。多くはより高位の削平された範囲に分布するため結果的にⅨ層上面での検出となる。大半の貯蔵穴は平面円形で、底面径が開口部より大きくなるフラスコ形状である。遺跡の西側に多く分布する。俯瞰すると竪穴住居が西側で希薄になるにつれ貯蔵穴の密度は高くなる傾向である。このことから貯蔵穴と居住域の占地に区別がなされ、併存関係にありながらも貯蔵エリアは集落西側に展開するものと想定される。

(6) 粘 土 採 掘 坑

粘土採掘坑 1～10 (写真図版182・183)

調査区西側で検出した土坑のうち、大きく不定形の土坑を粘土採掘坑とした。これらはいずれも下位にあるⅨ層などを狙って掘り進めており、開口部は竪穴だが、底面から横方向に掘り込まれている。粘土採掘坑で得られた土は、住居の貼床などに用いられていることが調査中に判明した。これは、縄文時代中期の遺構面およびその基盤ではみられない客土が部分的に貼り付けられていたことが確認できた。特に床面より前庭部周辺に多く分布する傾向である。これらの知見から粘土採掘坑は土器や土製品製作で用いられているのではなく、おもに住居の造作や補修等で用いる土を得るためのものであったと考えられる。これら採掘土は乾燥すると固く締まる様子が調査中も確認できた。

(7) 陥 し 穴

陥し穴 1～8 (第189図、写真図版180・181)

調査区西側で集落内ではあるが、陥し穴も検出された。形態や深さは一様ではないが、陥し穴の機能を想定される逆茂木痕を底面が検出される遺構も存在する。細長い、溝状の陥し穴が存在しないことから、これらは縄文時代中期集落開始以前のものも多く含まれると考えられる。

(福島)

(8) 縄文時代中期の遺物

調査区西側に展開する縄文時代中期の集落に伴う遺物を掲載した。土器・石器からなるが、石器については時代が前後する遺物も混在する可能性がある。

縄文土器 (第295～344図、写真図版266～301)

D10～487は縄文時代中期の土器である。土器型式では概ね大木8a式～大木10式までの時期が想定される。現在、各大木土器型式は細分案がいくつか示されているが、まとまりを欠く恐れがあるため、今回は各型式を前半と後半に区分した編年観を用いることとした。出土した中期の土器は、より古相段階の大木8a式、より新相の大木10b式が少量であることから集落の消長を示している状況である。

したがって、縄文時代中期集落の主要な時期は概ね大木8b式～10a式までであると考えられる。ただし、大木8b式土器の出土量に比して、当該期の竪穴住居の検出数は少なく、検出数が増えるのは大木9a式以降の竪穴住居であり、集落最盛期は大木9式～10a式段階に求めることができよう。出土した中期の土器を概観すると、深鉢が主体でわずかな浅鉢が器種構成に加わる。さらに少量の器台も存在する。深鉢は地文のみのもので、地文に様々な文様が付加されるものに分けることができる。これら様々な文様は大木8a～9a段階の隆沈線、9b式～10b式段階の沈線、刺突列などが主要な文様として挙げられる。また、この段階では磨消縄文も多用される。また、胎土に雲母が多く認められる個体があり、これらは総じて大木10式に相当する土器である。この時期すべての土器ではないが、川原など流水のほとりの決めの細かな土砂を採取し、混和材として素地粘土に混ぜ込んで、成形した可能性が考えられる。

D10は口縁部に無文帯があり、体部には磨消縄文に縦位の刺突列が伴う。D21は器台である。無文で外面はミガキが認められる。円形の透孔が複数箇所あったものと考えられる。D23は沈線を挟んで上下2列の刺突列が横方向に連続する。D26は貧弱な沈線で区画された内部に地文が残存する磨消縄文である。D30は非常に緻密な胎土と丁寧なミガキが特徴的な大形の深鉢体部片である。複雑な曲線によって区画された内部を地文で充填している。D34は上半部に沈線で区画された外部を磨消縄文が展開する。沈線末端には部分的に単純な刺突列がみられる。D38は文様が地文のみであるが、口縁部はわずかな幅でヨコナデによって消され、無文帯が創出されている。一方、D40は同様に地文が主体であるが、横方向に沈線が巡り、無文帯を画している。D44は体部下端部を横方向にケズリが施され、地文を消している。D45は口縁部無文帯から派生するように環状の装飾が認められる。無文帯下端には刺突列が巡る。D50は浅鉢である。注口が付く。D51は体部下半に膨らみを有する深鉢である。沈線で区画が施され、外面には磨消縄文がみられ、口縁部付近には刺突列が沈線に沿って連続する。内外面に小さなヒレ状突起が付帯される。D56は小形の深鉢である。口縁部から体部にかけて沈線で区画がみられ、内部は地文が磨り消されている。沈線区画端部と口縁部内面にはヒレ状突起が付加されている。D74・75は口縁部無文帯を有し、これから垂下する沈線によって体部文様帯は区画される。区画内部は地文磨り消しによって外部と隔てられる。これに加え、いずれも縦方向に刺突列が連続するが、前者は竹管状工具の先端、後者は丸棒状工具の先端を寝かせた状態で押圧されている。D78は体部上半が残存する深鉢である。大きな波状口縁であるが、口縁部無文帯を画する沈線はほぼ水平である。連続する凹形に垂下する区画が沈線によって創出されており、内部は地文が磨り消されている。D77は口縁部に取り付く加飾部分である。全面的に赤色顔料が塗布されている。D85は口縁部から底部まで残存する深鉢である。口縁部外面にはヒレ状突起が認められる。D89は小形の深鉢である。頸部が大きく屈曲する器形である。沈線によって渦巻き等の文様が施されている。D97は丁寧なミガキが全面施された土器である。外面には隆沈線によって流麗な文様が展開し、突出部による加飾が附加されている。D108はダルマ形を呈する土器であるが、横口式になっており、上部は脱着可能な状態で焼成されたものとみられる。内面には赤色顔料が付着しており、特に蓋天井部と横口周辺内面は他所より濃い赤色になっている。外面は無文であるが、特殊な土器であることは疑いない。県内でもいくつか類例があり、赤色顔料を入れるための専用容器であると考えられる。容器に顔料を入れる際には、蓋を取って入れ、蓋を載せた天井部を指で押さえながら片手で持ち、横口から振りかけるように顔料を出すという一連の使用方法が推測される。共伴遺物から推測すると中期後葉から末葉に帰属する可能性が考えられる。D121はミニチュアの深鉢である。口縁部に沈線が1条巡る。D127は小形の深鉢である。口縁部は2単位の波状口縁で、体部は括れを有する器形である。文様は沈線による省力化され

た渦巻き文が描かれている。D141は体部外面に地文が施され、口縁部は1条の沈線で区画された無文帯を有する。口縁部は水平であるが、段差が認められ、口縁部の高さが異なる。D151～153は器高の高い深鉢である。地文のみであり、口縁部に明瞭な無文帯はみられない。体部下端は調整によって地文が消されている。D157は体部中位に最大径を持つ深鉢である。体部外面には沈線による「P」の字を横に倒したような区画が認められ、区画内部は地文が磨り消されている。「P」の字の始点と終点にはそれぞれヒレ状突起が付加されている。D158は口縁部から体部上半片である。口縁部は内彎し、外面には文様帯が認められる。この文様帯貼り付けの隆線と刺突列が巡る。D161は口縁部が4単位の波状となる深鉢である。体部下半がやや膨らみを持ち、下膨れ器形である。外面は沈線によって「H」・「U」などのアルファベット形の区画が描き出されており、外部の地文は磨り消されているが、一部区画には刺突列が充填される箇所もある。D166は体部上半および口縁部を欠く。体部には沈線による区画文があり、区画外部の地文は磨り消されている。D168は口縁部無文帯が太い沈線によって区画されている。体部上半には横向き「J」の字状区画が沈線によって創出されており、その内部は地文が磨り消されている。この区画の始点と終点にはそれぞれヒレ状突起が付与されている。D171は体部が丸く膨らむ壺形の深鉢である。頸部は括れ、口縁部は外傾する。頸部には橋状の突起が4単位附加され、体部は沈線によって文様が描かれているが、全面ミガキが施されており、地文は認められない。D188は深鉢口縁部片である。口縁部には隆沈線によって横位の長方形区画が連続する。区画内は地文である撚糸の回転文が横位に展開し、体部の縦位の撚糸とは向きが異なっている。D189～193は小形の深鉢である。いずれも文様は沈線が主流である。D186は地文のみの深鉢である。D196は沈線で区画された内部に充填縄文が認められる。区画は「工」の字形を縦に複数結合した形態である。D200は一部口縁部を欠くが、概ね全体形状が把握できる。口縁部は緩やかに外傾し、外面は無文帯が沈線によって画されている。体部には「O」の字形の区画が沈線によって表現されており、その内部は撚糸による地文が磨り消されている。区画上下にはヒレ状突起が認められる。D201は口縁部が外傾する形態である。口縁部は無文帯であり、沈線によって区画されている。この無文帯から体部の無文帯へと連続する。体部の区画は沈線で区画され、内部は地文磨り消しによって無文化されている。D207は横位沈線によって文様がみられる。上部と下部に3条1単位、その間には1条の波状沈線が巡っている。宮古以北の土器に似る。D218は体部中位に最大径を持つ大形深鉢である。文様は地文のみである。D263は頸部に橋状突起を有する壺形の深鉢であるが、体部の膨らみは大きくない。D276はキャリパー形の深鉢口縁部片であると思われる。外面には隆沈線によって文様が展開し、口縁部に接して円盤状の突起が付加されている。突起は上から見ると渦巻き文になっている。D287は比較的スリムで直線的な体部に、波状口縁が続く器形である。口縁部形態に沿うように隆沈線が認められるが、体部の文様は沈線のみで構成されている。D299は口縁部無文帯、体部は磨消縄文である。これらは沈線によって区画されており、所々刺突列もみられる。D333は土器埋設遺構1（SX908）の土器である。大形の深鉢であり、キャリパー形となるように頸部が括れ、口縁部は内彎する。口縁部は水平口縁であり、内彎する口縁部文様帯は隆沈線によって横長に文様が展開する。この文様は渦巻き文が認められ、一部渦巻きには棘状の三角文が取り付く。緩やかに括れる頸部は無文帯であり、上下は隆沈線によって区分されている。体部文様はやはり隆沈線によるものである。無文帯および内面は丁寧ミガキが施されている。D335は土器埋設遺構2（SX801）の土器である。下半は欠損している。口縁部には水平方向に隆沈線が認められる。D353は口縁部が加飾された深鉢である。加飾部はうねりを伴う横向き円環状の突起と上向き円環状突起が交互に配されている。体部の地文は撚糸縦回転であり、部分的に沈線で区画され、内部の地文が磨り消されている。中期末の特徴を備えている。D396・

D437は器台である。いずれも無文であり、透かしの円孔が側面に認められる。D461は波状口縁の深鉢である。口縁部のみ隆沈線で文様が施されるが、体部の文様は沈線を主体としている。沈線は2状1単位や3状1単位のものである。

石器 (第358～394図、写真図版314～344)

K1～33は石斧である。大半が磨製石斧であり、一部製品には北海道産のアオトラ石が石材として認められる。これらは擦り切り技法によって加工されており、その擦り切り痕跡が残っている。弥生時代の大陸系磨製石斧以外でアオトラ石が用いられている石斧はK20・21などである。

K34～71は片面加工石器と称した石器群である。円礫を敲打によって大きく剥離させ、片側の自然面を残して、一方の剥離面側の外縁部をより細かな剥離調整で整えている。この剥離調整によって大半が楕円形を呈する。いくつかの製品には自然面側にも剥離調整がおよぶものもある。石斧未成品の可能性も考えられるが、この次の工程で留まっている未成品が出土していないことを考えると、この形態で完成形とし、何らかの利器として使用されたものと推測される。これらの使用法は不明であるが、長軸方向片側幅広部に刃部を想定した場合、刃部角度が大きいためスクレーパーのような使用が考えられる。

K72・73は軽石製の浮子であると考えられる。K72は台形板状に成形されており、頂部に貫通する円孔が認められる。K73は円盤形であるが、貫通孔が3箇所認められる。いずれも水に浮く軽石であることから浮子であると想定した。

K74～119は敲磨器類である。K74～91は一側縁あるいは両側縁に強い擦痕が認められるもので、いわゆる特殊磨石に分類されるものである。形態は楕円形、三角柱形、扁平形、丸棒状に分類できる。楕円形・扁平形のは長側面に、三角柱形は三角形の一頂部長側面に、丸棒状は長側面に、それぞれ非常に強い磨りが認められる。磨り面は未使用面と比べて極端に平滑で、磨り面の外形線は稜を持つ場合が多い。平坦で非常に硬い物質が対象物となったと推測される。

K92～109・112・113は磨石に敲打痕が伴い、その箇所がクレーター状に凹む石器である。凹石とも称される。円形や楕円形のもものが主体であるが、棒状のものもわずかに認められる。一定の使用法が想定される。

K110・K111は棒状の敲石である。先端部に敲打痕が認められる。握って使用された可能性が高い。

K114～117は角柱状の石材の長側面を磨り面として使用したものである。今回はこれらのもたまりを砥石とした。形状からみて置いて使用された可能性が高く、磨り面は磨り減って大きく凹む。表裏2面使用、4面使用のものがある。磨製石斧など利器の刃部研磨に用いられた可能性も考えられる。

K118・119も形態は異なり、破損しているが、使用法としては砥石の機能を有する可能性がある。

K120～145は石皿であると考えられる。K120・121・122には長方形の脚部が削り出されている。使用面側には縁が削り出されているものもみられる。全体形状の判明するものは出土しておらず、大半のものが破損している。破損後に敲石として転用されているためか、敲打痕が認められる例が多い。K145は軽石製でその他の石皿とは用途や機能が異なる可能性が考えられる。

K146～150は台石とした。板状の礫であり、その他全体的に不定形である。同様の板状礫は多数出土しているが、表面に明瞭な使用痕があるもののみを抽出し掲載した。K150は大形の礫で片面中心部が擦痕を伴い大きく凹んでいる。

K151～271は石鏃である。K151～249は無茎鏃である。これらのうちK151～198は基部に抉りがあり、凹基無茎石鏃である。K199～216は明瞭な茎はないが、基部がやや突出する形態である。K217～249は基部が平坦で凹凸がみられない平基無茎石鏃である。K250～271は有茎鏃に分類できる。基部に

茎が意図的に作り出されている。これらの多くが凸基有茎鏃である。石材はすべて頁岩であると考えられる。

K272～290は石錐である。先端が細く長く作り出されている。大きく開いた基部を有するK279～290は錐部の調整が非常に細かい。石材はすべて頁岩である。

K291～301は尖頭器である。形状は様々であるが、多くは長楕円形である。両面に剥離調整が施されている。石材はすべて頁岩である。

K302～389は石匙である。これらのうちK302～376は基部摘まみ部分を上にした場合、刃部が縦長となる。一方、K378～388は基部摘まみ部分を上にした場合、刃部が横長となるものである。縦長の刃部のものは、裏面が刃部のみの微細剥離調整が基本であるが、K324・339・361・375は両側縁調整がなされている。

K390～396は石篋である。長台形あるいは長方形であり、通常の石斧より小形である。両面ともに微細な剥離調整が施されている。刃部はより幅広部分であると考えられる。

K397～495は不定形の剥片石器である。刃部が認められるため削搔器であると考えられる。

土製品 (第294図、写真図版265)

J25～35は土製耳飾である。円環状のものと円盤状のものと2者ある。いずれも刺突列による文様が認められ、J31・33のようにヒレ状突起が附加されているものもある。これらは土器の文様との近似性から縄文時代中期末頃のものである可能性が高い。J36・37は土偶であると考えられる。J36は肢体表現に乏しいが、表には小さい突起が認められる。へその表現の可能性も考えられる。J37は板状で表裏に沈線と縄文による文様が展開する。側面にも沈線があり、突出部には刺突がなされている。形態から土偶の下半身であると推測される。J38～45はキノコ形土製品である。傘部分まで残存するものと石突き部分のみ残存するものがある。いずれも簡易な成形である。J46・47は先端部を失っているが、基部側に円孔が穿たれた、いわゆる斧状土製品である。J46は表面に複節の縄文が施文されている。一方、J47は鋭利なもので施された刻みが連続する。粘土の動きから、横方向に筋描きされたものではなく、刃物のような物を連続して押しつけて施文されている。J49は匙形土製品であると考えられる。小椀形の一方にわずかな突出が認められ、突出部基部には沈線が巡る。J48は土器片の側縁部を再加工した土製円盤である。側縁部はすり減っており、破面が研磨された可能性が高い。土器外面側には複節の縄文が認められる

石製品 (第256～358図、写真図版312・313)

H42は石製の勾玉である。薄い扁平板状で、「C」の字形を呈する。上部には穿孔が認められる。H43は滑石製の装飾品と思われる石製品である。本来の形状は不明であるが、特に内面側該当部分の整形がほかより粗いことから管状であった可能性が考えられる。2箇所の穿孔があることから簡素な管玉のような形態の製品ではない。H44は1箇所の穿孔がある石製品である。垂飾製品の可能性が推定される。H45は頁岩製の石棒であると考えられる。片側は欠損する。表面は研磨によって滑らかであり、部分的に端面を持ち、断面多角形となる部分もある。H46は頁岩製の石剣であると考えられる板状の石製品である。表面は研磨され、その無数の擦痕が明瞭である。H47は石製垂飾具と思われる穿孔された石製品である。板状のデイサイト製であり、全面が研磨されている。新しい時代の提げ砥石の可能性もある。H48は砂岩製の石棒である。先端部は欠損している。全面に細かなチッピングによる成形痕跡が認められるが、その後研磨されている。H49は石棒あるいは石柱である。表面は研磨されており、両端部は欠損している。本来は配石遺構中心部に立っていたものとみられる。

7 縄文時代早期の遺構と遺物

縄文時代早期の主要な遺構は、比較的高位にある調査区西側に展開する。ここでは縄文時代中期の面の下位に早期末の遺構面が広がる。Ⅷ層を除去し、Ⅸ層上面で竪穴住居を中心とする集落の居住域を構成する遺構群を検出した。これよりも西側のより高位面でも遺構が展開する可能性も考えたが、より西側ではすでにⅨ層上面まで下げて遺構検出を試みており、早期の竪穴住居の分布範囲は限定的であることが確認できた。ただし、分布域を外れより西側では、早期の土坑（SF401）を1基検出した。竪穴住居は大形のものであり、中期竪穴住居の2倍を超える平面規模である。出土遺物は土器・石器を中心に多くみられる。土器は尖底・砲弾形であり、内外面縄文が施されるものも含む。土器の特徴を集約すると、赤御堂式相当であると推測される。さらに、これらに比べると僅少であるが、調査区西側で縄文時代早期中葉の遺物も出土している。しかし、縄文時代早期中葉の遺構は確認されなかった。

(1) 竪穴住居

縄文住居63（第191図、写真図版184）SI914

縄文時代集落域の最も低位に位置する。縄文時代中期の縄文住居46（SI901）はこの遺構の埋土中に構築されている。当初SI753など複数の竪穴住居が重複していると考えたが、調査を進めるとこれらはすべて一つの遺構に内包されるものと判断した。長方形を基調とする平面形態で、規模は大形である。北辺には平面的突出部が認められ、当初別遺構である可能性を考えたが、この住居の一部である可能性も否定できない。住居の一部であれば、床面より浅いため出入口のような施設の可能性もある。床面は激しい湧水のため炉は確認できなかった。床面では図化できなかったが、無数の柱穴を確認した。柱穴は壁際に沿って列状に認められるが、短辺となる西側壁には壁に接して柱穴列が配置されている。埋土は自然堆積であり、下層に炭化物を主体とする薄層が認められた。埋土や床面から土器が多く出土した。土器は縄文時代早期末葉の土器であり、検出層位および出土遺物から縄文時代早期末葉の竪穴住居であると判断される。

縄文住居64（第92図、写真図版185）SI915

平面長方形を基調とする大形の竪穴住居である。北西方向を指向する軸角である。床面では無数の柱穴を確認したが、規則性を見出すことができなかった。縄文時代早期の土器が出土したが、大半は縄文住居68（SI756）の遺物として取り上げられているものが含まれると思われる。検出層位からみれば縄文時代早期の竪穴住居であり、その他の住居と特徴が共通するため早期末葉であると思われる。

縄文住居65（第193図、写真図版186）SI916

縄文住居63（SI914）南側を一部切るが、これよりも掘り込みが浅いため縄文住居63の床面まで到達していない。平面長方形を呈すると推定される。床面には地床炉1基と無数の柱穴が確認された。柱穴は側壁に沿ったものが列をなしているため、これらが主要な柱穴であった可能性が考えられる。埋土より内外面縄文の施された土器を含む縄文時代早期末葉の土器が出土した。検出層位および出土遺物から縄文時代早期末葉の竪穴住居であると判断される。

縄文住居67（第190図、写真図版154）SI752

十和田中撤火山灰よりも下位で検出された。縄文住居64（SI915）の直上に位置し、これを切っていると判断される。平面方形から長方形の住居である。埋土から縄文時代早期末葉の土器が出土した。検

出層位および出土遺物から縄文時代早期末葉の竪穴住居であると判断される。

縄文住居68 SI756

十和田中楸火山灰よりも下位で検出された。縄文住居64 (SI915) の直上に位置し、これを切っていると判断される。平面方形から長方形の住居である。埋土から縄文時代早期末葉の土器が出土した。検出層位および出土遺物から縄文時代早期末葉の竪穴住居であると判断される。

(2) 土 坑

縄文土坑 1～4 (第194図、写真図版187) SK726・727・728・SF401

縄文土坑 1～3はⅧ層除去し、Ⅸ層状面で検出した機能不明の土坑である。縄文土坑 4 (SF401) のみ調査区西端で確認された。この土坑は焼土が認められる。縄文時代早期とみられる土器が良好な状態で出土したことからこの時期の遺構であると考えた。

(3) 縄文時代早期の遺物

早期末の土器 (第345～352図、写真図版302～308)

D488～595は縄文時代早期末の土器である。これら土器の特徴を概説する。

〔器形〕大半の土器が尖底あるいは丸底であり、口縁部は大きく開き、底部に向け窄まる砲弾形を呈すると思われる。口縁部の形態は大きく分けて3形態ある。直線的な形態、端部のみが短く外反あるいは外傾する形態、大きく緩やかに外彎あるいは外反する形態、これら3形態である。成形痕跡が比較的明瞭である特徴がみられる。

〔成形〕粘土紐継ぎ目、内面の指頭あるいは拳などによる圧痕が多く認められる。尖底の底部は最小単位で脱落している破片が多く認められ、この破面が擬口縁となる例が多い。成形方法は不明であるが、乾燥がより進んだ状態で底部が接合された結果とみられる。胎土は多く砂粒を含んだ粗いものが主体で、混和材として繊維を含む個体も存在する。

〔文様〕縄文は単節で横回転のものが大半である。縄文は内外面にあるものも認められ、1点のみ条痕が認められる (D566)。表裏縄文は粘土紐継ぎ目に強くみられ、より器面調整に近い技法であることがわかる。口縁部に文様帯を持つ土器が多く、文様構成は様々である。口縁端部は有文・無文の別があり、有文のものは縄文原体回転、縄文原体連続、棒状工具による圧痕あるいは刻み、などバラエティに富む。口縁部文様帯は、無文帯ベースのもの、縄文ベースのもの2大別でき、さらにこれらを、帯状の貼付隆線が巡るもの、縄文原体の圧痕が連続して巡るものに分けられる。

〔型式〕これらの土器群は、土器型式では赤御堂式に相当すると思われるが、県内ではまとまった類例が少なく比較資料に乏しい。比較するとすれば、同時期で酷似する特徴を有するまとまった土器群が遠野市九重沢遺跡で認められる (岩手埋文2004)。しかし、両者とも赤御堂貝塚の標識資料と必ずしも特徴を共有しておらず、地域的な特徴を具備しているものと想定され、広域編年上重要な土器群であると考えられる。

D488～497は縄文早期住居 1 より出土した土器である。おもに口縁部片と底部片を選択して掲載した。D488・494～496は口縁部外面に縄文の無い文様帯において原体圧痕列がみられる。口縁端部の欠失しているD496以外は口縁端部に原体圧痕が認められる。D489は口縁部がわずかに外反する。口縁端部には棒状工具の圧痕が施される。D490は口縁端部に原体圧痕列、体部と口縁部の境目付近には縦位の原体圧痕が一定間隔で連続する。口縁部内面には3条の水平方向の沈線が認められる。胎土に繊維を微量含んでいる可能性がある。D491は直線的に開く口縁形態の可能性が有る。口縁端部に原体圧痕

が施され、外面には引っ搔き傷のような刺突列が縦位に連続する。D492・493はいずれも尖底の底部片である。逆円錐状であり、粘土紐積み上げの最小単位で脱落したと思われる。そのため破面は擬口縁となる。D497は口縁部が大きく開いた器形である。口縁端部に原体圧痕が施され、口縁部外面には無文帯が創出されている。胎土に繊維は含まないが、雲母を一定量含む。

D498～526は縄文早期住居2より出土した土器である。口縁部が残存するのは、D499～503・505・506・508～511・512・513・516・518～521・523・526であり、D511は全体形が判明する。口縁部形態は3形態がそれぞれ含まれる。口縁部文様帯は、縄文の無い区画に原体圧痕が巡るD499～502・521・524・526、縄文のある区画に原体圧痕が巡るD518、縄文の無い区画に隆線が巡るD503・505・506・510・511・513・518・523・525、縄文のある区画に隆線が巡るD509・513・506、など多種多様である。口縁部文様帯を持たないD520のような個体も存在する。D508は口縁部から体部にかけての破片である。口縁端部には丸棒状工具側面を斜位に押し当てた刻み目が連続する。内面は指頭圧痕が多く認められる。外面にはスス、内面にはコゲが多く付着する。胎土には雲母が目立つ。D526は口縁部に丸棒状工具側面による刻み目があり、これによって口縁は小波状となっている。口縁部外面は多重の原体圧痕が水平方向に巡る。底部片はD514・515・517・522である。D522は尖底であるが、その他の土器と異なり底部から体部への立ち上がりは直線的であり、なおかつその開きは大きく角度は約90°である。上半部が欠損しているため全体の器形は不明であるが、広い口径で低い器高の浅鉢器形である可能性もある。D511は低端部が欠損しているが、ほぼ半身が残存しており、全体形が復元できる。内外面ともに縄文が施されているが、内面は口縁部の緩やかな括れ部分のみの施文である。口縁部の折り曲げや隆線の貼付等の諸作業の内面側の当て具として縄文が施されたものと考えられる。口縁端部は人差し指の先端を押し当てた刻み目が巡り、爪の痕跡が認められる。中にはその刻み目に原体圧痕がともなう箇所も散見される。これらによって口縁部は小波状を形成している。口縁部の括れには、上下2条の貼付隆線が平行に巡る。いずれの隆線も表面には縄文の原体圧痕列が一定間隔で見られる。この原体圧痕は斜位に施され、上下の隆線で向きを変えている。下段の原体圧痕は隆線をはみ出し、下地の無文帯に及んでいる。体部の縄文は単節であるが、器形の変化点で回転方向を変えている。D523は上半が残存する。内外面ともに縄文が認められるが、内面の縄文は横方向の帯状単位があり、無文帯と縄文帯が交互にみられる。無文帯部分は粘土紐の継ぎ目に当たっており、これら継ぎ目のナデ消しによって縄文が消失したようである。このことから内面の継ぎ目をナデ消す作業が内面の縄文施文よりも後の作業であることがわかる。口縁部外面には貼付隆線が巡り、隆線には縦位の原体圧痕が短い一定間隔で連続する。隆線に付された原体圧痕は深く刻み込まれており、原体を折り曲げ、その屈曲部を強く押しつけている可能性が考えられる。胎土には雲母を一定量含むが、繊維は認められない。その他の同時期の土器に比べると焼成が非常に良好で硬質である

D527～537は縄文早期住居3より出土した土器である。口縁部が残存するのは、D527・532・533・535である。口縁部形態はD527・533の2点が端部のみ外傾、D532が直線的、D535が緩やかに外彎する。内外面ともに縄文が認められ、口縁端部にもみられる。内面の縄文は口縁部の外傾した範囲のみで展開しており、口縁端部のものと一体であると思われる。口縁部の折り曲げに内面から縄文原体を回転させた可能性が考えられる。短く屈曲する口縁部で、外面の屈曲部には幅広の貼付隆線が巡る。隆線には絡条体の圧痕が縦位に一定間隔で施されている。今回出土した当該期の土器群にあって異色の存在である。D532は口縁部から体部下半の破片である。口縁部はわずかに外傾し、体部は緩やかな曲線を描きながら底部に向けて窄まる形態である。口縁端部には縄文が認められ、原体の圧痕あるいは回転によるものである。口縁部と体部との境界には1条の貼付隆線が巡り、隆線には原体圧痕列が

一定間隔で連続する。口縁部には対となる2個の補修孔がある。D533は口縁部細片である。口縁部は短く外反し、屈曲点外面には低い貼付隆線が巡る。この隆線および口縁端部には縄文が伴う。D535は口縁部と体部の境界は不明瞭である。内面には指による凹凸が顕著である。胎土は砂粒が多く含まれ、やや粗い。縄文のみであり、それ以外の施文方法が認められない。D537は底部片、その他は体部片である。D528は口縁部外面に2条の隆線がみられ、断面蒲鋒形の隆線頂部には原体圧痕が伴う。

D538～545は縄文早期住居4、D546～548は縄文早期住居5より出土した土器、D549～554は縄文時代中期の竪穴住居に混入した土器である。D539・541・544・546・547・549・554は口縁部が残存する。口縁部形態はD539・541・546・549が直線的、D544が端部のみ外傾、D554が大きく緩やかに外彎する。これらのうちD539・544・549の3点は口縁部に原体圧痕が伴う隆線が貼り付けられている。D539は隆線直下に弧状の沈線が認められる。D544の口縁端部は端部のみならず内外面も合わせて縄文が回転施文されており、特徴的である。D554は口縁部外面に横位の原体圧痕が巡る。D546は隆線がなく、無文帯も小さい幅である。口縁端部には指頭の押捺が連続する。D540・542・543・548は尖底を呈する底部片であるが、D540は先端がやや潰れたような形状である。

D555～565は縄文早期住居6より出土した土器である。口縁部形態は緩やかに外彎する形態のものではなく、直線的なものか端部が外傾するものに限られる。また、D560の1点以外は隆線が施されず、無文帯も認められない。よって、外面は底部から口縁部まで縄文に埋め尽くされている。ただし、D564は引っ掻き傷のようなアクセントが連続する。また、口縁端部は原体圧痕ではなく、原体の回転によるものが主体である。

D567～572は縄文時代早期に該当するその他の遺構出土の土器である。D566は焼土を伴う土坑から出土した土器である。円筒形で直線的な口縁形態であり、非常に特徴的である。土器上半は貝殻条痕と思われる横方向の痕跡が認められる。この条痕によって下地の縄文が磨り消されたものと思われる。この文様帯には原体圧痕が区画上下にそれぞれ巡る。原体圧痕は3条の平行曲線で、これらは原体の長さで弧状に連続押捺されている。この弧は上下反転した配置となっている。今回の調査で出土した早期末土器群で条痕がみられる土器はこれ1点に限られる。

D573～595は遺構外出土の縄文時代早期末の土器である。大半が住居群周辺で出土したものであり、本来いずれかの遺構に伴うものであった可能性が高い。これらは住居等で出土したものと共通する。

早期中葉の土器 (第353図、写真図版308)

D596～617は縄文時代早期中葉の土器である。貝殻腹縁文と沈線で構成される幾何学的な文様が施されたものが多く、いずれも物見台式相当の土器群であると考えられる。大きな砂粒をあまり含まず、精良な胎土の土器が多い傾向である。また、焼成は良好なものが多いのも特徴的である。大半の土器の器表面は、丁寧なミガキが施されており、場合によっては化粧土(スリップ)が塗布されたものも認められる。橙色や黄橙色の色調のものが多い傾向である。

(福島)

第1表 田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器(B)一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
1	210	198	土師器坏	SI09・カマド・覆土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(15.4)	[2.6]	-	
2	210	198	土師器坏	SI09・北東・埋土 SI10・北西隅・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(15.0)	5.2	(6.8)	底部回転糸切り
3	210	198	土師器坏	SI10・北西隅・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(13.4)	5.4	(6.4)	底部回転糸切り
4	210	198	土師器坏	SI10・北西隅・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい褐	-	[2.8]	5.3	底部ヘラケズリ
5	210	198	土師器坏	SI11・北西区・床直	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	14.8	5.8	(6.6)	底部 回転ヘラケズリ
6	210	198	土師器坏	SI11・南西区・床近く	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい褐	(13.2)	[3.3]	-	
7	210	198	土師器坏	SI11・南西・覆土上 SI11・北西・覆土上	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	橙	(15.0)	[5.6]	-	
8	210	198	土師器坏	SI11・南西・覆土上 SI11・南西セクション	内面ミガキ	橙	(14.0)	[3.7]	-	
9	210	198	土師器坏	SI11・カマド煙道内	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.0)	[2.7]	-	
10	210	198	土師器坏	SI12・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.6)	[4.1]	-	
11	210	198	土師器坏	SI12・煙道・埋土 SI12・中央・埋土下層 SI12・南半・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	橙	13.8	5.1	(6.2)	底部回転糸切り
12	210	198	土師器坏	SI14・南・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	5.0	5.8	底部 線刻 回転ヘラケズリ
13	210	198	土師器坏	SI201・埋土一括	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	14.2	5.1	6.2	刻書「#」 底部回転糸切り
14	210	198	土師器坏	SI201・No.1周辺か	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(13.8)	[4.8]	(7.0)	底部回転糸切り
15	210	198	土師器坏	SI201・最上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	明赤褐	(14.4)	4.7	(5.8)	底部回転糸切り
16	210	198	土師器坏	SI201・埋土中位層	内面ミガキ 外面回転ナデ	明赤褐	(14.0)	4.6	(6.6)	底部回転糸切り
17	210	198	土師器坏	SI201・P3・埋土	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[2.8]	(9.3)	タール付着
18	210	198	土師器坏	SI201・埋土中位層	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	-	[1.7]	(6.6)	底部回転糸切り
19	210	198	土師器坏	SI201	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[1.8]	(6.6)	底部回転糸切り
20	210	198	土師器坏	SI202・カマド前・貼床,埋土	内面ミガキ 外面ケズリ・ 回転ヘラケズリ	にぶい橙	-	[1.5]	7.2	多角形ミガキ 底部ヘラケズリ
21	210	198	土師器坏	SI202・埋土中位層	内面ハケ 外面ケズリ	浅黄橙	-	[2.2]	(6.0)	
22	210	198	土師器坏	SI202・床上	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい褐	-	[1.8]	(6.0)	底部ヘラケズリ
23	210	198	土師器坏	SI203	内面ミガキ 外面回転ナデ	明褐	(14.2)	5.4	5.9	多角形ミガキ, 底部墨書, 底部回転糸切り
24	211	198	土師器坏	SI203・床面	内面ハケ 外面回転ナデ	橙	(13.8)	5.1	6.6	底部回転糸切り
25	211	198	土師器坏	SI204・No.4・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.0)	5.4	6.2	底部回転糸切り

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
26	211	198	土師器坏	SI204・No.1・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.3)	4.8	(6.2)	
27	211	198	土師器坏	SI204・II区・貼床内	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[1.7]	5.2	底部回転糸切り
28	211	198	土師器坏	SI204・III区・床内	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[3.0]	(6.0)	底部回転糸切り
29	211	198	土師器坏	SI204・No.1・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	-	[2.7]	(6.8)	底部回転糸切り
30	211	199	土師器坏	SI206・Aベルト・-20cm	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい橙	-	[2.9]	5.8	底部 回転ヘラケズリ
31	211	199	土師器坏	SI206・B	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい橙	-	[3.7]	(5.8)	底部回転糸切り
32	211	199	土師器坏	SI206・Aベルト・-20cm	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.4]	(8.0)	底部回転糸切り
33	211	199	土師器坏	SI208・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[3.5]	(6.4)	底部回転糸切り
34	211	199	土師器坏	SI208・壁際・埋土中位	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(14.2)	5.4	(5.0)	
35	211	199	土師器坏	SI209・埋土下層	211 内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[1.7]	(5.6)	底部回転糸切り
36	211	199	土師器坏	SI212・P1東となりの柱穴	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい褐	14.0	5.6	6.0	底部回転糸切り
37	211	199	土師器坏	SI212・下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.0)	5.7	(6.1)	底部回転糸切り
38	211	199	土師器坏	SI212・埋土上～下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	13.8	6.0	5.5	底部回転糸切り
39	211	199	土師器坏	SI213・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.2)	4.6	5.5	底部回転糸切り
40	211	199	土師器坏	SI213・南西・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.2)	4.95	(5.2)	底部回転糸切り
41	211	199	土師器坏	SI212・下層 SI213・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[4.2]	6.2	底部回転糸切り
42	211	199	土師器坏	SI213・カマド・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(13.8)	4.8	5.7	底部回転糸切り
43	211	199	土師器坏	SI213・P1	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(14.0)	3.95	(6.7)	底部回転糸切り
44	212	199	土師器坏	SI213・埋土下層	内面ミガキ 外面ヘラナデ・ ケズリ	にぶい橙	(14.4)	5.5	5.1	
45	212	199	土師器坏	SI213・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	にぶい黄橙	-	[2.9]	(6.2)	底部回転糸切り
46	212	199	土師器坏	SI213・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.6)	[4.2]	-	
47	212	199	土師器坏	SI213・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい橙	(14.6)	4.85	(6.0)	底部回転糸切り
48	212	199	土師器坏	SI213・埋土上～下層	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	橙	-	[4.2]	(5.8)	底部回転糸切り
49	212	199	土師器坏	SI213・埋土下層 SI234・P1	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(15.3)	5.3	(6.5)	底部回転糸切り
50	212	199	土師器坏	SI213・埋土上～下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.5)	[4.7]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

（復元値）・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
51	212	199	土師器坏	SI214・SI214とSI238 (同じ住居だった)	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[1.3]	5.4	底部回転系切り
52	212	199	土師器坏	SI215・南西	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.6)	[4.9]	-	
53	212	199	土師器坏	SI215・南西・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[4.2]	(6.6)	底部回転系切り
54	212	199	土師器坏	SI217・西側・下層	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.2]	(4.4)	底部回転系切り
55	212	199	土師器坏	SI218・埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(13.0)	[4.0]	-	墨書「？」
56	212	199	土師器坏	SI222・南西	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい赤褐	(13.5)	[4.8]	-	底部回転系切り
57	212	199	土師器坏	SI222・カマド裏・埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	13.1	4.6	6.1	底部回転系切り
58	212	199	土師器坏	SI222・北東・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.8)	4.5	(5.2)	底部回転系切り
59	212	199	土師器坏	SI222・北西・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	14.0	5.3	5.4	底部回転系切り
60	212	199	土師器坏	SI223 SI212	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(13.6)	[4.6]	-	
61	212	199	土師器坏	SI223・南東 SI215・北西・埋土中位	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	13.4	4.9	6.0	底部回転系切り
62	212	199	土師器坏	SI228・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	褐灰	14.0	5.1	6.2	多角形ミガキ 底部回転 ヘラケズリ
63	212	200	土師器坏	SI233	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	14.2	5.5	5.2	雲母多い 底部回転系切り
64	212	200	土師器坏	SI226・埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	褐灰	-	[4.1]	-	工具回転ナデ
65	213	200	土師器坏	SI233・ベルト内 (床直含む)	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	14.0	5.5	5.7	底部回転系切り
66	213	200	土師器坏	SI233・北西・埋土下層, SI235, SI214=SI238, SI223・下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	15.0	6.0	(6.6)	底部回転系切り
67	213	200	土師器坏	SI233・北西・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.2)	[5.5]	-	刻書「#」
68	213	200	土師器坏	SI233・ベルト内 (床直含む)	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.8)	[4.2]	-	
69	213	200	土師器坏	SI234・カマド	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[3.3]	(6.4)	
70	213	200	土師器坏	SI234	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(14.2)	5.0	5.8	底部回転系切り
71	213	200	土師器坏	SI235・埋土	内面ミガキ 外面回転ヘラナデ ・ヘラケズリ	にぶい黄橙	(15.0)	5.2	-	
72	213	200	土師器坏	SI235・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	灰黄褐	(14.3)	5.3	6.0	底部回転系切り
73	213	200	土師器坏	SI235・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[4.4]	-	刻書「#？」
欠										
75	213	200	土師器坏	SI235・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	-	[3.3]	(6.0)	底部回転系切り

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
76	213	200	土師器坏	SI235・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	灰黄褐	(16.1)	5.5	6.4	台に転用? 底部回転糸切り
77	213	200	土師器坏	SI236・ベルト内(床直含む)・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[2.9]	(6.2)	
78	213	200	土師器坏	SI242・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[2.4]	(5.4)	
79	213	200	土師器坏	SI242・埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.8]	(6.0)	底部回転糸切り
80	213	200	土師器坏	SI502・埋土最上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	15.4	5.7	7.0	多角形ミガキ 底部回転糸切り
81	213	200	土師器坏	SI504・床直	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	14.7	5.6	6.9	底部回転糸切り
82	213	200	土師器坏	SI505・埋土最下層,北東下部・床直	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.4)	5.5	6.0	内面炭素消失 底部回転糸切り
83	213	200	土師器坏	SI505・下部南半・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(12.9)	5.3	(6.0)	底部回転糸切り
84	213	200	土師器坏	SI505・下部南半・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(12.4)	5.2	(5.4)	底部回転糸切り
85	214	200	土師器坏	SI401・カマド・床面	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.9)	5.0	(6.2)	底部回転糸切り
86	214	200	土師器坏	SI401・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[1.8]	5.8	底部回転糸切り
87	214	200	土師器坏	SI403・西南部土坑・貼床下部	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.8)	[5.0]	(7.8)	底部回転糸切り
88	214	200	土師器坏	SI403・東側	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	浅黄橙	-	[2.25]	(6.0)	底部ヘラケズリ
89	214	200	土師器坏	SI403・西	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[1.5]	(6.2)	底部回転糸切り
90	214	200	土師器坏	SI404・埋土	内面ミガキ 外面回転 ヘラケズリ	灰黄褐	(14.2)	4.8	(6.2)	
91	214	200	土師器坏	SI404・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	褐灰	(13.6)	5.7	6.8	底部回転糸切り
92	214	200	土師器坏	SI411・カマド床直,埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(14.6)	5.1	6.6	底部回転糸切り
93	214	201	土師器坏	SI412・床面	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.0)	[4.5]	-	
94	214	201	土師器坏	SI413・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[3.2]	(6.0)	底部回転糸切り
95	214	201	土師器坏	SI416・埋土	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[2.0]	5.8	底部回転糸切り
96	214	201	土師器坏	SI418・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[2.0]	(5.2)	底部回転糸切り
97	214	201	土師器坏	SI418, SI420・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	-	[2.0]	(6.2)	底部回転糸切り
98	214	201	土師器坏	SI418, SI420・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(15.2)	[5.8]	-	
99	214	201	土師器坏	SI418, SI420・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	明褐灰	(15.6)	[4.2]	-	
100	214	201	土師器坏	SI418・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	明褐灰	(14.1)	4.8	6.3	多角形ミガキ 底部ヘラケズリ

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
101	214	201	土師器坏	SI420・床直	内面ミガキ 外面回転ナデ	明褐灰	14.9	5.2	7.1	雲母多い。
102	214	201	土師器坏	SI420・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.9)	[5.2]	(6.0)	底部回転糸切り
103	214	201	土師器坏	SI422・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい橙	-	[1.9]	5.6	底部回転糸切り
104	214	201	土師器坏	SI424・カマド覆土,埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.2)	5.7	(6.0)	底部回転糸切り
105	214	201	土師器坏	SI424・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[1.3]	5.4	底部回転糸切り
106	214	201	土師器坏	SI424・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	13.7	4.9	6.5	底部回転糸切り
107	215	201	土師器坏	SI426・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[1.9]	(7.0)	底部回転 ヘラケズリ
108	215	201	土師器坏	SI426,SI427・埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.7]	6.6	底部回転 糸切り後, 外周のみ回転 ヘラケズリ
109	215	201	土師器坏	SI427・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.7)	5.0	6.0	内面炭素消失 底部回転糸切り
110	215	201	土師器坏	SI427・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[1.7]	(6.0)	内面炭素消失 底部回転糸切り
111	215	201	土師器坏	SI429・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.4]	(7.0)	底部ヘラケズリ
112	215	201	土師器坏	SI430・カマド内	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(14.2)	5.2	(6.6)	
113	215	201	土師器坏	SI430・カマド脇	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[1.8]	6.0	底部回転糸切り
114	215	201	土師器坏	SI431・埋土	内外面ミガキ	にぶい橙	-	[2.8]	(5.6)	
115	215	201	土師器坏	SI432・埋土	内面ミガキ	浅黄橙	-	[1.3]	(6.0)	底部回転糸切り
116	215	201	土師器坏	SI433・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.7]	(6.0)	底部回転糸切り
117	215	201	土師器坏	SI436・埋土	内面ミガキ	橙	-	[1.1]	7.1	底部回転糸切り
118	215	201	土師器坏	SI436・埋土	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[2.6]	5.0	底部ヘラケズリ
119	215	201	土師器坏	SI436・埋土 SI476・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	にぶい橙	(17.6)	5.8	5.4	墨書「人？」
120	215	201	土師器坏	SI438・埋土 SI439・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい橙	14.0	5.1	(6.3)	底部回転 ヘラケズリ
121	215	201	土師器坏	SI438・埋土 SI439・北東隅埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[5.3]	6.0	底部回転糸切り
122	215	201	土師器坏	SI439・北東隅・埋土,埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(15.8)	5.4	(6.0)	底部回転糸切り
123	215	201	土師器坏	SI439・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(12.8)	4.2	6.5	底部回転糸切り
124	215	202	土師器坏	SI439・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[2.8]	5.6	底部回転糸切り
125	215	202	土師器坏	SI443・埋土	内面ミガキ 外面回転 ヘラケズリ	にぶい橙	-	[1.8]	(6.4)	底部回転糸切り

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
126	215	202	土師器坏	SI443・埋土 SI447・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	にぶい橙	(15.0)	4.2	(5.8)	多角形ミガキ 底部回転系切り
127	215	202	土師器坏	SI443・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい褐	-	[2.7]	5.4	底部回転系切り
128	216	202	土師器坏	SI444・カマド直上	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい黄橙	13.2	5.1	5.7	胎土粗く、 焼きムラ多い。 底部回転系切り
129	216	202	土師器坏	SI444・埋土上位	内面ミガキ 外面回転 ヘラケズリ	にぶい黄橙	-	[1.5]	(5.9)	底部回転系切り
130	216	202	土師器坏	SI444・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(16.4)	[4.8]	-	
131	216	202	土師器坏	SI444・カマド直上	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(14.2)	5.0	5.7	墨書「人」 底部回転系切り
132	216	202	土師器坏	SI444・カマド付近・カマド直上	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	明赤褐	12.6	5.4	5.1	墨書「人」 底部回転系切り
133	216	202	土師器坏	SI445・埋土	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[1.2]	(5.4)	底部回転系切り
134	216	202	土師器坏	SI445・埋土	内面ミガキ 外面回転 ヘラケズリ	浅黄橙	-	[1.5]	(6.0)	底部回転系切り
135	216	202	土師器坏	SI445・埋土,床直	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.6)	[5.4]	-	
136	216	202	土師器坏	SI447・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.0)	4.7	(5.9)	底部回転系切り
137	216	202	土師器坏	SI447・埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.2]	(6.0)	底部回転系切り
138	216	202	土師器坏	SI447・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(14.4)	5.0	6.3	底部回転系切り
139	216	202	土師器坏	SI447・埋土	内面ミガキ 外面ケズリ	灰白	13.2	5.0	6.0	底部ヘラケズリ
140	216	202	土師器坏	SI447・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.5)	5.1	(5.9)	底部回転系切り
141	216	202	土師器坏	SI447・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい橙	(13.3)	5.0	5.6	底部回転系切り
142	216	202	土師器坏	SI450・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(15.4)	4.5	4.8	底部回転系切り
143	216	202	土師器坏	SI450・埋土	内面ミガキ	にぶい橙	(13.2)	4.9	6.0	底部回転系切り
144	216	202	土師器坏	SI452・埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.3]	(7.2)	底部回転系切り
145	216	202	土師器坏	SI452・カマド付近・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.0)	5.4	(5.2)	底部回転系切り
146	216	202	土師器坏	SI452・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(12.6)	[5.0]	-	
147	216	202	土師器坏	SI452・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(13.2)	4.8	(6.2)	墨痕?
148	217	202	土師器坏	SI454・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(12.8)	[4.4]	-	
149	217	202	土師器坏	SI454・南埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[3.2]	(5.6)	底部回転系切り
150	217	202	土師器坏	SI454・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(13.6)	5.3	(5.3)	底部回転系切り

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
151	217	202	土師器坏	SI454・南埋土,埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[3.7]	6.0	底部回転系切り
152	217	202	土師器坏	SI454・埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.9]	(6.2)	底部回転系切り
153	217	202	土師器坏	SI454・南埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.9]	(6.4)	内面炭素消失 底部回転系切り
154	217	202	土師器坏	SI454・南埋土	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[2.1]	5.8	内面炭素消失
155	217	202	土師器坏	SI454・検出面～10cm下	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.4]	(6.0)	底部回転系切り
156	217	202	土師器坏	SI454・検出面～10cm下	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.0]	(6.2)	底部回転系切り
157	217	203	土師器坏	SI454・南埋土	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[1.5]	6.2	底部回転系切り
158	217	203	土師器坏	SI454・検出面～10cm以下	内面ミガキ	灰黄褐	-	[1.7]	(5.0)	底部回転系切り
159	217	203	土師器坏	SI456・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[1.3]	5.6	底部回転系切り
160	217	203	土師器坏	SI456・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	-	[1.5]	5.2	底部回転系切り
161	217	203	土師器坏	SI458・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[2.3]	5.8	底部ヘラケズリ
162	217	203	土師器坏	SI461・埋土,埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[2.5]	6.4	底部回転系切り
163	217	203	土師器坏	SI461・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[1.9]	(5.0)	底部回転系切り
164	217	203	土師器坏	SI463・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[5.1]	(6.4)	内面炭素消失 底部回転系切り
165	217	203	土師器坏	SI464・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.6)	[4.9]	(5.6)	底部ヘラケズリ
166	217	203	土師器坏	SI464・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[4.3]	(6.6)	底部回転系切り
167	217	203	土師器坏	SI468	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(13.4)	5.5	6.0	底部回転系切り
168	217	203	土師器坏	SI468・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.7]	(6.3)	底部 回転ヘラケズリ
169	217	203	土師器坏	SI471・埋土 SI482・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	橙	14.4	5.0	5.7	底部回転系切り
170	218	203	土師器坏	SI471・貼床	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(14.4)	[5.8]	-	
171	218	203	土師器坏	SI471・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.4)	4.7	(5.4)	底部回転系切り
172	218	203	土師器坏	SI472・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(14.0)	[5.3]	-	裳母多い。
173	218	203	土師器坏	SI475・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	-	[1.9]	(6.0)	底部回転系切り
174	218	203	土師器坏	SI475・埋土	内面ミガキ 外面回転 ヘラケズリ	にぶい橙	-	[0.8]	5.7	底部刻書 「天?」, 底部回転系切り
175	218	203	土師器坏	SI476・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	13.5	4.8	(7.2)	底部回転系切り

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
176	218	203	土師器坏	SI476・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.2)	4.5	6.0	底部回転系切り
177	218	203	土師器坏	SI478・埋土一括,埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.0)	[5.2]	(6.4)	雲母多い 底部回転系切り
178	218	203	土師器坏	SI478・埋土	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[2.3]	(5.6)	底部回転系切り
179	218	203	土師器坏	SI481・埋土一括	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.6)	[4.0]	-	
180	218	203	土師器坏	SI481・埋土一括	内面ミガキ	橙	(14.0)	[4.5]	-	墨書「大」
181	218	203	土師器坏	SI487・埋土	内面ハケ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.2)	[5.2]	-	
182	218	203	土師器坏	SI702・北西・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(12.9)	5.2	5.7	雲母少量 底部回転系切り
183	218	203	土師器坏	SI702・北西・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.0)	[4.8]	-	雲母多量
184	218	203	土師器坏	SI702・埋土最上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(16.0)	5.5	(8.0)	雲母少量
185	218	203	土師器坏	SI702・埋土最上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.4)	[4.9]	-	
186	218	203	土師器坏	SI705・埋土(トレンチ), 北・埋土,東側・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	灰黄褐	(13.2)	[4.2]	-	
187	218	203	土師器坏	SI705・北・埋土,北側・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	灰黄褐	(13.4)	4.8	(5.8)	
188	218	203	土師器坏	SI706・床直	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.1)	4.3	7.0	墨書? 底部ヘラケズリ
189	218	203	土師器坏	SI707・北西・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[2.0]	6.0	底部回転系切り
190	218	203	土師器坏	SI707・北東・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[2.5]	5.5	底部回転系切り
191	218	204	土師器坏	SI710・検出面	内面ミガキ	浅黄橙	-	[1.8]	6.6	底部回転系切り
192	219	204	土師器坏	SI716・埋土	内面ハケ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい橙	-	[3.4]	(5.8)	
193	219	204	土師器坏	SI717・埋土 SI718・床面	内面ミガキ	橙	(14.8)	5.05	7.2	墨書「大」 底部回転系切り
194	219	204	土師器坏	SI718・埋土,埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(15.0)	5.1	6.4	雲母多い。 底部ヘラケズリ
195	219	204	土師器坏	SI718・カマド付近直上	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	14.3	4.5	6.2	墨書「十」 底部ヘラケズリ
196	219	204	土師器坏	SI721・東・IV層(攪乱層)	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	-	[2.8]	(7.1)	底部回転系切り
197	219	204	土師器坏	SI726・埋土 SI739・埋土,埋土(南東壁側)	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[1.9]	(6.2)	底部回転系切り
198	219	204	土師器坏	SI732・埋土,カマド埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	にぶい橙	14.4	4.5	6.0	底部回転系切り
199	219	204	土師器坏	SI738	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	13.5	5.2	5.0	底部回転系切り
200	219	204	土師器坏	SI739・カマド脇埋土・(北西壁)掘方埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(16.7)	5.6	7.2	底部回転系切り

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
201	219	204	土師器坏	SI739・貼床・掘方埋土	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[1.4]	(7.0)	
202	219	204	土師器坏	SI739・南東壁・掘方埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[1.9]	(5.6)	底部ヘラケズリ
203	219	204	土師器坏	SI739・カマド周辺・埋土下部	内面ミガキ 外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	橙	-	[2.8]	5.3	底部ヘラケズリ
204	219	204	土師器坏	SI739・北東壁側・掘方埋土 SI727・埋土	内面ハケ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.1]	(6.2)	底部回転糸切り
205	219	204	土師器坏	SI746・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	14.6	5.0	5.4	外面スス付着 底部回転糸切り
206	219	204	土師器坏	SI803・Q3・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(14.0)	5.1	(4.4)	底部回転糸切り
207	219	204	土師器坏	SI803・掘方埋土, 西検出エリア攪乱	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	明褐灰	14.8	6.0	5.9	底部回転糸切り
208	219	204	土師器坏	SI805・掘方	内面ミガキ	にぶい橙	(15.4)	[4.5]	-	雲母多い。
209	219	204	土師器坏	SI202・埋土中位層	内外面ミガキ	黒	-	[3.2]	-	
210	219	204	土師器坏	SI202・埋土中位層	内外面ミガキ	黒	(15.6)	[3.1]	-	
211	219	204	土師器坏	SI204・埋土中位層,南壁埋土	内外面ミガキ	黒	13.8	5.4	6.6	底部回転糸切り
212	219	204	土師器坏	SI204・埋土床	内外面ミガキ	黒褐	(14.0)	[4.1]	-	
213	220	204	土師器坏	SI205・埋土中位層～下層	内外面ミガキ	黒褐	(13.3)	[3.7]	-	
214	220	204	土師器坏	SI205・No.2・中位層	内外面ミガキ	にぶい橙	(12.9)	[4.6]	-	
215	220	204	土師器坏	SI206・埋土-20cm	内外面ミガキ	黒褐	-	[2.9]	(6.6)	底部ミガキ
216	220	204	土師器坏	SI213・埋土	内外面ミガキ	黒	(15.5)	4.95	5.7	底部 回転ヘラケズリ
217	220	204	土師器坏	SI401・北側、土坑 SI401,412・埋土	内外面ミガキ 外面ケズリ	橙	(15.3)	6.6	(7.4)	
218	220	204	土師器坏	SI234	内外面ミガキ	黒	16.8	6.2	5.6	
219	220	204	土師器坏	SI724・埋土	内外面ミガキ	黒	(16.4)	4.5	7.2	底部ミガキ
220	220	204	土師器坏	SI726・埋土	内外面ミガキ 外面ケズリ	黒褐	-	[2.9]	5.4	底部ヘラケズリ
221	220	204	土師器坏	SI739・埋土,埋土一括(北壁際)	内外面ミガキ	褐灰	-	[4.4]	(6.4)	
222	220	204	土師器坏	SI739・貼床・掘方埋土,南東壁 SI726・埋土	内外面ミガキ	黒	(16.0)	4.35	6.8	底部ミガキ
223	220	204	土師器坏	SI201・埋土	回転ナデ	浅黄橙	(13.2)	4.8	6.0	重ね焼き痕 底部回転糸切り
224	220	204	土師器坏	SI202・埋土中位層		にぶい橙	-	[1.8]	(7.0)	底部ヘラケズリ
225	220	205	土師器坏	SI201 SI204・最上層,埋土中位層	回転ナデ	にぶい褐	(16.9)	[4.3]	-	B226と同一個体

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
226	220	205	土師器坏	SI204・最上層	回転ナデ	にぶい橙	-	[2.3]	(6.2)	B225と同一個体 底部回転系切り
227	220	205	土師器坏	SI206	回転ナデ	灰白	-	[2.0]	(6.0)	底部回転系切り
228	220	205	土師器坏	SI217・西側下層、 II A10~III A1h~2j・検出面	回転ナデ	にぶい橙	(12.8)	5.9	(6.0)	
229	220	205	土師器坏	SI223・埋土上層	回転ナデ	にぶい橙	(14.0)	[4.6]	-	
230	220	205	土師器坏	SI233・ベルト内 (床直含む)	回転ナデ	浅黄橙	(12.8)	[4.2]	-	
231	220	205	土師器坏	SI416・埋土	外面回転ナデ	灰白	(12.8)	[3.6]	-	
232	220	205	土師器坏	SI424・埋土	回転ナデ	灰白	-	[4.3]	(5.8)	還元不足の 須恵器、 底部回転系切り
233	220	205	土師器坏	SI436・埋土, SI476・埋土	外面回転ナデ	橙	14.4	5.2	5.7	底部回転系切り
234	220	205	土師器坏	SI436・埋土 SI443・埋土	回転ナデ	橙	14.5	5.5	6.6	底部回転系切り
235	221	205	土師器坏	SI446・埋土上層	回転ナデ	灰白	(14.7)	[3.9]	-	須恵器の 可能性あり。
236	221	205	土師器坏	SI446・埋土上層	回転ナデ	浅黄橙	(13.9)	5.6	(5.0)	須恵器の 可能性あり。 底部回転系切り
237	221	205	土師器坏	SI453・埋土	外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.7]	(6.0)	底部回転系切り
238	221	205	土師器坏	SI454・埋土	外面回転ナデ	灰黄褐	-	[4.7]	6.8	底部回転系切り
239	221	205	土師器坏	SI454・南埋土	外面回転ナデ	にぶい黄橙	(14.8)	[5.8]	-	
240	221	205	土師器坏	SI454・埋土 II Y1c~2c・溝状撓乱	外面回転ナデ	浅黄橙	(14.3)	[3.8]	-	
241	221	205	土師器坏	SI454・検出面~10cm下	外面回転ナデ	灰白	(15.6)	5.5	-	
242	221	205	土師器坏	SI454・埋土	外面回転ナデ	褐灰	(13.8)	[3.9]	-	
243	221	205	土師器坏	SI454・埋土	外面回転ナデ	にぶい黄橙	(12.8)	[5.8]	(6.2)	底部回転系切り
244	221	205	土師器坏	SI456・埋土		にぶい黄橙	-	[0.8]	(6.2)	底部回転系切り
245	221	205	土師器坏	SI468・埋土	回転ナデ	浅黄橙	-	[3.9]	(5.4)	須恵器の 可能性あり。 底部回転系切り
246	221	205	土師器坏	SI706・埋土	回転ナデ	浅黄橙	-	[3.7]	6.5	底部回転系切り
247	221	205	土師器坏	SI731・埋土 SI732・カマド・埋土	外面回転ナデ	にぶい橙	13.5	4.8	6.0	須恵器の 可能性あり。 底部回転系切り
248	221	205	土師器坏	SI746・埋土	回転ナデ	にぶい橙	-	[1.9]	(6.0)	底部回転系切り
249	221	205	土師器坏	SI806・埋土一括	外面回転ナデ	にぶい黄橙	(13.9)	5.0	(6.6)	胎土粗い 底部回転系切り
250	221	205	土師器坏	SI204・埋土床, 埋土 (西側)	外面ケズリ	にぶい橙	(13.2)	[5.3]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
251	221	205	土師器坏	SI204・埋土中位層, カマド右ピット	外面ケズリ	浅黄橙	(13.6)	6.0	(8.6)	
252	221	205	土師器坏	SI204・埋土	外面ケズリ	にぶい黄橙	(13.6)	[4.7]	-	
253	221	205	土師器坏	SI204・木炭層, 土坑P1か		浅黄橙	(15.6)	[4.2]	-	
254	221	205	土師器坏	SI204・カマド前・炭層内		浅黄橙	(13.6)	[6.0]	-	
255	221	205	土師器坏	SI204・床直		灰白	(14.0)	[6.7]	-	
256	221	205	土師器坏	SI212・最上層, 埋土上層, 埋土最下層, SI207・南精査時, II A4g~6i 検出面	外面ケズリ	浅黄橙	12.9	6.8	6.1	
257	221	205	土師器坏	SI212・埋土最上層	外面ケズリ	にぶい橙	(14.4)	5.3	(6.0)	
258	221	205	土師器坏	SI212・埋土最上層, 南東・埋土下層	外面ケズリ	褐灰	(13.6)	5.3	(6.6)	
259	221	205	土師器坏	SI212・下層, 北の山(別遺構?)、 SI213・埋土 残土表探	外面ケズリ	にぶい橙	(13.0)	6.0	(5.0)	
260	222	205	土師器坏	SI213・埋土下層	外面ミガキ	褐灰	12.8	6.5	6.8	スス, 台に転用?
261	222	206	土師器坏	SI213・埋土	外面ケズリ	褐灰	(14.9)	5.9	(8.0)	
262	222	206	土師器坏	SI213・埋土	外面ケズリ	褐灰	15.8	[6.7]	-	
263	222	206	土師器坏	SI213・埋土上~下層, 埋土, カマド SI235 II B9b~e・表土検出面	外面ケズリ	褐灰	(12.9)	6.5	(6.8)	
264	222	206	土師器坏	SI213・埋土上~下層, 埋土	外面ケズリ	にぶい橙	(14.1)	5.0	(7.2)	
265	222	206	土師器坏	SI213・埋土下層 SI235	外面ケズリ	褐灰	(12.0)	6.6	7.0	
266	222	206	土師器坏?	SI213・埋土上~下層 SK233	外面ケズリ	浅黄橙	-	[2.5]	(7.4)	
267	222	206	土師器坏	SI213・埋土 SI234	外面ケズリ	浅黄橙	(13.6)	5.8	(7.2)	
268	222	206	土師器坏	SI213・埋土下層		灰白	(13.0)	4.8	(6.9)	
269	222	206	土師器坏	SI214・埋土トレンチ	外面ケズリ	褐灰	(12.8)	5.4	7.0	台に転用?
270	222	206	土師器坏	SI215・南西, 北東	外面ケズリ	にぶい橙	(14.2)	6.0	7.4	
271	222	206	土師器坏	SI215	外面ケズリ	にぶい橙	(14.6)	5.3	(7.0)	
272	222	206	土師器坏	SI233・下層	外面ケズリ	にぶい橙色	(13.8)	5.0	(8.0)	
273	222	206	土師器坏	SI234・床面	外面ケズリ	灰白色	(14.6)	5.8	7.2	
274	222	206	土師器坏	SI234, III B2i~6j, II C2a~6a・検出面	外面ケズリ	にぶい橙	(13.8)	5.6	(5.6)	
275	222	206	土師器坏	SI237・カマド周辺	外面ケズリ	灰黄褐	(13.3)	6.8	(7.1)	スス, 台に転用?

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
276	222	206	土師器坏	SI502・埋土上～下位	外面ケズリ	にぶい褐	13.1	5.6	(6.0)	
277	222	206	土師器坏	SI505・埋土最下層	外面ケズリ	灰白	(13.0)	6.0	(7.0)	
278	222	206	土師器坏	SI502・埋土上～下層, 東西ベルト埋土下層	外面ケズリ	にぶい黄橙	(13.0)	5.2	6.0	
279	222	206	土師器坏	SI404・埋土	外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[3.6]	(7.2)	
280	222	206	土師器坏	SI430・埋土	外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[2.5]	6.8	
281	222	206	土師器坏	SI436・埋土	外面ケズリ	灰白	(12.6)	6.7	(7.4)	
282	222	206	土師器坏	SI436・埋土, SK428・埋土	外面ケズリ	にぶい橙	(13.4)	5.3	6.6	
283	222	206	土師器坏	SI439・埋土	外面ケズリ	明褐灰	(11.0)	[3.5]	-	
284	222	206	土師器坏	SI454・埋土	外面ケズリ	褐灰	(13.6)	[5.1]	-	
285	222	206	土師器坏	SI454・埋土		にぶい黄橙	-	[0.7]	7.2	底部ヘラケズリ
286	222	206	土師器坏	SI454・埋土	外面ケズリ	にぶい橙	(14.8)	5.4	(7.0)	
287	222	206	土師器坏	SI454・埋土	外面ケズリ	褐灰	(14.1)	5.8	(8.2)	
288	222	206	土師器坏	SI454・検出面～10cm下	外面ケズリ	にぶい黄橙	(14.0)	5.7	(7.0)	
289	222	206	土師器坏	SI458・埋土	外面ケズリ	にぶい橙	-	[2.7]	6.8	
290	222	206	土師器坏	SI474・埋土 SI470・埋土	外面ケズリ	浅黄橙	(12.8)	[3.6]	-	スス多量に付着
291	222	206	土師器坏	SI739・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[1.7]	(6.8)	
292	222	206	土師器坏	SI739・貼床, 掘方埋土, 攪乱穴, 攪乱(北側)	外面ケズリ	にぶい黄橙	(13.4)	[5.4]	-	
293	223	207	須恵器坏	SI08・南西・埋土下層 III C3a トレンチ・ セクションベルト・IV層下	回転ナデ	灰白	14.2	5.2	4.1	底部回転糸切り
294	223	207	須恵器坏	SI111・南西・覆土上		褐灰	-	[1.3]	6.2	瀬谷子窯? 内面擦痕 底部回転糸切り
295	223	207	須恵器坏	SI213・埋土上～下層	回転ナデ	灰	(13.8)	4.9	(6.0)	底部回転糸切り
296	223	207	須恵器坏	SI218	回転ナデ 外面回転 ヘラケズリ	灰白	-	[1.0]	(5.8)	底部回転糸切り
297	223	207	須恵器坏	SI220・埋土上位	回転ナデ	灰白	(14.3)	[4.9]	(5.0)	底部回転糸切り
298	223	207	須恵器坏	SI222・カマドそば・埋土上層, 北東・埋土下層	回転ナデ	灰白	[14.2]	4.8	(5.0)	未使用か? 底部回転糸切り
299	223	207	須恵器坏	SI235・埋土	外面回転ナデ	青灰	-	[1.7]	(6.0)	底部回転糸切り
300	223	207	須恵器坏	SI444・埋土	回転ナデ	灰白	15.1	5.2	5.3	内面擦痕 底部回転糸切り

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
301	223	207	須恵器坏	SI454・埋土	外面回転ナデ	灰	-	[4.2]	(6.0)	底部回転糸切り
302	223	207	須恵器坏	SI436・埋土	外面回転ナデ	灰	-	[1.6]	6.3	内面擦痕 底部回転糸切り
303	223	207	須恵器坏	SI443・埋土 II Z・検出面	外面回転ナデ	灰白	-	[1.8]	5.4	内面擦痕 底部回転糸切り
304	223	207	須恵器坏	SI447・埋土	回転ナデ	明赤褐	-	[2.2]	4.8	底部回転糸切り
305	223	207	須恵器坏	SI447・埋土	回転ナデ	浅黄橙	(14.0)	[4.2]	-	墨書「？」
306	223	207	須恵器坏	SI447・埋土	回転ナデ	青灰	14.6	5.0	5.7	一部乳白色 底部回転糸切り
307	223	207	須恵器坏	SI454・埋土	外面回転ナデ	灰白	-	[3.8]	(5.2)	底部回転糸切り
308	223	207	須恵器坏	SI456・埋土	回転ナデ	灰	-	[1.8]	4.4	底部回転糸切り
309	223	207	須恵器坏	SI447・埋土	回転ナデ	灰	-	[2.0]	(6.0)	底部回転糸切り
310	223	207	須恵器坏	SI442・埋土	外面回転ナデ	灰白	-	[1.8]	(5.4)	底部回転糸切り
311	223	207	須恵器坏	SI470・埋土 SI474・埋土 SI420・埋土	回転ナデ	灰白	14.5	5.3	5.4	ヘラ描 「+」か? 底部ヘラ切り
312	223	207	須恵器坏	SI474・埋土		灰白	-	[0.8]	5.2	底部回転糸切り
313	223	207	須恵器坏	SI475・埋土 SI424・埋土	回転ナデ	灰白	(14.0)	[4.5]	5.4	底部回転糸切り
314	223	207	須恵器坏	SI478・埋土一括		灰	-	[1.2]	(5.6)	底部回転糸切り
315	224	207	須恵器坏	SI476・埋土	回転ナデ	灰	(14.6)	4.5	(5.4)	底部回転糸切り
316	224	207	須恵器坏	SI476・埋土	回転ナデ	青灰	(12.9)	4.1	(5.4)	底部回転糸切り
317	224	207	須恵器坏	SI436・埋土,埋土	回転ナデ	灰白	14.4	5.0	5.8	焼成不良の 須恵器 底部回転糸切り
318	224	207	須恵器坏	SI481・埋土一括	回転ナデ	灰白	(13.2)	4.6	(5.6)	B319と同時焼成 底部ヘラ切り
319	224	207	須恵器坏	SI481・埋土	回転ナデ	灰白	(14.2)	4.0	5.6	B318と同時焼成 底部ヘラ切り
320	224	207	須恵器坏	SI481・埋土一括		灰	-	[0.8]	(6.0)	底部回転糸切り
321	224	207	須恵器坏	SI710・北東・埋土	回転ナデ	灰白	(13.6)	[4.9]	(5.6)	墨書「？」、 油煙痕 底部回転糸切り
322	224	207	須恵器坏	SI726・埋土		灰白	-	[1.4]	(5.2)	底部回転糸切り
323	224	207	須恵器坏	SI507・南東・埋土、SI503・検出面 西側エリア、 III B検出面	内面回転ナデ 外面ケズリ	灰白	(15.6)	3.0	(12.0)	底部ヘラケズリ
324	224	208	土師器高台坏	SI242	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.3)	6.0	(7.4)	
325	224	208	土師器高台坏	SI09・北東・埋土 SI10・北西・埋土 SI10・北西隅・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	16.2	[6.4]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
326	224	222	土師器高台坏	SI202・中位層、埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	(15.2)	6.1	(7.4)	底部貼付ナデ
327	224	222	土師器高台坏	SI202・貼床・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[5.2]	(8.8)	多角形ミガキ
328	224	222	土師器高台坏	SI202・床面	外面回転ナデ	にぶい橙	-	[3.8]	(9.8)	
329	224	222	土師器高台坏	SI202・埋土中位層	内面ハケ 外面ミガキ	褐灰	-	[3.0]	7.6	
330	224	222	土師器高台坏	SI202・最上層,床面	内外面ミガキ	黒	-	[1.6]	(8.8)	
331	224	222	土師器高台坏	SI203・カマド右・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.9]	(7.2)	
332	224	222	土師器高台坏	SI205・埋土中位層	外面回転ナデ	浅黄橙	-	[3.2]	(8.0)	
333	224	222	土師器高台坏	SI206・埋土-20cm	内外面ミガキ	黒褐	-	[2.6]	-	
334	224	222	土師器高台坏	SI213・埋土最上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.4]	-	
335	224	222	土師器高台坏	SI212・西半・埋土最下層	内面ミガキ 外面回転 ヘラケズリ	浅黄橙	-	[4.2]	(8.8)	
336	224	222	土師器高台坏	SI213・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[4.3]	(9.0)	
337	224	222	土師器高台坏	SI221・埋土上層	外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.1]	7.6	
338	224	222	土師器高台坏	SI222・P1・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	灰白	16.7	6.5	7.7	
339	224	222	土師器高台坏	SI231・床面	外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[2.4]	(8.6)	
340	224	222	土師器高台坏	SI235・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	灰白	(15.0)	(6.2)	-	高台爪あと
341	224	222	土師器高台坏	SI233・北西・埋土下層		橙	-	[1.6]	(8.0)	
342	224	222	土師器高台坏	SI233・北西・埋土下層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(16.0)	[5.6]	-	
343	225	223	土師器高台坏	SI401・南側	外面ミガキ	にぶい黄橙	-	[2.9]	7.0	
344	225	223	土師器高台坏	SI403・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	-	[2.7]	-	底部回転系切り
345	225	223	土師器坏	SI403・西側	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(16.0)	[4.2]	-	刻書
346	225	223	土師器高台坏?	SI424・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	17.2	[4.7]	-	雲母多い。
347	225	223	土師器高台坏	SI454・南埋土	内面ミガキ	黄橙	-	[3.3]	(8.0)	
348	225	223	土師器高台坏	SI454・検出面～10cm下,埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(15.9)	6.1	9.2	
349	225	223	土師器高台坏	SI445・床直	内面ミガキ 外面ヘラナデ	浅黄橙	15.9	6.2	-	
350	225	223	土師器高台坏	SI454・埋土	外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[3.3]	(8.0)	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
351	225	208	土師器高台杯	SI454・埋土	内外面ミガキ	黒	-	[1.8]	9.4	底部ミガキ
352	225	208	土師器高台杯?	SI423・埋土		浅黄橙	-	[3.5]	(6.0)	
353	225	208	土師器高台杯	SI427・埋土		にぶい橙	-	[1.8]	(6.2)	
354	225	208	土師器高台杯	SI430・埋土下部	内外面ミガキ	黒	-	[2.3]	(7.2)	
355	225	208	土師器高台杯	SI459, SI461・埋土	内面ミガキ	浅黄橙	-	3.9	9.4	
356	225	208	土師器高台杯	SI478・埋土 SB403・P22	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(17.0)	[6.2]	-	雲母多い。
357	225	208	土師器高台杯	SI704・埋土(トレンチ)	内面ミガキ	浅黄橙	-	[2.7]	(6.6)	
358	225	208	土師器高台杯	SI739・貼床・掘方埋土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[4.4]	(7.7)	
359	225	208	土師器高台杯	SI746・埋土	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[1.5]	-	
360	225	208	土師器高台杯	SI212・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.5)	[4.5]	-	
361	225	208	土師器高台杯	SI215・埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(13.6)	[2.6]	-	
362	225	209	土師器高台皿	SI502・埋土上-下位	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	13.0	4.0	6.2	墨書「?」
363	225	209	土師器高台皿	SI408・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(13.6)	[2.6]	-	
364	225	209	土師器高台皿	SI426・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(13.6)	[3.0]	-	
365	225	209	土師器高台皿	SI704・埋土(トレンチ)	内面ミガキ	にぶい褐	(14.0)	[2.6]	-	
366	225	209	土師器高台皿	SI738・埋土, カマド埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(12.9)	[5.4]	(7.8)	多角形ミガキ
367	225	209	土師器耳皿	SI202・埋土中位~下層	内外面ミガキ	黒褐	8.8	[3.4]	5.6	
368	225	209	土師器耳皿	SI212	内外面ミガキ	黒	[9.4]	[3.4]	4.2	
369	225	209	土師器耳皿	SI233・北西・埋土下層	内外面ミガキ	黒	-	3.9	4.3	
370	226	209	土師器杯	SI203・カマド右・埋土	内面ミガキ 外面ハケ	浅黄橙	(16.0)	[5.0]	-	
371	226	209	土師器杯	SI204(205かも)・中位	内外面ミガキ	にぶい黄橙	(17.1)	5.6	-	
372	226	209	土師器杯	SI205	内外面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(16.0)	[5.2]	-	
373	226	209	土師器杯	SI205・埋土下層	内外面ミガキ	浅黄橙	(14.9)	5.6	-	
374	226	209	土師器杯	SI205・床上木炭上・埋土下層	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	(13.8)	5.3	-	
375	226	209	土師器杯	SI205・埋土中位層	内面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	(17.0)	[4.7]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
376	226	209	土師器坏	SI205・A	内外面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	(16.0)	[5.1]	-	
377	226	209	土師器坏	SI205	内外面ミガキ	にぶい赤褐	18.0	5.2	-	
378	226	209	土師器坏	SI205・Bベルト・埋土	内面ミガキ	にぶい褐	(15.2)	[3.1]	-	
379	226	209	土師器坏	SI205・No.2・中位層	内外面ミガキ	にぶい橙	(15.8)	4.7	-	
380	226	209	土師器坏	SI205・最上層	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(11.1)	3.6	-	
381	226	209	土師器坏	SI205・No.5	内外面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	(10.0)	4.5	-	
382	226	209	土師器坏	SI205・最上層	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	(12.6)	4.2	-	
383	226	209	土師器坏	SI205・No.2・中位層	内面ミガキ 外面ケズリ	灰白	14.6	5.2	-	
384	226	209	土師器坏	SI205・埋土下層	内外面ミガキ 外面ハケ	にぶい黄橙	16.4	4.5	-	
385	226	209	土師器坏	SI207・カマド左側1.5m・+20cm埋土	内外面ミガキ	浅黄橙	(13.4)	[3.75]	-	
386	226	209	土師器坏	SI207・カマド煙道,カマド埋土	内外面ミガキ 外面ケズリ	灰黄褐	(17.7)	[5.3]	-	
387	226	209	土師器坏	SI207・No.1・床+10cm	内外面ミガキ	橙	(17.4)	[5.6]	-	
388	226	209	土師器坏	SI219・南東・埋土,南西・埋土	内外面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(17.4)	5.4	-	
389	226	210	土師器坏	SI229		灰黄褐	(14.5)	6.0	-	
390	226	210	土師器坏	SI229・カマド付近南西・埋土下層	内面ミガキ	にぶい橙	(17.1)	5.8	-	
391	227	210	土師器坏	SI504・埋土上-下位、 中央・表土～検出面	内外面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	(17.0)	3.7	-	
392	227	210	土師器坏	SI507・カマド左袖内	内外面ミガキ	浅黄橙	(15.6)	[3.7]	-	
393	227	210	土師器坏	SI507・左半トレンチ 残土中	内外面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	(15.7)	[4.2]	-	
394	227	210	土師器坏	SI706・埋土	内面ミガキ 外面ケズリ	灰黄褐	(15.5)	5.1	-	底部ヘラケズリ
395	227	210	土師器高坏	SI203・南側精査～昨年床精査	内外面ハケ	にぶい黄橙	-	[4.0]	-	
396	227	210	土師器高坏	SI205・埋土下層	外面回転ナデ	にぶい橙	-	[4.6]	(9.2)	
397	227	210	土師器高坏	SI455・埋土	内面ハケ・ ケズリ?	橙	-	[2.5]	(11.0)	
398	227	210	土師器高坏	SI803・カマド左袖・床直	内面ミガキ	浅黄橙	-	[1.8]	-	
399	227	210	土師器高坏	SI718・埋土下層,周溝	内外面ミガキ	浅黄橙	-	[5.0]	-	
400	227	210	土師器鉢	SI06・埋土	内面ミガキ	にぶい黄橙	(17.4)	[2.5]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
401	227	210	土師器鉢	SI201・床面	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[3.2]	-	
402	227	210	土師器鉢	SI202・床面	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい黄橙	(24.6)	[11.4]	-	
403	227	210	土師器鉢	SI237・カマド周辺 SI203・南側精査～昨年度精査	内面ミガキ	にぶい赤褐	-	[9.5]	-	
404	227	210	土師器鉢	SI505・トレンチ・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(15.6)	[5.0]	-	
405	227	210	土師器鉢	SI447・埋土	外面回転 ヘラケズリ	にぶい橙	-	[1.9]	(6.2)	底部回転糸切り
406	227	210	土師器鉢	SI418, 451, 453・埋土 SI454・北埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ・ ケズリ	にぶい黄橙	-	[16.0]	(10.6)	
407	227	210	土師器鉢	SI710・貼床	外面ケズリ 内面ミガキ	にぶい褐	-	[2.7]	[6.8]	雲母多量 底部回転糸切り
408	227	210	土師器鉢	SI718・埋土	内面回転ナデ 外面ケズリ	灰黄褐	-	[3.1]	5.5	底部回転糸切り
409	227	210	土師器鉢	SI203・No.2・床面		灰白	13.1	7.9	6.4	
410	227	210	土師器鉢	SI219・南東・埋土	内面ハケ 外面ミガキ	にぶい褐	(13.9)	11.4	(5.1)	
411	228	210	土師器甕	SI06・カマド一括	内面ヘラナデ 外面ヘラナデ・ ケズリ	褐灰	15.4	19.6	8.2	底部木葉痕
412	228	211	土師器甕	SI08・ベルト III C 3 a トレンチ・ セクションベルト F (住)	内外面ヘラナデ・ ハケ	褐灰	(14.2)	[9.9]	-	
413	228	211	土師器甕	SI09・カマド・覆土、中央南西・ 床直、道路下T14脇・第2面、 道路下T11脇・第2面、III C 2 b・ 第2面、SD46脇遺物ポイント土器 1	内面ハケ 外面ミガキ	褐灰	12.6	19.8	8.5	底部木葉痕
414	228	211	土師器甕	SI09・カマド周辺、南西・埋土上層、 北西・埋土下層、北東・埋土、SI10 ・北西・埋土	外面ヘラナデ	褐灰	-	[19.9]	(7.6)	
415	228	211	土師器甕	SI09・南東・埋土		褐灰	-	[2.8]	(7.6)	底部木葉痕
416	228	211	土師器甕	SI09・カマド周辺、北東・埋土 SI10・北西隅・埋土下層	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[18.7]	(10.8)	底部木葉痕
417	228	211	土師器甕	SI10・北西隅・埋土下層	外面ケズリ 内面一部 ユビオサエ有	灰黄褐	(9.2)	7.0	-	
418	228	211	土師器甕	SI10・K1・埋土	内外面ヘラナデ・ ハケメ	褐灰	-	[7.8]	(6.9)	底部ナデ
419	228	211	土師器甕	SI10・南東・覆土上層	外面ハケ	にぶい黄橙	-	[3.4]	(11.8)	底部木葉痕
420	228	211	土師器甕	SI11・カマド煙道内、カマド内	外面ヘラナデ	にぶい黄橙	-	[5.4]	(10.2)	
421	228	211	土師器甕	SI11・カマド周辺北東区、 カマド北東区・崩落土、 カマド内・2層、3層		褐灰	-	[5.0]	(8.8)	
422	228	211	土師器甕	SI11・北東・覆土上、 カマド袖	内面ハケ 外面ヘラナデ	褐灰	(13.0)	[11.0]	-	
423	228	211	土師器甕	SI11・右カマド袖上、カマド周辺北東区、 北東区・床面近く、北東・覆土上、 カマド右袖・焼土ブロック中、 焼土ピット東側北東・床直	外面ケズリ	灰黄褐	(12.8)	14.8	8.0	
424	229	211	土師器甕	SI12・南半・埋土下層	内外内面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐	-	[8.1]	8.3	底部木葉痕
425	229	211	土師器甕	SI12・南半・埋土下層	内面ハケ 外面ミガキ	橙	(18.2)	[7.6]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
426	229	211	土師器甕	SI12・埋土下層	内外面ユビナデ	褐灰	-	[5.1]	(9.6)	
427	229	211	土師器甕	SI13・床直 SD34・(壁)		にぶい黄橙	(20.8)	[8.3]	-	
428	229	211	土師器甕	SI14・ベルト	内外面ヘラナデ 外面ケズリ	褐灰	-	[6.5]	(7.8)	底部ヘラケズリ
429	229	211	土師器甕	SI14・北・埋土下層	内面ハケ 外面ヘラナデ	灰白	-	[4.8]	7.6	底部木葉痕
430	229	211	土師器甕	SI14・東・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[3.1]	(7.4)	底部木葉痕
431	229	211	土師器甕	SI14・ベルト	内外面ハケ	褐灰	(17.2)	[10.4]	-	
432a	229	211	土師器甕	SI14・北・埋土下層、 東・埋土、東・埋土下層、 北・埋土	外面ヘラナデ	にぶい黄橙	(18.6)	[17.5]	-	
432b	229	211	土師器甕	SI14・北・埋土下層、 東・埋土、東・埋土下層、 北・埋土	外面ヘラナデ	にぶい黄橙	-	[19.4]	-	
433	229	212	土師器甕	SI201・最上面	外面ケズリ	褐灰	-	[2.9]	(9.0)	底部木葉痕
434	229	212	土師器甕	SI204・カマド右側・貼床	内面ハケ	褐灰	(12.0)	[6.1]	-	
435	229	212	土師器甕	SI204・カマド右側・No.9	外面ケズリ	にぶい橙	-	[6.0]	(10.4)	底部木葉痕
436	229	212	土師器甕	SI206・A, No.1・確認面	外面ミガキ	褐灰	-	[6.1]	5.6	底部木葉痕
437	229	212	土師器壺	SI206・A, No.1・確認面		にぶい橙	-	[2.8]	(8.2)	底部木葉痕
438	230	212	土師器甕	SI206・Bカマド内	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい褐	(17.8)	[17.6]	-	
439	230	212	土師器甕	SI212・埋土最上層,埋土下層	外面ケズリ	にぶい黄橙	(15.0)	[20.4]	-	
440	230	212	土師器甕	SI212	内外面ハケ 外面ヘラナデ	にぶい黄橙	-	[4.9]	7.4	底部木葉痕
441	230	212	土師器甕	SI212・埋土下層,南東埋土下層	内外面ハケ	灰黄褐	-	[7.7]	10.6	底部木葉痕
442	230	212	土師器甕	SI212・北の山(別遺構?)		褐灰	7.6	7.4	5.0	外面スス, 内面コゲ 底部ヘラケズリ
443	230	212	土師器甕	SI213	内外面ハケ	褐灰	-	[8.4]	8.0	底部木葉痕
444	230	212	土師器甕	SI213・埋土下層,埋土,カマド部材	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(18.9)	32.7	(10.2)	底部ヘラケズリ
445	230	212	土師器甕	SI213・ベルト埋土	内外面ハケ	灰黄褐	(16.0)	[6.8]	-	
446	230	212	土師器甕	SI213・下層	内外面ハケ	にぶい黄褐	(11.2)	[5.8]	-	
447	230	212	土師器甕	SI214・SI214=SI238	外面ハケ	褐灰	-	[3.2]	(7.4)	
448	230	212	土師器甕	SI214・埋土上層	内面ハケ	灰白	-	[2.7]	(11.2)	底部木葉痕
449	230	212	土師器甕	SI215・埋土下層	外面ケズリ	褐灰	(11.8)	[9.7]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
450	230	212	土師器甕	SI221・埋土上層,埋土下層	外面ハケ	にぶい褐	-	[5.0]	(8.1)	
451	231	212	土師器甕	SI221・埋土上層	内外面ハケ	にぶい橙	(20.6)	[9.9]	-	
452	231	212	土師器甕	SI222・埋土下層,カマド支脚	外面ヘラナデ	にぶい黄橙	-	[8.9]	8.8	底部木葉痕
453	231	212	土師器甕	SI222・カマドそば・埋土上層	外面ケズリ	灰白	-	[7.9]	6.3	
454	231	212	土師器甕	SI223・南東・埋土,西カマド・覆土	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(15.0)	[9.1]	-	
455	231	212	土師器甕	SI223・埋土上層	外面ミガキ	にぶい褐	(17.2)	[9.8]	-	
456	231	213	土師器甕	SI223・北東・埋土下層	外面ハケ	にぶい黄橙	-	[14.3]	(8.0)	底部木葉痕
457	231	213	土師器甕	SI231・下層	外面ハケ	にぶい黄橙	(19.8)	[11.3]	-	
458	231	213	土師器甕	SI223・西カマド・覆土,(焼) SI231・下層	内外面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐	(19.5)	[18.8]	-	
459	231	213	土師器甕	SI233・埋土下層	外面ケズリ	褐灰	-	[6.7]	8.6	底部木葉痕
460	231	213	土師器甕	SI235	内外面ハケ	灰黄褐	(22.7)	[22.1]	-	
461	232	213	土師器甕	SI235・埋土 SI214	外面ハケ	灰黄褐	-	[11.3]	10.9	
462	232	213	土師器甕	SI235		灰黄褐	-	[3.7]	8.9	底部木葉痕
463	232	213	土師器甕	SI235	内外面ハケ	にぶい黄橙	(11.8)	[7.0]	-	
464	232	213	土師器甕	SI242・埋土	内外面ハケ	灰白	(18.0)	[15.3]	-	
465	232	213	土師器甕	SI244・埋土上層	外面ケズリ	褐灰	-	[8.8]	7.2	底部木葉痕
466	232	213	土師器甕	SI503・カマド付近・床直 SI502・ベルト・埋土	内面? 外面ハケ	褐灰	(12.4)	[7.7]	-	B469と 同一個体?
467	232	213	土師器甕	SI502・ベルト・埋土		浅黄橙	(19.2)	[8.0]	-	
468	232	213	土師器甕	SI502・埋土	外面ハケ	浅黄橙	(19.6)	[6.6]	-	
469	232	213	土師器甕	SI502・西壁・床面	内外面ハケ	褐灰	-	[8.5]	(8.8)	B469と 同一個体? 底部木葉痕
470	232	213	土師器甕	SI504・埋土下位,カマド近く・埋土	外面ハケ	灰白	-	[3.3]	8.4	
471	232	213	土師器甕	SI504・カマド覆土,カマド	外面ハケ	にぶい黄橙	(15.4)	[9.6]	-	
472	232	213	土師器甕	SI504・カマド	内外面ハケ	にぶい黄橙	(15.6)	[6.5]	-	
473	232	213	土師器甕	SI505・下部埋土		褐灰	-	[2.5]	(6.5)	
474	232	213	土師器甕	SI505・下部埋土	外面ハケ	褐灰	-	[4.5]	(6.0)	底部ハケ

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
475	232	214	土師器甕	SI507・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐	-	[8.6]	(8.4)	底部木葉痕
476	232	214	土師器甕	SI507・北東・埋土下層 西側エリア・検出面	内外面ハケ	褐灰	-	[7.7]	(9.4)	底部木葉痕
477	233	214	土師器甕	SI507・南西・埋土下層		褐灰	(21.0)	[12.6]	-	
478	233	214	土師器甕	SI507・南西竈側・埋土上層	内面ハケ	灰黄褐	(20.0)	[19.0]	-	
479	233	214	土師器甕	SI507・北側・埋土	内外面ハケ	橙	(21.6)	[8.4]	-	
480	233	214	土師器甕	SI507・西側(北西) 集中部・埋土下層, 北側埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(19.2)	[28.1]	-	
481	233	214	土師器甕	SI401 II Z 南側	外面ケズリ	灰黄褐	-	[17.5]	10.0	底部ヘラケズリ
482	233	214	土師器甕	SI401・南側・埋土 II Z 南側	外面ケズリ	にぶい黄橙	(23.0)	[24.5]	-	
483	234	214	土師器甕	SI402・埋土下位, 埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[8.0]	10.7	底部木葉痕
484	234	214	土師器甕	SI403・北側	外面ハケ	灰黄褐	(16.0)	[7.7]	-	
485	234	214	土師器甕	SI403・東側	内外面ハケ	にぶい黄橙	(23.6)	[10.8]	-	
486	234	214	土師器甕	SI403・カマド構築物中	外面ハケ	黄橙	(16.4)	[8.3]	-	
487	234	214	土師器甕	SI403・床面	外面ケズリ	褐灰	-	[4.5]	(7.8)	底部木葉痕
488	234	214	土師器甕	SI403・土坑・貼床下	内面ハケ 外面回転ナデ	褐灰	(12.4)	[8.2]	-	
489	234	214	土師器甕	SI403・東側	内外面ハケ	灰黄褐	-	[4.0]	(8.8)	
490	234	214	土師器甕	SI403・北・床面	外面回転ナデ	灰白	-	[3.2]	(10.0)	底部木葉痕
491	234	214	土師器甕	SI403・カマド構築物中	内面ハケ	にぶい黄橙	-	[3.2]	(10.4)	底部木葉痕
492	234	215	土師器甕	SI404・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(16.4)	[11.3]	-	
493	234	215	土師器甕	SI411・カマド・床直, 埋土, カマド内, カマド土器	内外面ハケ	灰黄褐	23.4	[25.2]	-	
494	234	215	土師器甕	SI411・カマド・床直, 埋土, カマド内, カマド土器	内外面ハケ	にぶい橙	(18.4)	[22.0]	-	
495	235	215	土師器甕	SI411・ カマド・カマド土器, 埋土	外面ハケ	にぶい黄橙	(21.0)	[14.7]	-	
496	235	215	土師器甕	SI411・カマド構築物	外面ケズリ・ハケ	にぶい黄橙	(26.0)	[7.0]	-	
497	235	215	土師器甕	SI411・カマド内, カマド	外面ハケ	にぶい褐	-	[21.8]	(9.6)	
498	235	215	土師器甕	SI413・埋土	内外面ハケ	にぶい橙	(13.6)	[6.0]	-	
499	235	215	土師器甕	SI413・埋土	回転ナデ	褐灰	(15.8)	[3.7]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
500	235	215	土師器甕	SI413・埋土・埋土下位	外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[5.7]	(8.8)	
501	235	215	土師器甕	SI418・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	橙	(13.9)	[7.0]	-	
502	235	215	土師器甕	SI420・床直	外面ケズリ	褐灰	(15.2)	[10.1]	-	
503	235	215	土師器甕	SI420・埋土	内外面ハケ	浅黄橙	(20.0)	[8.8]	-	
504	235	215	土師器甕	SI420・埋土, SI403・南側, SI418・埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[10.5]	(13.0)	底部木葉痕
505	235	215	土師器甕?	SI421・埋土	外面ハケ	灰白	-	[2.5]	(6.0)	底部木葉痕
506	235	215	土師器甕	SI421・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	-	[9.3]	(9.6)	
507	235	215	土師器甕	SI429・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(13.7)	[5.0]	-	
508	236	216	土師器甕	SI429・床面	内外面ハケ	にぶい黄橙	(17.4)	[8.8]	-	
509	236	216	土師器甕	SI429・床面	内外面ハケ	にぶい黄橙	(18.4)	[12.0]	-	
510	236	216	土師器甕	SI430・埋土下部, 煙道 2, 旧住居, 埋土上部	外面ケズリ	明褐灰	11.1	11.6	8.4	
511	236	216	土師器甕	SI430・ベルト・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	浅黄橙	(13.2)	[9.7]	-	
512	236	216	土師器甕	SI430・カマド内	外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[3.2]	(9.2)	
513	236	216	土師器甕	SI430・北東・埋土上部	外面ケズリ	にぶい橙	(14.2)	[9.8]	-	
514	236	216	土師器甕	SI430・北東・埋土上部	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(22.6)	[4.8]	-	
515	236	216	土師器甕	SI430・旧住居	内外面ハケ	にぶい黄橙	(17.0)	[4.6]	-	
516	236	216	土師器甕	SI430・煙道 2	外面ケズリ	にぶい黄橙	(20.2)	[8.6]	-	
517	236	216	土師器甕	SI430・カマド内	内外面ハケ	灰黄褐	(23.0)	[10.5]	-	
518	236	216	土師器甕	SI430・煙道	内外面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(21.0)	[7.1]	-	
519	236	216	土師器甕	SI430・旧カマド	内外面ハケ	にぶい褐	(20.4)	[6.9]	-	
520	236	216	土師器甕	SI430・煙道 2	内外面ハケ	褐灰	(20.6)	[8.5]	-	
521	236	216	土師器甕	SI430・北東・埋土上部, カマド脇	内外面ハケ	灰褐	(22.4)	[23.3]	-	
522	237	216	土師器甕	SI430・煙道 2, 埋土下部	外面ケズリ	灰白	(14.8)	[9.1]	-	
523	237	216	土師器甕	SI430・煙道 2	外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[7.5]	(10.6)	底部木葉痕
524	237	216	土師器甕	SI431・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(15.5)	[5.1]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
525	237	216	土師器甕	SI431・埋土		にぶい黄橙	(14.2)	[4.7]	-	
526	237	216	土師器甕	SI431・埋土, カマド埋土	外面ハケ	灰白	(17.8)	[11.7]	-	
527	237	216	土師器甕	SI436・埋土	外面ケズリ	明褐灰	(19.0)	[10.1]	-	
528	237	216	土師器甕	SI436・埋土		褐灰	-	[1.4]	(11.8)	砂底
529	237	216	土師器甕	SI439・北東隅・埋土	外面ケズリ	褐灰	15.0	18.4	9.6	
530	237	217	土師器甕	SI439, SI433・北東隅・埋土	内面ケズリ	にぶい黄橙	(19.8)	[8.0]	-	
531	237	217	土師器甕	SI442・埋土	内外面ハケ	灰黄褐	(16.5)	27.0	10.4	
532	237	217	土師器甕	SI442・埋土 SI443・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[11.0]	(8.0)	
533	238	217	土師器甕	SI442・埋土	外面ケズリ	灰黄褐	(17.6)	[24.1]	-	
534	238	217	土師器甕	SI443・埋土		褐灰	-	[3.7]	(8.4)	底部木葉痕
535	238	217	土師器甕	SI443・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[5.4]	(8.6)	
536	238	217	土師器甕	SI445・埋土, 埋土下層	内面ハケ	褐灰	-	[2.6]	(10.0)	
537	238	217	土師器甕	SI445・埋土上層		褐灰	(13.6)	[3.8]	-	
538	238	217	土師器甕	SI445・埋土下層	外面ケズリ	にぶい褐	20.7	[26.5]	-	
539	238	217	土師器甕	SI445・床直	外面ハケ	明褐灰	(19.8)	[17.8]	-	
540	238	217	土師器甕	SI445・埋土上層, 埋土	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(19.0)	[17.6]	-	
541	238	217	土師器甕	SI445・埋土, 埋土下層		にぶい橙	(12.4)	[10.6]	-	
542	238	217	土師器甕	SI445・床直		褐灰	-	[6.5]	(11.0)	
543	238	218	土師器甕	SI445・床直		灰褐	-	[3.3]	-	刻書「+」
544	238	218	土師器甕	SI445・埋土, カマド2・煙道 SI445の下・検出	外面ケズリ	褐灰	-	[13.3]	(12.5)	
545	239	218	土師器甕	SI449・埋土		にぶい黄橙	-	[4.3]	(7.6)	
546	239	218	土師器甕	SI452・埋土	内外面ハケ	にぶい黄褐	-	[4.8]	(7.0)	底部木葉痕
547	239	218	土師器甕	SI450・埋土	内外面ハケ	灰白	(14.6)	[11.5]	-	
548	239	218	土師器甕	SI454・南・埋土	外面ケズリ	褐灰	(13.4)	[5.8]	-	
549	239	218	土師器甕	SI454・北	内外面ハケ	褐灰	(13.3)	[6.5]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
550	239	218	土師器甕	SI454・埋土, 南埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[4.2]	(9.7)	底部木葉痕
551	239	218	土師器甕	SI454・南埋土	外面ハケ	褐灰	-	[3.7]	(9.1)	
552	239	218	土師器甕	SI454・埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[3.0]	(9.5)	底部木葉痕
553	239	218	土師器甕	SI454・検出面～10cm下	内外面ハケ	灰白	-	[2.8]	(9.6)	底部木葉痕
554	239	218	土師器甕	SI454・検出面～10cm下	内外面ハケ	浅黄橙	(15.9)	[5.0]	-	
555	239	218	土師器甕	SI454・埋土, 南埋土	内外面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(16.4)	[3.5]	-	
556	239	218	土師器甕	SI454・検出面～10cm下	内外面ハケ	にぶい黄橙	(19.5)	[6.6]	-	
557	239	218	土師器甕	SI454・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(18.2)	[6.8]	-	
558	239	218	土師器甕	SI454・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	-	[3.2]	6.5	底部木葉痕
559	239	218	土師器甕	SI454・埋土	外面ケズリ	灰黄褐	-	[5.8]	(11.6)	底部木葉痕
560	239	218	土師器甕	SI454・南埋土, 埋土	内外面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(17.2)	31.4	8.8	底部木葉痕
561	240	218	土師器甕	SI458・埋土	内面ハケ	灰黄褐	(20.8)	27.7	-	
562	240	218	土師器甕	SI461・埋土, 埋土下位	内面ケズリ	褐灰	-	[10.7]	(10.8)	底部木葉痕
563	240	218	土師器甕	SI461・床直		にぶい黄橙	-	[3.2]	(7.8)	
564	240	218	土師器甕	SI461・埋土		褐灰	(10.0)	[5.2]	-	
565	240	218	土師器甕?	SI461・埋土		にぶい橙	-	[1.8]	(8.0)	
566	240	218	土師器甕	SI461・埋土, 埋土下位	内外面ハケ	灰黄褐	(13.6)	21.4	(10.8)	底部木葉痕
567	240	219	土師器甕	SI461・埋土, 埋土下位	内外面ハケ	褐灰	(12.0)	16.1	8.0	底部木葉痕
568	240	219	土師器甕	SI463・埋土 SI454・埋土	内外面ハケ	浅黄橙	(18.2)	[8.6]	-	
569	240	219	土師器甕	SI459・埋土 SI464・埋土	内外面ハケ	褐灰	(11.4)	13.7	8.0	底部木葉痕
570	240	219	土師器甕	SI464・埋土, 貼床埋土	内外面ハケ	灰黄褐	(17.8)	[11.8]	-	
571	240	219	土師器甕	SI465・埋土		褐灰	-	[1.8]	[4.8]	
572	241	219	土師器甕	SI468・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(22.8)	[12.6]	-	
573	241	219	土師器甕	SI471・埋土 SI710・検出面	内外面ハケ	浅黄橙	(17.4)	[7.3]	-	
574	241	219	土師器甕	SI471・埋土	内外面ハケ	褐灰	12.6	[6.3]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
575	241	219	土師器甕	SI471・埋土	内面ハケ	橙	(16.2)	[9.2]	-	
576	241	219	土師器甕	SK461・埋土 SI472・埋土,埋土下層	内外面ハケ	明褐灰	(20.6)	[16.8]	-	
577	241	219	土師器甕	SI472・埋土 SI471・埋土 SK461・埋土	内外面ハケ	灰黄褐	(14.0)	[9.8]	-	
578	241	219	土師器甕	SI471・埋土	内外面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐	(16.4)	[18.1]	-	
579	241	219	土師器甕	SI471・埋土	内外面ハケ 外面ケズリ	褐灰	-	[7.0]	-	
580a	241	219	土師器甕	SI474・埋土 SI470・埋土	内外面ハケ	褐灰	(16.0)	[13.0]	-	
580b	241	219	土師器甕	SI474・埋土,貼床埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[11.3]	(11.6)	
581	242	219	土師器甕	SI474・埋土, SI470・埋土	内外面ハケ	褐灰	(15.2)	15.5	7.6	
582	242	219	土師器甕	SI474・カマド	外面ハケ	にぶい黄橙	[16.6]	[6.9]	-	
583	242	219	土師器甕	SI474・埋土 SI470・埋土	内外面ハケ	浅黄橙	-	[11.8]	10.6	
584	242	220	土師器甕	SI474・カマド	内面ハケ	浅黄橙	(14.0)	[7.5]	-	
585	242	220	土師器甕	SI478・埋土	内外面ハケ	褐灰	(13.0)	[6.5]	-	
586	242	220	土師器甕	SI478・埋土一括	内面ハケ	灰黄褐	(15.2)	[4.8]	-	
587	242	220	土師器甕	SI478・埋土		にぶい黄橙	-	[2.3]	(8.8)	
588	242	220	土師器甕	SI478・埋土一括	内面ハケ	褐灰	-	[2.0]	(7.0)	
589	242	220	土師器甕	SI478・埋土	内外面ハケ	灰白	(18.8)	[15.7]	-	
590	242	220	土師器甕	SI478・埋土、SI401・北西部 SI481・埋土一括, カマド付近・埋土	内外面ハケ	灰黄褐	-	[8.2]	9.7	ドベ 底部木葉痕
591	242	220	土師器甕	SI476・埋土	内外面ハケ	褐灰	-	[10.6]	(8.1)	
592	242	220	土師器甕	SI478・貼床・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	-	[7.4]	(8.3)	
593	242	220	土師器甕	SI478・貼床・埋土	外面ハケ	灰白	-	[4.6]	(8.8)	
594	243	220	土師器甕	SI481・埋土一括,カマド付近・ 埋土	内外面ハケ	にぶい橙	(16.8)	24.6	8.7	
595	243	220	土師器甕	SI481・北東隅・床直	外面ハケ	にぶい橙	(19.2)	32.6	9.5	
596	243	220	土師器甕	SI481・埋土,埋土カマド付近	内外面ハケ	褐灰	-	[8.2]	7.8	底部に台跡。
597	243	220	土師器甕	SI482・埋土	内外面ハケ	褐灰	(14.0)	[9.2]	-	
598	243	220	土師器甕	SI487・埋土	外面ケズリ	褐灰	(13.6)	[8.8]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
599	243	220	土師器甕	SI701・北東・埋土下層	内外面ハケ	にぶい橙	(18.0)	[7.2]	-	
600	243	220	土師器甕	SI701・埋土最上層, カマド燃焼部・直上,カマド・覆土	外面ハケ	褐灰	-	[18.1]	(9.6)	
601	243	220	土師器甕	SI701・埋土最上層,北東・埋土下層	外面ハケ	にぶい黄橙	(24.6)	[9.8]	-	
602	244	221	土師器甕	SI703・煙出し・埋土,埋土	外面ハケ	灰黄褐	17.6	33.6	(10.0)	
603a	244	221	土師器甕	SI704・トレンチ・埋土 SI704の西側検出	内外面ハケ	褐灰	(13.9)	[13.2]	-	
603b	244	221	土師器甕	SI704・トレンチ・埋土 SI704の西側検出	内外面ハケ	褐灰	-	[4.7]	(9.2)	底部木葉痕
604	244	221	土師器甕	SI705・トレンチ・埋土		褐灰	-	[3.6]	(8.8)	底部木葉痕
605	244	221	土師器甕	SI705・北・埋土	外面ハケ	灰黄褐	-	[6.1]	(8.5)	
606	244	221	土師器甕	SI705・南西検出面～最上層 II A 6a～7b	外面ケズリ	褐灰	(17.6)	25.8	9.2	
607	244	221	土師器甕	SI706・トレンチ・最上層,埋土 SI442・埋土	外面ヘラナデ	灰褐	(17.5)	[9.4]	-	
608	244	221	土師器甕	SI707・南西・埋土,南東・埋土	外面ハケ	灰黄褐	-	[7.3]	(9.2)	
609	244	221	土師器甕	SI708・掘方埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[6.1]	(7.7)	
610	244	221	土師器甕	SI709・埋土	外面ハケ	褐灰	(11.0)	[9.7]	-	
611	244	221	土師器甕	SI709・検出面,東側・埋土最上層 SK466・埋土 SI714・埋土	外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[6.3]	9.0	
612	244	221	土師器甕	SI710・検出面,トレンチ	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[5.4]	(9.6)	
613	245	221	土師器甕	SI710・ベルト,トレンチ・検出面, SI471・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(20.8)	[29.5]	-	
614	245	222	土師器甕	SI710・検出面	外面ハケ	褐灰	-	[4.2]	(9.4)	底部木葉痕
615	245	222	土師器甕	SI712・カマド内一括	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	-	[5.3]	9.2	
616	245	222	土師器甕	SI714・埋土 SI709・検出面	外面ケズリ	褐灰	(14.2)	[11.9]	-	
617	245	222	土師器甕	SI717・埋土	内外面ハケ	灰黄褐	-	[4.4]	(10.2)	底部木葉痕
618	245	222	土師器甕	SI717・埋土	内外面ハケ	にぶい橙	(10.2)	[10.6]	-	
619	245	222	土師器甕	SI718・周溝	内外面ハケ	にぶい黄橙	(19.4)	[7.9]	-	
620	245	222	土師器甕	SI718・埋土下層	内面ハケ 外面ケズリ	黒褐	(11.4)	[7.1]	-	
621	245	222	土師器甕	SI718・埋土下層	外面ケズリ	灰白	-	[3.7]	(11.0)	
622	245	222	土師器甕	SI721・カマド内一括 SK701・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(13.3)	[8.4]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
623	245	222	土師器甕	SI721・カマド内一括	外面ケズリ	にぶい橙	(19.2)	[15.7]	-	
624	245	222	土師器甕	SI721・埋土,埋土床面, カマド内一括	外面ケズリ	にぶい橙	-	[12.7]	(8.4)	B625と同一個体
625	246	222	土師器甕	SI721・カマド内一括	外面ハケ	にぶい橙	(17.9)	[7.5]	-	B624と同一個体
626	246	222	土師器甕	SI721,SI712・カマド内一括	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	-	[24.0]	-	
627	246	222	土師器甕	SI729・カマド前床直,埋土	外面ハケ	にぶい黄橙	-	[10.9]	-	
628	246	222	土師器甕	SI731・埋土 SI732・埋土	外面ヘラナデ・ ハケ	灰褐	(14.0)	[11.1]	-	
629	246	222	土師器甕	SI737・埋土	内外面ハケ	褐灰	(15.0)	[7.4]	-	
630	246	222	土師器甕	SI739・カマド右袖,掘方埋土		にぶい黄橙	-	[5.7]	(7.8)	
631	246	222	土師器甕	SI739・埋土,埋土下部(北西) SI746・SK01・埋土	外面ケズリ	にぶい橙	(9.4)	9.8	4.4	底部ヘラケズリ
632	246	222	土師器甕	SI739・埋土下部(カマド周辺), カマド脇・埋土,カマド崩壊土, SI727・埋土,SI746・埋土	内外面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐	(21.4)	23.1	(8.2)	
633	246	223	土師器甕	SI739・貼床・掘方埋土,攪乱穴	内面ハケ	にぶい橙	(11.4)	[6.4]	-	
634	246	223	土師器甕	SI739・埋土下部(カマド周辺), 竈脇埋土,竈崩壊土,竈左袖, 掘方埋土,竈前床直	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい橙	(22.2)	[21.2]	-	
635	247	223	土師器甕	SI739・埋土,埋土下部 カマド周辺・SP01埋土		褐灰	(10.4)	[10.3]	(7.4)	
636	247	223	土師器甕	SI739・貼床・掘方埋土,攪乱穴, 南東壁 SI726・埋土,埋土下部	内面ヘラナデ 外面ケズリ	褐灰	(17.4)	[18.3]	-	
637	247	223	土師器甕	SI745・埋土	内面ハケ 外面ミガキ	褐灰	(11.0)	[9.2]	-	
638	247	223	土師器甕	SI746・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[2.8]	(7.6)	底部木葉痕
639	247	223	土師器甕	SI803・カマド脇・埋土, カマド右袖・埋土,カマド脇床直	外面ケズリ	褐灰	-	[7.5]	7.0	底部木葉痕
640	247	223	土師器甕	SI803・掘方埋土,Q4・埋土, Q2竈・埋土,カマド崩壊土	内外面ハケ	褐灰	(14.6)	[6.5]	-	
641	247	223	土師器甕	SI803・NSベルト・埋土最下部, NSベルト・床面	内外面ハケ	灰黄褐	(13.5)	[14.1]	-	
642	247	223	土師器甕	SI803・埋土最下部,Q1・埋土, Q4・掘方埋土,カマド脇・埋土, NSベルト・埋土最下部	外面ケズリ	灰黄褐	(14.8)	13.7	(8.8)	
643	247	223	土師器甕	SI803・Q2カマド・埋土, カマド脇・床直,No.1・土器竈直上, 北の攪乱	内外面ハケ	灰黄褐	(18.6)	25.9	(7.6)	
644	247	223	土師器甕	SI803・Q1(カマド左袖側)・ 掘方埋土	内面ハケ	橙	(19.2)	[11.7]	-	
645	247	223	土師器甕	SI805・掘方,掘方一括	内面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐	-	[4.9]	9.2	底部木葉痕
646	247	223	土師器甕	SI805・掘方,掘方一括	内外面ハケ	褐灰	-	[4.2]	(10.2)	底部木葉痕
647	247	223	土師器甕	SI805・掘方,掘方一括	内外面ハケ	にぶい黄橙	(18.5)	[7.7]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
648	248	223	土師器甕	SI805・掘方,掘方一括	内外面ハケ	灰白	(15.8)	[15.9]	-	
649	248	224	土師器甕	SI805・埋土一括,一括	内外面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(19.2)	[22.4]	-	
650	248	224	土師器甕	SI806・埋土一括	外面ケズリ	褐灰	-	[3.8]	(8.2)	底部ヘラケズリ
651	248	224	土師器甕	SI809・掘方埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(17.6)	[11.6]	-	
652	248	224	土師器甕	SI809・土器1・点取り	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(14.4)	14.1	8.9	底部木葉痕
653	248	224	土師器甕	SI811・煙道	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(18.2)	[15.4]	-	
654	248	224	土師器甕	SI811・煙道	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	-	[9.3]	(10.6)	底部木葉痕
655	248	224	土師器甕 ロクロ	SI201・最上面		浅黄橙	(18.0)	[2.25]	-	
656	248	224	土師器甕 ロクロ	SI222・検出面,北東・埋土下層	回転ナデ 外面ケズリ	灰白	(12.4)	12.4	(6.2)	内面コゲ
657	248	224	土師器甕 ロクロ	SI223・西カマド・覆土	回転ナデ	にぶい黄橙	-	[2.3]	6.0	底部回転糸切り
658	248	224	土師器甕 ロクロ	SI436・埋土	回転ナデ	にぶい橙	-	[2.4]	(7.8)	底部回転糸切り
659	248	224	土師器甕 ロクロ	SI223・煙道～煙出し・埋土	外面ケズリ	にぶい黄橙	(20.8)	[13.7]	-	
660	249	224	土師器甕	SI445・床直	外面回転ナデ	にぶい橙	(16.6)	[5.3]	-	
661	249	224	土師器甕	SI447・埋土	回転ナデ	にぶい黄橙	(14.2)	[3.8]	-	
662	249	224	土師器甕	SI454・検出面～10cm下 外・SI453-456あたり	回転ナデ	褐灰	(18.2)	[2.6]	-	
663	249	224	土師器甕	SI456・埋土	回転ナデ	浅黄橙	-	[3.9]	6.5	底部回転糸切り
664	249	224	土師器甕	SI476・埋土	回転ナデ	灰黄褐	(14.2)	[4.4]	-	
665	249	224	土師器甕	SI701・埋土最上層,北西・埋土下層	回転ナデ	にぶい黄橙	-	[2.6]	(9.4)	底部回転糸切り
666	249	224	土師器甕	SI701・埋土最上層	回転ナデ	にぶい黄褐	(13.8)	[6.1]	-	
667	249	224	土師器甕	SI710・南西・埋土	回転ナデ	にぶい橙	(16.2)	[6.0]	-	
668	249	224	土師器甕	SI04・埋土	内外面ヘラナデ	灰白	-	[3.5]	(8.0)	底部木葉痕
669	249	224	土師器甕	SI05・埋土上層 SI05・検出面	内面ハケ 外面ヘラナデ	にぶい黄橙	-	[5.0]	8.4	底部木葉痕
670	249	224	土師器甕	SI08・南西・埋土下層	内面ハケ 外面ヘラナデ	灰黄褐	-	[5.7]	(7.2)	底部木葉痕
671	249	224	土師器甕	SI202・検出面 SI203・床面	内外面ハケ	にぶい褐	14.2	20.8	6.0	底部ヘラナデ?
672	249	224	土師器甕	SI202・B, No. 1	内外面ミガキ	橙	18.0	[14.5]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
673	249	224	土師器甕	SI202・中位層,埋土	内外面ハケ	褐灰	(12.2)	12.9	7.8	
674	249	225	土師器甕	SI202・中位層,カマド前貼床・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[2.5]	(7.0)	底部ハケ
675	249	225	土師器甕	SI202・検出面	外面ヘラナデ	褐灰	-	[1.2]	4.8	底部木葉痕
676	249	225	土師器甕	SI203・No.13・焼土上層	外面ヘラナデ	にぶい黄橙	-	[6.3]	10.0	
677	249	225	土師器甕	SI203・埋土No.7,埋土No.8 SI204・埋土No.7	内面ヘラナデ・ハケ 外面ミガキ	にぶい黄橙	(17.1)	17.7	7.0	
678	250	225	土師器甕	SI203・床面	内外面ハケ	灰黄褐	-	[5.25]	7.6	底部木葉痕
679	250	225	土師器甕	SI203・No.1床面付近		にぶい黄橙	-	[2.3]	(8.6)	底部木葉痕
680	250	225	土師器甕	SI203・埋土No.8	内外面ハケ	橙	(16.4)	[14.2]	-	
681	250	225	土師器甕	SI203・埋土No.6,周辺精査	内面ヘラナデ・ハケ 外面ミガキ	浅黄橙	(20.0)	[11.7]	-	
682	250	225	土師器甕	SI203・No.12・焼土上層	内外面ハケ	にぶい黄橙	-	[6.5]	7.4	
683	250	225	土師器甕	SI205・床上木炭上・埋土中位層, 床+5cm	内外面ミガキ	にぶい橙	13.8	[8.5]	-	
684	250	225	土師器甕	SI205・カマド左・埋土No.07		褐灰	-	[2.9]	[8.7]	底部木葉痕
685	250	225	土師器甕	SI205・西・埋土・床+5cm,AとB	外面ミガキ	にぶい褐	(18.6)	[23.0]	-	
686	250	225	土師器甕	SI207・木炭層中, No.2土師器甕床着, No.3土師器甕 (No.2と同一か)	内外面ミガキ	浅黄橙	16.4	21.8	7.2	内面コゲ
687	250	225	土師器甕	SI210・上位層	回転ナデ	浅黄橙	(16.6)	[3.6]	-	
688	250	225	土師器甕	SI212・南側土器(遺物点有)	外面ミガキ	にぶい黄橙	16.8	[23.1]	-	
689	251	225	土師器甕	SI212・埋土最上層,埋土上層, 埋土下層	内面ハケ 外面ミガキ	にぶい黄橙	(17.6)	[20.8]	-	
690	251	225	土師器甕	SI219・南東・埋土,南西・埋土	内面ハケ 外面ミガキ	にぶい褐	-	[10.8]	7.6	底部木葉痕
691	251	226	土師器甕	SI219・南東・埋土 SI223・煙道～煙出し・埋土	内外面ミガキ 内面ヘラナデハケ	橙	-	[25.5]	(7.9)	
692	251	226	土師器甕	SI224・土器A	内外面ミガキ 外面ハケ	灰黄褐	(20.0)	[24.0]	-	口縁部内面 ミガキ
693	251	226	土師器甕	SI224・埋土上層	内外面ミガキ	褐灰	(17.4)	[6.8]	-	
694	251	226	土師器甕	SI227・北西・下層, III A 1a～4h・検出面	外面ハケ	にぶい褐	-	[7.8]	6.6	
695	251	226	土師器甕	SI234・埋土 SK233・埋土	内外面ハケ	浅黄橙	-	[5.2]	(5.8)	
696	251	226	土師器甕	SI234・カマド	内外面ハケ	褐灰	-	[7.1]	(9.0)	底部に台跡。
697	251	226	土師器甕	SI501・南東・埋土下層	内外面ハケ	灰黄褐	-	[3.8]	(6.4)	底部ハケ

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
698	251	226	土師器甕	SI506・カマド脇	内外面ハケ	にぶい黄橙	(20.8)	[25.5]	-	
699	252	226	土師器甕	SI507・カマド芯材		灰白	-	[2.6]	8.0	底部木葉痕
700	252	226	土師器甕	SI507・北東・埋土下層		浅黄橙	-	[2.9]	(7.6)	
701	252	226	土師器甕	SI507・北東・埋土下層		灰黄褐	-	[3.1]	(7.8)	
702	252	226	土師器甕	SI507・埋土		褐灰	-	[3.8]	(8.2)	底部木葉痕
703	252	226	土師器甕	SI507・埋土		灰黄褐	-	[3.4]	(8.4)	
704	252	226	土師器甕	SI507・埋土,北東・埋土下層, カマド芯材西・検出面	内外面ハケ 外面ミガキ	橙	19.0	[14.5]	-	
705	252	226	土師器甕	SI507・北側・埋土,東半トレンチ, 北西・埋土最下層〜床直, カマド芯材	内面ハケ 外面ミガキ	橙	-	[16.4]	(9.0)	底部ハケ
706	252	226	土師器甕	SI507・南半,南・埋土上層, 北東・埋土下層	内面ミガキ	浅黄橙	(20.2)	[9.3]	-	
707	252	226	土師器甕	SI507・埋土	外面ミガキ	褐灰	-	[3.4]	(7.9)	
708	252	227	土師器甕	SI508・南東・最下層, 南西・床直,ベルト	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい褐	-	[12.8]	(7.4)	底部木葉痕
709	252	227	土師器甕	SI421・埋土	内外面ハケ 外面ミガキ	にぶい黄橙	(21.4)	[13.4]	-	
710	252	227	土師器甕	SI430・カマド脇	内面ハケ	にぶい黄橙	-	[3.0]	(11.0)	底部木葉痕
711	252	227	土師器甕	SI430・カマド脇,カマド内	内外面ミガキ	褐灰	-	[11.5]	-	
712	252	227	土師器甕	SI430・No.1土器	内面ハケ 外面ケズリ	灰黄褐	-	[20.1]	9.1	底部木葉痕
713	253	227	土師器甕	SI430・埋土下部	外面ミガキ	明褐灰	-	[18.0]	8.8	
714	253	227	土師器甕	SI460・埋土、II Z2-3h検出面, II Z2-3h検出面、SI444・ カマド付近、SI445・埋土上層	内面ミガキ	にぶい橙	(19.8)	23.9	6.8	内面コゲ
715	253	227	土師器甕	SI709・P1埋土	外面ハケ	浅黄橙	-	[6.3]	(8.4)	
716	253	227	土師器壺	SI218・埋土上層	内面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	-	[8.6]	(7.8)	
717	253	227	土師器壺	SI202・最上層	内外面ミガキ	黒褐	-	[4.7]	(7.4)	
718	253	227	土師器壺	SI204・カマド右側・貼床	外面ミガキ	黒	-	[7.6]	6.0	底部回転糸切り
719	253	227	土師器壺	SI454・検出面〜10cm下 SI453・埋土	外面ミガキ	黒	-	[4.3]	(6.0)	
720	253	227	土師器壺	SI06・カマド一括 SI06・埋土上層 SI06・埋土、T7周辺・表採	外面ミガキ	にぶい黄橙	(14.0)	[19.6]	-	
721	253	227	土師器壺	SI242・埋土	内外面ミガキ	にぶい黄橙	(13.2)	[7.1]	-	
722	253	227	土師器壺	SI221・埋土上位, トレンチ・埋土上〜下層,埋土下層	外面ミガキ	黒褐	-	[10.5]	-	カキ目

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
723	253	227	土師器壺	SI201・No1周辺か、 No4, カマド右側・床面、 カマド煙道内	内外面ハケ	にぶい橙	-	[26.9]	-	
724	254	228	土師器壺	SI203・埋土No. 8, 埋土No. 11	外面ハケ・ミガキ	浅黄橙	(17.8)	[7.0]	-	
725	254	228	土師器壺	SI108・南西・埋土下層	内面ハケ 外面ヘラナデ	にぶい黄橙	-	[2.7]	7.0	
726	254	228	土師器壺	SI112・南半・埋土下層	内面ミガキ 外面ハケ	褐灰	(12.2)	[9.7]	-	
727	254	228	土師器壺	SI112・埋土上層 SI112・南東・埋土上層 SI113・1層	内外面ハケ	褐灰	(12.9)	18.4	9.0	
728	254	228	土師器壺	SI474・埋土		褐灰	(11.2)	11.5	(8.2)	内面コゲ
729	254	228	土師器壺	SI201・カマド煙道内・最上層	内外面ハケ	橙	(18.8)	[14.9]	-	
730	254	228	土師器壺	SI202・床+10cm~床, No. 1・埋土中位層	内外面ヘラナデ	橙	-	[31.3]	-	
731	255	228	土師器壺	SI205・埋土下層, No. 1, 埋土中位層, 埋土No. 9	外面ハケ・ミガキ	褐灰	-	[11.7]	9.0	
732	255	228	土師器壺	SI205・埋土中位層, 埋土No. 8	内外面ハケ 外面ミガキ	橙	-	[30.0]	(6.6)	
733	255	229	土師器壺	SI229・南東・埋土, 埋土下層	外面ミガキ	浅黄橙	(15.9)	25.3	(8.8)	
734	255	229	土師器壺	SI229・北東・埋土上層, 北西・埋土下層	外面ミガキ	橙	(18.4)	23.7	9.4	
735	255	229	土師器壺	SI206・A, No. 1, 確認面	内外面ハケ	橙	(20.4)	[27.3]	-	
736	256	229	土師器壺	SI233・南東・埋土下層	外面ハケ	褐灰	(14.8)	[9.2]	-	
737	256	229	土師器壺	SI236・埋土	外面ハケ	浅黄橙	-	[13.6]	-	
738	256	229	土師器壺	SI430・煙道 2	外面ケズリ	灰黄褐	(17.0)	[8.7]	-	
739	256	229	土師器壺	SI430・埋土ベルト, 煙道	内外面ハケ 外面ケズリ	灰白	(14.6)	[7.1]	-	
740	256	229	土師器壺	SI401・土坑・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(23.5)	[8.2]	-	
741	256	229	土師器壺	SI244・床直	内外面ハケ 外面ミガキ	浅黄橙	(16.0)	[24.0]	-	
742	256	229	土師器壺	SI439・埋土		褐灰	(9.2)	[8.8]	-	
743	256	229	土師器壺	SI442付近・埋土	外面ケズリ	にぶい黄褐	-	[7.2]	8.6	
744	256	230	土師器壺	SI507・北側・埋土, 西側(北西)集中部・埋土下層	内外面ハケ	浅黄橙	-	[25.0]	(9.6)	底部回転糸切り
745	257	230	土師器壺	SI454・埋土	内外面ハケ 外面ミガキ	にぶい黄橙	(17.6)	[27.5]	-	
746	257	230	土師器壺	SI701・ベルト・埋土最上層	外面ミガキ	にぶい黄橙	(15.0)	[16.9]	-	
747	257	230	土師器壺	SI465・埋土	外面ハケ	浅黄橙	-	[2.3]	(13.0)	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
748	257	230	土師器壺?	SI473・埋土	外面ハケ	褐灰	-	[5.7]	(11.4)	
749	257	230	土師器壺	SI709・東側・埋土最上層, 埋土,検出面 SI714・埋土,SK466・埋土	内外面ハケ	にぶい橙	(16.0)	[20.2]	-	
750	257	230	土師器壺	SI721・炉	内外面ハケ	灰白	(19.8)	[6.8]	-	
751	257	230	土師器壺	SI805・掘方	内外面ハケ	にぶい褐	(10.8)	[5.1]	-	
752	257	230	土師器壺	SI809・一括	外面ハケ	にぶい橙	(21.0)	[8.6]	-	
753	257	230	土師器双耳壺	SI458・埋土, SP4250・埋土	内外面ハケ	褐灰	(12.2)	17.1	7.0	双耳 (一方欠損) 壺 底部木葉痕
754	258	231	須恵器壺	SI12・煙道・埋土 SI12・煙道	回転ナデ 外面回転 ヘラケズリ	灰	-	[21.6]	-	頸部に紐巻き 痕跡か?
755	258	231	須恵器壺	SI11・セクションベルト南東 SI12,13・トレンチ SI13・1層	内外面カキ目 外面回転 ヘラケズリ	灰	-	[5.9]	(8.8)	カキ目
756	258	231	須恵器壺	SI201・セクションベルト・床直上	回転ナデ	灰	(10.8)	[4.4]	-	
757	258	231	須恵器壺	SI201・最上層		灰	-	[2.8]	(9.0)	大戸窯?
758	258	231	須恵器壺	SI202・床面	内外面ヘラナデ	灰白	-	[6.2]	9.3	県外の窯
759	258	231	須恵器壺	SI205・西・埋土		灰白	-	[2.6]	-	
760	258	231	須恵器壺	SI205	回転ナデ	褐灰	(11.6)	[4.5]	-	
761	258	231	須恵器壺	SI213 II Y4e・T6トレンチ・III層		灰	(12.0)	[4.9]	-	
762	258	231	須恵器壺	SI209・上位層,埋土下層	回転ナデ	灰	-	[5.95]	(8.6)	
763	258	231	須恵器壺	SI209・上位層	外面ケズリ	灰	-	[2.5]	(7.2)	
764	258	231	須恵器壺	SI213・埋土	回転ナデ	灰	(13.4)	[2.2]	-	
765	258	231	須恵器壺	SI215	回転ナデ	オリーブ灰	-	[5.2]	-	
766	258	231	須恵器壺	SI202・最上層,中位層,南壁埋土, SI204	内外回転ナデ 外面回転 ヘラケズリ	灰	-	[12.8]	(10.2)	瀬谷子窯?
767	258	231	須恵器壺	SI204・P1	回転ナデ	灰	-	[9.1]	-	
768	258	231	須恵器壺	SI206・Bベルト	タタキ	灰	-	[6.0]	(10.8)	
769	258	231	須恵器壺	SI202・No.3	内外面ヘラナデ	黄灰	-	[10.8]	-	大戸窯
770	258	231	須恵器壺	SI202・埋土中位層,最上層, 床面,No.2 SI207・床精査,他	回転ナデ	灰	-	10.2	[7.6]	底部回転系切り
771	258	231	須恵器壺	SI214・埋土下層	内面回転ナデ	にぶい褐	-	[3.2]	6.0	台に転用? 底部回転系切り
772	258	231	須恵器壺	SI218, SI214=SI238, SI242, SI223・ 埋土,南西埋土上層 II A10~III A1h~2j・検出面, I Y区・表土・検出面		灰白	6.2	15.0	(6.4)	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
773	259	231	須恵器壺	SI401・北側・埋土中位	外面回転 ヘラケズリ	灰	-	[4.6]	(10.5)	
774	259	231	須恵器壺	SI403		青灰	-	[5.2]	(10.4)	
775	259	231	須恵器壺	SI454・埋土 SI453・埋土	外面回転ナデ	暗青灰	(14.0)	[5.3]	-	
776	259	231	須恵器壺	SI445・床直	回転ナデ	灰白	-	[6.8]	-	県外の窯?
777	259	231	須恵器壺	SI470・埋土	外面回転ナデ	暗青灰	(12.0)	[5.5]	-	
778	259	231	須恵器壺	SI468・埋土	回転ナデ	青灰	(10.8)	[9.3]	-	
779	259	231	須恵器壺	SI481・埋土,埋土一括、 SI477・埋土 SI436・埋土、SI475・埋土	回転ナデ	灰	-	[8.9]	-	
780	259	231	須恵器壺	SI450・埋土	外面回転ナデ	青灰	-	[3.1]	(10.4)	
781	259	232	須恵器壺	SI454・埋土	外面回転ナデ	灰	(14.2)	[10.2]	-	
782	259	232	須恵器壺	SI714・埋土	回転ナデ	灰白	(11.7)	[3.2]	-	
783	259	232	須恵器壺	SI701・埋土最上層	外面回転 ヘラケズリ	暗青灰	-	[5.1]	(10.8)	
784	259	232	須恵器壺	SI743・埋土	内面ケズリ・ 回転ヘラケズリ	灰	-	[3.8]	(9.0)	
785	259	232	須恵器壺	SI202・最上面	内外面ヘラナデ	灰	(17.6)	[5.4]	-	
786	259	232	須恵器壺	SI234		灰白	(18.2)	[4.1]	-	
787	259	232	須恵器壺	SI403・北側	外面ケズリ	青灰	-	[3.1]	(11.2)	内面カキ目
788	259	232	須恵器壺	SI445・埋土上層	回転ナデ	褐灰	-	[4.1]	-	肩部に降灰
789	259	232	須恵器壺	SI11北西・覆土上 Gトレンチ、GトレHトレ間・ 包含層～遺構検出面	回転ナデ	灰	(24.1)	[6.8]	-	カキ目
790	259	232	須恵器壺	SI215・埋土上層	回転ナデ	褐灰	(22.2)	[4.9]	-	
791	259	232	須恵器壺	SI233・埋土下層 SD207・A区・埋土上層	回転ナデ	青灰	(23.0)	[2.6]	-	
792	259	232	須恵器壺	SI234・埋土 SI223・埋土上層 SI212の南側	回転ナデ 外面ケズリ	青灰	(14.6)	[12.3]	-	
793	259	232	須恵器壺?	SI502・コーナー・埋土、SI504・ 南側・埋土、西側エリア・検出面、 西壁穴付近	外面ケズリ	暗青灰	-	[5.8]	(14.3)	
794	260	232	須恵器壺	SI739・埋土,掘方埋土,SK02・埋土	回転ナデ	暗青灰	(15.6)	[8.5]	-	
795	260	232	須恵器壺	SI461・埋土	回転ナデ	灰	(16.3)	[4.8]	-	
796	260	232	須恵器壺	SI474・埋土	回転ナデ	灰	(14.0)	[7.7]	-	
797	260	232	須恵器壺	SI459・埋土	回転ナデ	青灰	-	(8.0)	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
798	260	232	須恵器甕	SI454・検出面～10cm下、埋土、南埋土、東側表土～検出面	外面ケズリ・タタキ	青灰	-	[32.5]	12.6	
799	260	232	須恵器壺?	SI701・ベルト	内面回転ナデ 外面ケズリ	青灰	-	[5.0]	(13.6)	
800	260	232	須恵器甕	SI746・埋土	内面回転ナデ	灰	(24.0)	[7.1]	-	
801	260	233	須恵器甕	SI436・カマド付近・埋土	タタキ	暗青灰	-	[5.7]	(14.8)	
802	260	233	須恵器甕	SK204・埋土 SI202・床+10cm～床	タタキ	暗褐灰	-	[4.7]	(12.8)	
803	260	233	須恵器甕	SI401・北西部		灰	-	[2.7]	(15.0)	
804	260	233	須恵器甕	SI708・貼床	回転ナデ	暗青灰	(21.8)	[4.9]	-	
805	261	233	須恵器壺	SI739・埋土、 SD402・上～中、 SI726-727付近	外面回転ナデ	にぶい橙	(12.4)	[7.0]	-	
806	261	233	須恵器平瓶	SI224, SI231・SD201, SD210・ⅢB	回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	灰白	-	-	-	湖西窯産
807	261	233	須恵器甕	SI213・埋土上～下層	回転ナデ	灰	-	[5.3]	-	
808	261	233	須恵器甕	SD207・C区・埋土上層 SI222・カマドそば・埋土上層	タタキ	褐灰	-	[19.6]	-	
809	261	233	須恵器甕	SI11・床+8cm、 SK50 (SI11南側)・V層中位、 南半東側・トレンチ	タタキ		(44.6)	[37.0]	-	
810	261	233	須恵器甕	SI445・床直	回転ナデ	灰	(31.3)	[7.5]	-	肩部に降灰
811	261	233	須恵器甕	SI458・埋土	外面回転ナデ・ ミガキ	青灰	(46.0)	[11.7]	-	波状文
812	261	234	須恵器甕	SI726・埋土	外面回転ナデ	暗青灰	(38.4)	[7.9]	-	
813	262	234	須恵器甕	SI201, SI206, SI202・最上層	内面回転ナデ	褐灰	-	[13.1]	-	カキ目
814	262	234	須恵器甕	SI403・埋土		青灰	-	[7.6]	-	波状文
815	262	234	須恵器甕	SI803・EWベルト・埋土最下部		暗青灰	-	[10.2]	-	波状文
816	262	234	須恵器甕	SI446・埋土		灰	-	[6.9]	-	波状文
817	262	234	須恵器甕	SI739・貼床、掘方埋土	内タタキ	暗青灰	-	[30.1]	-	
818	262	234	須恵器甕	SI454・検出面～10cm下	タタキ	暗青灰	-	[12.0]	-	
819	262	234	須恵器甕	SI401・床直 検出面、東検出面	タタキ	灰	-	[22.0]	-	
820	263	234	土師器坏	SK225・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	(13.9)	5.4	6.0	墨書、 放射状ミガキ 底部回転糸切り
821	263	234	土師器坏	SK408・埋土 SK409・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.4)	5.3	5.5	底部回転糸切り
822	263	234	土師器坏	SK218	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(14.0)	[4.9]	(6.6)	底部回転糸切り

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
823	263	234	土師器坏	SK428・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(13.2)	3.8	(5.6)	底部回転糸切り
824	263	234	土師器坏	SK429・埋土	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[1.3]	-	底部回転糸切り
825	263	234	土師器坏	SK509・埋土上～下位	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.1]	5.2	
826	263	234	須恵器坏	SK432・埋土		青灰	-	[1.2]	(6.4)	底部回転糸切り
827	263	234	土師器高坏	SK212・埋土最下層	内面ミガキ 外面ケズリ	橙	-	[5.7]	-	
828	263	235	土師器坏	SK233・埋土	外面ケズリ	浅黄橙	(10.8)	[5.3]	(6.0)	
829	263	235	土師器坏	SX201・周辺検出面、Ⅲ B 2i～6j、 Ⅱ C 2a～6a、SK233・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[2.3]	6.2	
830	263	235	土師器鉢	SK802・東半・埋土Ⅰ層	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[2.2]	(5.2)	内面炭素消失 底部回転糸切り
831	263	235	土師器鉢	SK17・埋土・埋土一括出土 ・西側・検出面包含層?	内面ヘラナデ 外面ミガキ	にぶい黄橙	20.2	[21.6]	-	
832	263	235	土師器鉢	SK234	内外面ハケ	褐灰	(16.0)	[7.4]	-	
833	263	235	土師器鉢	SK466・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(12.6)	[6.4]	-	
834	263	235	土師器鉢	SK202～211・検出面	外面ハケ	にぶい橙	-	[10.4]	8.4	底部木葉痕
835	263	235	須恵器甕	SK457・埋土最上層 中央・検出面、S1704の北側検出、 Ⅱ A 6a～7b・検出面	内外面ハケ	灰白	-	[11.9]	8.5	底部木葉痕
836	263	235	土師器甕	SK702・埋土	内面ハケ 外面ケズリ	灰白	-	[12.3]	(8.4)	底部木葉痕
837	263	235	土師器甕	SK509・埋土上～下位	外面ハケ	にぶい褐	-	[3.3]	(8.6)	
838	263	235	土師器甕	SK710・埋土	内外面ハケ	灰白	-	(6.7)	(10.0)	
839	263	235	土師器甕	SK710・埋土	外面ハケ	褐灰	-	[2.7]	(4.4)	底部木葉痕
840	264	235	土師器甕	SK233・埋土		灰白	(12.6)	[4.7]	-	
841	264	235	土師器甕	SK512	内外面ハケ	黒褐	(12.0)	[15.8]	-	
842	264	235	土師器甕	SK418・埋土上位	内面ハケ	褐灰	-	[6.2]	7.9	
843	264	235	土師器甕	SK452・埋土	回転ナデ	褐灰	(8.4)	[7.7]	-	
844	264	235	土師器甕	SK509・埋土上～下位 Ⅲ B・検出面、西壁穴付近	内外面ハケ	褐灰	(21.4)	29.5	(11.5)	
845	264	236	須恵器甕	SK207		灰	-	[7.0]	-	波状文
846	264	236	須恵器壺	SK234・埋土上面	回転ナデ タタキ	灰白	-	[9.2]	-	大戸窯
847	264	236	須恵器壺	SK465・埋土一括	回転ナデ	灰	(10.4)	[4.0]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
848	264	236	須恵器壺	SK709・埋土		灰	-	[8.2]	-	
849	264	236	須恵器壺	SK457・埋土最上層	回転ナデ	青灰	-	[8.7]	-	
850	264	236	須恵器壺	SK234		灰	(16.2)	[2.6]	-	
851	264	236	土師器甕	SK42・埋土上層 SP174・検出面	内面ハケ 外面ヘラナデ	にぶい黄橙	(18.0)	[14.2]	-	
852	264	236	土師器甕	SK702・埋土	外面ケズリ	褐灰	-	[10.3]	(9.7)	
853	264	236	土師器甕	SK418・埋土上位	内外面ミガキ	にぶい黄橙	(19.4)	[4.0]	-	
854	264	236	須恵器壺	SP? (SK509)	外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	灰	-	[21.7]	8.6	
855	265	236	土師器坏	SD301・I Y区・埋土	内面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	(10.2)	[2.1]	(7.7)	
856	265	236	土師器	SD402・D区・埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(13.6)	[4.8]	(5.0)	底部木葉痕
857	265	236	土師器坏	SD207・C区・埋土上層	内面ミガキ 外面回転ナデ	浅黄橙	(14.6)	6.0	(6.4)	底部木葉痕
858	265	236	土師器坏	SD207・B区・埋土中位	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい黄橙	-	[1.7]	(6.2)	底部木葉痕
859	265	236	土師器坏	SD402・D区西・土橋貼付土畦内		にぶい黄橙	-	[1.8]	(6.0)	底部木葉痕
860	265	236	須恵器坏	SD402・D区・埋土上層	回転ナデ	浅黄橙	-	[2.1]	(5.6)	還元不足の 須恵器 底部木葉痕
861	265	236	須恵器坏	SD402・D北・埋土上層		にぶい橙	-	[1.8]	[5.8]	還元不足の 須恵器 底部木葉痕
862	265	236	須恵器坏	SD402・D区・埋土上層		にぶい橙	-	[1.3]	(6.4)	還元不足の 須恵器 底部回転ヘラ
863	265	236	土師器坏	SD207・C区・埋土上層	内面ミガキ 外面回転 ヘラケズリ	にぶい黄橙	-	[1.9]	(8.0)	底部ヘラケズリ
864	265	236	土師器鉢	SD402・E区南半・埋土上中部	内面ミガキ	灰黄褐	-	[2.3]	(7.4)	底部ヘラケズリ
865	265	236	土師器鉢	SD402・D区・埋土上層	内面ミガキ	浅黄橙	-	[1.7]	(7.2)	底部ヘラケズリ
866	265	236	土師器甕	SD207・堀・埋土上層	外面ミガキ	にぶい褐	-	[3.2]	(7.3)	底部木葉痕
867	265	236	土師器甕	SD207・埋土中～下層	外面ハケ	にぶい褐	-	[4.2]	(8.8)	底部木葉痕
868	265	236	土師器甕	SD207・埋土上面層、B区・上層	外面ハケ・ミガキ	にぶい黄橙	(16.8)	[9.7]	-	
869	265	236	土師器壺	SD402・D区・埋土上層	内外面ハケ	褐灰	(14.8)	[6.3]	-	
870	265	236	須恵器壺	SD207・損壊部・埋土上層 SD206・埋土	回転ナデ	灰	(13.6)	[6.0]	-	
871	265	236	須恵器壺	SD402・C区・埋土下層	回転ナデ	暗青灰	(12.0)	[6.5]	-	
872	265	237	須恵器壺	SD402・中～上部	内面回転ナデ 外面回転 ヘラケズリ	暗青灰	-	[4.0]	(10.4)	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
873	265	237	須恵器壺	SD402・埋土上層	回転ナデ	灰	(9.8)	[5.7]	-	
874	265	237	須恵器壺	SD207・埋土下層	外面タタキ・ケズリ	灰	-	(4.9)	(12.6)	
875	265	237	須恵器甕	SD402・埋土上層		灰	-	[6.4]	-	波状文
876	265	237	須恵器甕	SD402・埋土上層		灰	-	[11.2]	-	圏線・波状文
877	266	237	土師器杯	SX201・下層		にぶい黄橙	-	[1.3]	5.5	底部木葉痕
878	266	237	土師器甕	SX201・埋土上～中層	外面ケズリ	褐灰	-	[4.5]	10.6	底部に台跡、 底部木葉痕
879	266	237	須恵器壺	SX201・最下層		灰	-	[3.9]	(10.5)	
880	266	237	須恵器壺	SD201・埋土下層		暗青灰	(13.0)	[3.4]	-	
881	266	237	土師器壺	SD201・A区・埋土上層 II B 7g～9i	内外面ミガキ	黒	(6.0)	[4.5]	-	
882	266	237	土師器甕	SD201・埋土 III B 1d・埋土		浅黄橙	-	[2.2]	(8.2)	底部木葉痕
883	266	237	土師器甕	SD201・III B 1d・埋土 SD210・埋土	内外面ハケ	にぶい黄橙	-	[19.6]	(8.0)	
884	266	237	土師器杯	SD215・埋土上層	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.35]	(6.0)	底部回転糸切り
885	266	237	土師器壺	SD01・ベルト東側・埋土中位、 ベルト西側 (ベルト脇)・包含層	内外面ヘラナデ	灰白	[12.5]	[4.2]	-	
886	266	237	土師器甕	SD206・埋土		にぶい黄橙	(16.8)	[3.3]	-	
887	266	237	土師器杯	SF01・前庭部	内面ミガキ 外面回転ナデ	橙	(13.0)	[4.4]	-	
888	266	237	土師器杯	SD208・埋土上層	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[1.75]	(6.2)	底部回転糸切り
889	266	237	土師器甕	SD01・掘り下げ・中上面～包含層、 道路北T14～18の間、北・第2面	内外面ヘラナデ	灰白	-	[3.7]	[8.0]	底部木葉痕
890	266	237	土師器杯	SD215・北部・埋土		褐灰	(12.2)	[4.95]	(5.2)	内面コゲ
891	266	237	土師器甕	SD210・埋土		にぶい黄橙	-	[1.8]	(9.0)	底部木葉痕
892	266	237	土師器甕	SD215・北部・埋土	外面ハケ	にぶい褐	(21.2)	[7.1]	-	
893	266	237	土師器壺	SP475 II B区・攪乱	内外面ミガキ 外面ハケ	橙	(18.8)	[6.2]	-	ボツ
894	266	237	土師器甕	SF01 (SI14内)	内面ミガキ 外面ヘラナデ	褐灰	(18.0)	[7.7]	-	
895	266	237	土師器甕	SP196・検出面	内外面ヘラナデ	にぶい黄橙	(13.7)	[6.75]	-	
896	266	237	土師器甕	SP628・埋土	内外面ハケ 外面ミガキ	にぶい褐	-	[10.3]	9.6	底部木葉痕
897	267	237	土師器杯	Jトレット14間・包含層～遺構検出面、 調査区北側・中央付近・表土～検出面、 II C 9a・トレンチ	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい褐	(14.8)	3.6	-	底部ヘラケズリ

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
898	267	237	土師器坏	表採		にぶい黄橙	(18.0)	[3.8]	-	海绵状 骨針含む。
899	267	238	土師器坏	南東側堀より7m南SI?	内面ミガキ 外面ミガキ・ ケズリ	にぶい黄橙	(18.4)	[4.8]	-	
900	267	238	土師器坏	道路北・表土		褐灰	(8.0)	1.6	-	
901	267	238	土師器坏	II B6d・攪乱	内外面ミガキ	黒	(9.8)	[3.7]	-	底部ヘラケズリ
902	267	238	土師器高坏	II B・検出面	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	(16.0)	[6.1]	-	
903	267	238	土師器高坏	II C9a・トレンチ・遺構確認面 II C9a・V層中位	内外面ミガキ	橙	(10.0)	[7.4]	(7.0)	
904	267	238	土師器高台坏	II A6a～7b・検出面	内面ミガキ	浅黄橙	-	[2.5]	-	
905	267	238	土師器坏	東検出	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(15.4)	[4.5]	(8.2)	
906	267	238	土師器坏	メインベルト南東・検出面	内面ミガキ	浅黄橙	(16.0)	[4.6]	(6.8)	
907	267	238	土師器坏	II C10g・検出面	内面ミガキ 外面ケズリ・ 回転ヘラケズリ	にぶい橙	(14.2)	5.5	(6.8)	底部ヘラケズリ
908	267	238	土師器坏	II Z検出面	内面ミガキ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[4.7]	(5.8)	底部ヘラケズリ
909	267	238	土師器坏	II B・検出面	内面ミガキ 外面回転ナデ・ 回転ヘラケズリ	浅黄橙	-	[3.9]	(6.4)	底部回転糸切り
910	267	238	土師器坏	SI214と215の間のトレンチ・ 埋土	内面ミガキ	にぶい橙	(13.3)	5.4	5.6	底部回転糸切り
911	267	238	土師器坏	III A2g～3h(SI233周辺)・ 検出面	内面ミガキ	にぶい橙	(13.7)	4.9	6.6	底部回転糸切り
912	267	238	土師器坏	II Z4j・検出面	内面ミガキ	浅黄橙	(14.4)	5.2	5.6	底部回転糸切り
913	267	238	土師器坏	ベルト西側 (ベルトーテント中間) ・包含層	内面ミガキ 外面回転 ヘラケズリ	にぶい橙	-	[1.9]	(5.8)	底部ヘラケズリ
914	267	238	土師器坏	II Z10d～10e・表土70cm	内面ミガキ 外面ケズリ	浅黄橙	-	[2.0]	(6.0)	底部回転糸切り
915	267	238	土師器坏	II A6a・検出面	内面ミガキ	褐灰	-	[1.6]	(6.8)	底部ヘラケズリ
916	267	238	土師器坏	道路北T14～18の間北・第2面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.6]	(6.8)	底部回転糸切り
917	267	238	土師器坏	道路下T11脇・第2面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.7]	5.4	底部回転糸切り
918	267	238	土師器坏	メインベルト南側・検出面	内面ミガキ	灰褐	-	[3.2]	(6.4)	底部回転糸切り
919	268	238	土師器坏	道路北・表土	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.3]	6.4	底部回転糸切り
920	268	238	土師器坏	SI470付近	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[2.5]	(6.2)	底部回転糸切り
921	268	238	土師器坏	北東隅・検出面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[2.0]	(6.6)	底部回転糸切り
922	268	238	土師器坏	道路下T11脇・第2面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.7]	(6.8)	底部回転糸切り

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
923	268	238	土師器坏	II A4a~5a・検出面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.8]	5.6	雲母多量 底部回転糸切り
924	268	238	土師器坏	道路北・表土	内面ミガキ	灰黄褐	-	[1.3]	5.4	底部回転糸切り
925	268	238	土師器坏	道路北T14~18の間北・第2面	内面ミガキ 外面回転ナデ	にぶい橙	-	[2.7]	6.8	きれいな 多角形ミガキ 底部回転糸切り
926	268	238	土師器坏	中央東寄・攪乱	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[4.4]	(8.4)	
927	268	238	土師器坏	調査区南隅・検出面	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.2]	(6.0)	底部回転糸切り
928	268	238	土師器坏	II Z・検出面	内面ミガキ	灰褐	-	[1.6]	(6.4)	底部回転糸切り
929	268	238	土師器坏	III D7c周辺・包含層	内面ミガキ 外面回転 ヘラケズリ	にぶい黄橙	-	[1.4]	(5.0)	底部ヘラケズリ
930	268	238	土師器坏	東半分(東端)・II~III層		にぶい橙	-	[2.9]	-	墨書「西・ 西・酒？」
931	268	238	土師器坏	SI715西・攪乱層	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[2.6]	-	刻線あり。
932	268	238	土師器坏	道路北T14~18の間北・第2面	内外面ミガキ	褐灰	(15.0)	6.1	-	
933	268	238	土師器坏	II Z8a付近		黒	-	[3.4]	6.0	底面刻書「#」
934	268	238	土師器坏	道路北・表土	内外面回転ナデ	褐灰	(15.0)	[5.1]	-	焼け歪み
935	268	238	土師器鉢?	西堀検出エリア攪乱	回転ナデ	浅黄橙	(11.6)	[5.0]	(5.4)	底部回転糸切り
936	268	239	土師器坏	II Z検出面	回転ナデ	浅黄橙	(12.6)	5.1	6.4	底部回転糸切り
937	268	239	土師器坏	道路北・表土		灰褐	-	[1.2]	(5.8)	底部回転糸切り
938	268	239	須恵器坏	西側エリア・検出面, III B・検出面	回転ナデ	灰	(15.5)	5.6	6.0	底部回転糸切り
939	268	239	須恵器坏	GトレHトレ間・ 包含層~遺構検出面	内外面回転ナデ	灰	-	[2.45]	(5.4)	底部回転糸切り
940	268	239	須恵器坏	北中央・検出面	回転ナデ	青灰	-	[4.3]	(5.8)	底部回転糸切り
941	268	239	須恵器坏	中央表土~検出面	回転ナデ	にぶい黄橙	-	[4.1]	(7.0)	底部回転糸切り
942	268	239	須恵器坏	西攪乱	回転ナデ	灰白	-	[3.6]	(6.2)	底部回転糸切り
943	268	239	須恵器坏	検出面	回転ナデ	青灰	14.4	4.7	5.5	底部回転糸切り
944	269	239	土師器坏	通路先端焼土付近・表土~検出面	外面ケズリ	にぶい橙	11.4	5.1	6.7	底部ヘラケズリ
945	269	239	土師器坏	道路北T14~18の間北・第2面	外面ケズリ	にぶい黄橙	(11.6)	[6.3]	-	
946	269	239	土師器坏	SI301	回転ナデ	褐灰	-	[3.5]	(6.0)	
947	269	239	土師器高台坏	北東隅検出, 北西隅検出面	内面ミガキ	浅黄橙	(13.6)	[4.5]	(8.2)	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
948	269	239	土師器高台杯	北側	内面ミガキ	にぶい橙	-	[1.6]	-	
949	269	239	土師器高台杯	III Y4-6 (SP401付近)・表土～検出面	内面ミガキ	浅黄橙	-	[3.0]	-	
950	269	239	土師器高台杯	北側	内面ミガキ	橙	-	[2.3]	-	
951	269	239	土師器高台杯	道路北・表土		にぶい黄橙	-	[2.4]	-	
952	269	239	土師器高台杯	南半東側・トレンチG	内面ミガキ	にぶい黄橙	-	[2.3]	(5.8)	
953	269	239	土師器高台杯	不明	内面ミガキ	灰褐	-	[2.3]	(7.8)	
954	269	239	土師器耳皿	西半分、1号住(仮)・埋土		橙	-	[1.9]	-	
955	269	239	土師器杯	II Z 検出攪乱	内面ミガキ 外面ケズリ	灰白	-	[5.7]	[7.6]	底部ヘラケズリ
956	269	239	土師器甕	SI468付近	内面ハケ 外面ハケ・ケズリ	褐灰	(16.6)	[7.3]	-	
957	269	239	土師器甕	SI468付近	内面ハケ 外面ハケ・ケズリ	褐灰	-	[6.4]	(9.0)	
958	269	239	土師器甕	表採	内外面ハケ	にぶい黄橙	-	[7.9]	(9.4)	
959	269	239	土師器甕	ベルト西側 (テント側)・包含層	内外面ハケ	にぶい橙	-	[4.6]	(8.4)	
960	269	239	土師器甕	不明	外面ハケ	にぶい黄橙	-	[2.8]	(8.8)	底部木葉痕
961	269	239	土師器甕	西半分・表土～検出面	外面ハケ	褐灰	-	[15.2]	7.0	
962	269	239	土師器甕	ベルト西側 (中間)・包含層	外面ミガキ	にぶい橙	-	[5.2]	9.4	ドベ 底部木葉痕
963	269	240	土師器甕	II A区・表土～検出面	外面ハケ	にぶい黄橙	(20.8)	[29.5]	-	
964	270	240	土師器甕	表採	内外面ハケ	にぶい黄橙	(16.0)	[8.8]	-	
965	270	240	土師器甕	南東側堀より南SI?	内外面ハケ	褐灰	(19.4)	20.0	6.4	内面コゲ, 外面スス 底部木葉痕
966	270	240	土師器甕	西の北(根本調査範囲)・検出面	外面ハケ	褐灰	-	[11.3]	6.0	
967	270	240	土師器甕	III B両側	内外面ミガキ	にぶい黄橙	-	[3.8]	(6.8)	
968	270	240	土師器甕	Eランプ付近・表土検出面		浅黄橙	-	[5.3]	8.0	底部木葉痕
969	270	240	土師器甕	表採	内面ハケ 外面ハケ・ミガキ	浅黄橙	(19.4)	[17.3]	-	
970	270	240	土師器甕	遺物Y・確認面	内外面ミガキ	にぶい黄橙	(19.3)	[28.0]	-	
971	270	240	土師器甕	遺物X・確認面	内外面ミガキ	にぶい黄橙	(18.4)	33.4	8.4	
972	271	241	土師器壺	ベルト西側 (テント側)・包含層		灰白	-	[4.0]	(15.1)	

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
973	271	241	土師器壺	道路の北北端・包含層	内面ハケ 外面ヘラナデ	にぶい橙	-	[4.1]	(12.2)	底部ヘラケズリ
974	271	241	土師器壺	II B2c周辺・KS包含層 (溝含土)	外面ハケ	にぶい黄橙	-	[7.4]	7.0	底部木葉痕
975	271	241	土師器壺	道路北・表土 道路北T14~18の間北・第2面	内外面ハケ	にぶい黄橙	(18.8)	[8.4]	-	
976	271	241	土師器壺	仮設道路北側中央・第1面 (表土)、 道路北・表土	外面ミガキ	にぶい赤褐	(15.0)	[12.5]	-	
977	271	241	土師器甕	II Z4c・VII層	内面ハケ 外面ケズリ	褐灰	(19.0)	[13.8]	-	
978a	271	241	土師器壺	II A区(SI?)・表土~検出面	内面ハケ 外面ミガキ・ハケ	橙	(19.4)	[13.9]	-	
978b	271	241	土師器壺	II A区(SI?)・表土~検出面	内面ハケ 外面ミガキ・ハケ	橙	-	[13.1]	(4.0)	
979	271	241	土師器壺	Eランプ付近・表土検出面	外面ハケ	にぶい黄橙	-	[3.0]	8.4	底部木葉痕
980	271	241	土師器壺	SI715・西攪乱層	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい橙	-	[5.6]	(6.4)	
981	271	241	土師器壺	II A2~3d・検出面	内面ハケ 外面ミガキ	にぶい橙	-	[10.2]	-	
982	271	241	土師器壺	II A5~6j・包含層		褐灰	-	[2.7]	(4.2)	
983	272	241	土師器甕	II Z1d~1e・検出面		にぶい橙	(20.0)	[4.9]	-	
984	272	241	土師器甕	II Z7h・検出面		にぶい橙	(18.8)	[8.3]	-	
985	272	241	土師器壺	II Z1g・VI層相当	内外面ハケ	にぶい橙	(17.8)	[8.2]	-	
986	272	241	土師器壺	SI470付近	内外面ハケ	褐灰	-	[21.7]	-	
987	272	242	土師器甕	II Z6f・V~VII層		にぶい黄橙	(24.2)	[10.7]	-	
988	272	242	土師器甕	道路北側・表土~検出面		にぶい黄橙	-	[2.5]	8.6	底部木葉痕
989	272	242	土師器甕	表採	内外面ハケ	にぶい橙	-	[3.1]	(7.4)	底部木葉痕
990	272	242	土師器甕	ベルト西側 (テント側)・包含層		にぶい橙	-	[1.7]	(9.4)	
991	272	242	土師器甕	Eランプ付近・表土検出面	ヘラナデ	浅黄橙	-	[3.1]	8.6	底部木葉痕
992	272	242	土師器甕	表土	内外面ハケ	にぶい黄橙	(14.0)	[10.7]	-	
993	272	242	土師器甕	検出面	内外面ハケ	にぶい黄橙	(17.8)	[16.3]	-	
994	272	242	土師器甕	調査区北側中央付近・表土~検出面		褐灰	-	[2.0]	8.8	底部木葉痕
995	272	242	土師器甕	道路北・表土		褐灰	-	[2.3]	(11.0)	
996	272	242	土師器甕	表採	内外面ハケ	にぶい黄橙	-	[7.5]	(10.4)	底部木葉痕

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
997	273	242	土師器甕	S111・北西区・床直、カマド袖、カマド内・2層, 3層	内外面ヘラナデ・ハケ	にぶい黄橙	(19.0)	[17.4]	-	
998	273	242	土師器甕	III C 2b・第2面 SD46脇・遺物ポイント・土器1	外面ハケ・ケズリ	明褐灰	-	25.5	(10.0)	
999	273	242	土師器甕	II Z 1c・検出面	内外面ハケ	にぶい橙	(23.0)	[8.3]	-	
1000	273	242	土師器甕	II Z 6f・V層, V~VII層 II Z 7f・V~VII層	内面ハケ 外面ケズリ	にぶい黄橙	(21.1)	22.5	(8.0)	
1001	273	243	土師器甕	II Z 7a~9b機械後のトレンチ掘下げ	内外面ハケ	浅黄橙	(19.2)	[23.4]	-	
1002a	273	243	土師器甕	III C 1a・SP132南・検出面、 南半・東側・トレンチG、 GトレHトレ間・包含層、遺構検出面	内面ヘラナデ 外面ヘラナデ・ケズリ	明黄褐	(19.6)	[10.2]	-	スス
1002b	273	243	土師器甕	III C 1a・SP132南・検出面、 南半・東側・トレンチG、 GトレHトレ間・包含層、遺構検出面	内面ヘラナデ 外面ヘラナデ・ケズリ	明黄褐	-	[20.2]	(9.6)	スス
1003	274	243	土師器甕	ベルト西側・包含層	ヘラナデ	にぶい橙	(22.8)	[5.6]	-	
1004	274	243	土師器甕	中央北寄	内外面ハケ	浅黄橙	(18.4)	[6.0]	-	
1005	274	243	土師器甕	北側	内外面ハケ	にぶい橙	(17.0)	[3.1]	-	
1006	274	243	土師器甕	III C 4 c・IV層 メインベルトC・III~IV層	外面ケズリ	褐灰	(16.2)	[12.0]	-	
1007	274	243	土師器甕	ベルト西側 (ベルトーテント中間) ・包含層	内面ヘラナデ 外面ヘラナデ・ケズリ	浅黄橙	(22.0)	[20.2]	-	
1008	274	243	土師器甕	仮設道路北側・表土~第1面	外面ケズリ	灰白	-	[1.9]	(8.2)	底部木葉痕
1009	274	243	土師器甕	南西区・トレンチ・1面		褐灰	-	[6.0]	9.6	底部木葉痕
1010	274	243	土師器甕	トレンチNo.1・堅穴状遺構・検出表土及び埋土	外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[8.6]	(9.0)	
1011	274	243	土師器甕	JトレT14間 JトレKトレ間・包含層、 遺構検出面		灰黄橙	-	[7.4]	(11.0)	底部木葉痕
1012	274	243	土師器甕	北側	内外面ハケ	にぶい橙	-	[10.3]	(8.8)	
1013	274	243	土師器甕	GトレHトレ間・包含層~遺構検出面	内外面ハケ	にぶい黄橙	-	[6.1]	(9.8)	底部木葉痕
1014	274	243	土師器甕	SI721の東・攪乱層	外面ケズリ	にぶい黄橙	-	[5.0]	7.4	
1015	274	243	土師器甕	中央表土・検出面	外面ハケ	褐灰	-	[7.8]	7.8	
1016	274	243	土師器甕	II Z 7aトレンチ・ 中世~古代包含層	回転ナデ	にぶい橙	(14.8)	13.4	7.1	雲母少量 底部回転系切り
1017	275	244	須恵器壺	中央北寄・表土~検出面	回転ナデ	暗青灰	(12.0)	[8.8]	-	
1018	275	244	須恵器壺	東側・表土~検出面	回転ナデ	灰	(12.4)	[4.6]	-	
1019	275	244	須恵器壺	SI715東		青灰	(12.0)	[2.9]	-	
1020	275	244	須恵器壺	地点不明		にぶい黄橙	-	[3.5]	-	圏線・カキ目

田鎖車堂前遺跡掲載土師器・須恵器（B）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.B	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	おもな器面調整	色調	寸法 (cm)			その他
							口径	器高	底径	
1021	275	244	須恵器甕	I Z10h・VI層	回転ナデ	灰	(20.0)	[4.1]	-	波状文
1022	275	244	須恵器甕	III B2i~6j, II C2-6a・検出面 II Y2d・III層 (WT6トレンチ)		暗青灰	(24.0)	[6.0]	-	
1023	275	244	須恵器甕	北東隅・検出面	回転ナデ・タタキ	灰	(15.4)	[8.7]	-	
1024	275	244	須恵器甕	I Z9h・VII層検出	回転ナデ・タタキ	青灰	(20.6)	[7.7]	-	
1025	275	244	須恵器壺	中央・表土~検出面, II Z・検出面	回転ナデ・タタキ	灰	(17.0)	[11.8]	-	
1026	275	244	須恵器壺	道路の北・第2面		灰白	-	[3.6]	(9.0)	大戸窯
1027	275	244	須恵器壺	JトレーT14間 JトレKトレ間・包含層~ 遺構検出面	回転ヘラケズリ	灰白	-	[4.5]	(8.8)	界外の窯
1028	275	244	須恵器壺	道路北・表土	回転ヘラケズリ	灰	-	[5.2]	(10.4)	大戸窯?
1029	275	244	須恵器壺	SI241付近・確認面	回転ケズリ	灰	-	[4.5]	(11.2)	
1030	275	244	須恵器壺	SI459の南東・検出面		青灰	-	[6.0]	(10.4)	
1031	275	244	須恵器壺	表採	外面ケズリ	明褐灰	-	[7.8]	(10.0)	
1032	275	244	須恵器壺	北側 仮設道路北側中央・第1面 (表土)	外面ケズリ	灰	-	[7.9]	(9.6)	
1033	276	244	須恵器壺	外・北東隅・検出面		明褐灰	-	[4.4]	(10.0)	
1034	276	244	須恵器甕	北側 不明・第1面	外面ケズリ	灰	-	[6.1]	(10.8)	底部ヘラケズリ
1035	276	244	須恵器壺	I Z9f~10g・検出面、 SI404の北側	外面ケズリ	灰	-	[3.3]	(14.0)	
1036	276	244	須恵器壺	検出面	外面ケズリ	灰	-	[6.0]	(13.4)	
1037	276	244	須恵器甕	西側エリア・検出面	外面ケズリ	灰白	-	[4.7]	(9.4)	
1038	276	244	須恵器甕	II B9b~9e・表土検出面		暗青灰	-	[3.4]	-	波状文
1039	276	244	須恵器甕	II Z7f・V~VII層		青灰	-	[4.9]	-	圏線・波状文
1040	276	244	須恵器甕	I Z9h~10h・VI層		暗青灰	-	[6.0]	-	圏線・波状文
1041	276	244	土師器坏	III A4h~6j	内面ミガキ 外面ケズリ	橙	-	[3.4]	-	
1042	276	244	須恵器坏蓋	SD210・埋土	内面回転ナデ・ 外面回転 ヘラケズリ	青灰	-	[3.1]	-	TK217 (飛鳥II) 併行

第2表 田鎖車堂前遺跡掲載弥生土器（C）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.C	図版	写真図版	器種	出土遺構位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
1a	290	260	甕	SIY1・土器一括	沈線・磨消 (LR)	にぶい黄橙	-	[8.7]	-	
1b	290	260	甕	SIY1・埋土, 土器一括	沈線・磨消 (LR)	にぶい黄橙	-	[20.3]	7.6	
2	290	260	甕	SI209・上位層	沈線・横位刺突	黒褐	(10.0)	[5.7]	-	
3	290	260	壺	SI403・貼床(西半)	沈線・刻み	灰黄褐	(13.8)	[5.5]	-	
4	290	260	壺	SI403・北側・床直	沈線・磨消 (LR)	浅黄橙	-	[3.1]	-	
5	290	260	壺	SI411・カマド・床直	沈線・地文 (RL)	にぶい黄橙	-	[3.2]	-	スス付着
6	290	260	壺	SI430・ベルト・埋土	刻み付隆線・沈線	灰黄褐	(5.6)	[3.6]	-	
7	290	260	壺	SI444・埋土上位	沈線・磨消 (LR)	にぶい黄褐	(13.9)	[4.3]	-	
8	290	260	壺	SI444・埋土上位	沈線・刺突・磨消	にぶい橙	-	[3.9]	-	
9	290	260	壺	SI444・埋土	地文のみ (LR)	橙	-	[3.2]	-	海綿状骨針 南御山2式
10	290	260	壺	SI444・埋土	沈線 (2本描)	灰黄褐	-	[5.5]	-	海綿状骨針 川原町口式
11	290	260	壺	SI444・埋土	沈線	にぶい黄褐	-	[2.2]	(4.3×3.9)	底部：方形？
12	290	260	壺	SI444・埋土上位	沈線・刺突列	灰黄褐	-	[2.9]	-	
13	290	260	壺	SI453, 454・埋土	地文のみ (RL)	褐灰	-	[12.6]	(8.4)	
14	290	260	壺	SI454・北東・埋土	沈線	灰白	(10.6)	[3.4]	-	
15	290	260	壺	SI454・北	沈線・地文 (RL)	褐	(28.4)	[7.9]	-	
16	291	260	壺	SI445・埋土下層	沈線・磨消 (LR)	暗褐	-	[3.5]	-	
17	291	260	壺	SI452・埋土	交互刺突列・ 地文 (RL)	にぶい黄橙	-	[2.7]	-	天王山式
18	291	260	壺	SI461・埋土	沈線	にぶい黄褐	-	[5.8]	-	十三塚式
19	291	260	壺	SI465・埋土下位	沈線 (2本描)	にぶい黄橙	-	[5.1]	-	
20	291	261	壺	SI476・埋土	沈線・刺突	灰黄褐	-	[5.0]	-	
21	291	261	壺	SI466・埋土	沈線	赤褐	-	[6.3]	-	海綿状骨針少量 十三塚式
22	291	261	壺	SI466・埋土	沈線・充填 (LR)	黒褐	(14.0)	[9.0]	-	天王山直前
23	291	261	壺	SI476・埋土	沈線・地文 (LR)	暗褐	-	[4.0]	-	内面コゲ, 外面スス
24	291	261	壺	SI709・埋土	沈線・磨消 (RL)	褐灰	-	[3.8]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載弥生土器 (C) 一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.C	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
25	291	261	甕	SI709・トレンチ	沈線・磨消 (LR)	黒褐	-	[4.9]	-	
26	291	261	壺	SI468・埋土	沈線・刺突列	にぶい赤褐	-	[5.1]	-	赤彩
27	291	261	甕	SI471・埋土	交互刺突列	浅黄橙	-	[3.9]	-	天王山式
28	291	261	甕	SI471・埋土	交互刺突列・地文	にぶい黄橙	-	[3.4]	-	天王山式
29	291	261	壺	SI709・トレンチ	沈線・磨消 (LR)	にぶい黄褐	-	[5.9]	-	内面ハケ?
30	291	261	壺	SI715・埋土	沈線・充填 (LR)	にぶい黄橙	-	[4.2]	-	
31	291	261	甕	SI476・埋土	沈線・地文 (RL)	灰黄褐	-	[5.0]	-	雲母目立つ
32	291	261	壺	SI477・埋土下層	沈線・磨消 (LR)	明黄褐	(16.0)	[6.9]	-	
33	291	261	甕	SI718・埋土	沈線・地文 (RL)	浅黄橙	-	[3.8]	-	
34	291	261	甕	SI716・埋土	沈線・充填 (LR)	にぶい黄橙	-	[6.8]	-	
35	291	261	甕	SI709・検出面、SI712・カマドトレンチ	沈線・地文 (LR)	にぶい黄褐	-	[6.6]	-	C85と同一個体
36	291	261	壺	SI718・埋土最上層	沈線	灰黄褐	-	[2.7]	-	C37と同一個体
37	291	261	壺	SI721・炉	沈線	灰黄褐	-	[4.3]	-	C36と同一個体
38	291	261	壺	SI721・埋土	沈線・磨消 (RL)	褐	-	[10.1]	-	
39	291	261	壺	SI731・埋土	沈線	褐	(10.7)	[6.2]	-	
40	291	261	甕	SI739・埋土	沈線	にぶい黄褐	-	[1.9]	(5.0)	内面コゲ
41	291	261	甕	SI804・埋土一括	沈線・地文 (単節)	暗褐	-	[4.4]	-	
42	291	261	壺	SI807・一括	沈線	にぶい黄橙	-	[3.3]	-	
43	291	261	壺	SI807・一括	沈線	にぶい黄橙	(9.6)	[7.0]	-	
44	291	261	甕	SI809・掘方埋土	沈線・地文 (LR)	褐	-	[2.4]	-	
45	291	262	甕?	SI809・掘方埋土	沈線・刺突列	にぶい黄橙	-	[5.2]	-	
46	291	262	壺?	SI811・一括	沈線・地文 (LR?)	褐灰	-	[3.7]	-	
47	291	262	蓋	SI811・一括	沈線・刻み	褐灰	[8.5]	[2.7]	-	
48	292	262	蓋	出土地点・層位不明	地文のみ	橙	[8.6]	3.6	-	補修孔
49	292	262	甕	SK436	沈線	黒褐	-	9.6	-	

田鎖車堂前遺跡掲載弥生土器 (C) 一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.C	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
50a	292	262	高坏?	SK703・埋土	沈線	にぶい橙	-	[4.8]	-	
50b	292	262	高坏?	SK703・埋土	沈線	にぶい橙	-	[6.5]	-	海綿骨針少量含む。
51	292	262	壺?	SK709	沈線	浅黄橙	-	[4.2]	-	
52a	292	262	壺?	SK716	沈線・磨消	褐灰	-	[5.0]	-	
52b	292	262	甗	SK716	沈線	褐	-	[3.0]	-	
53	292	262	壺	SP4556	沈線・刺突・磨消 (LR)	にぶい黄橙	-	[4.4]	-	
54	292	262	甗	SP4472	沈線・磨消 (LR)	にぶい黄橙	-	[6.6]	-	赤彩台付?
55	292	262	台付甗	SP4688	沈線・磨消 (LR)	灰白	(10.5)	9.0	4.5×4.3	底部: 方形
56	292	262	蓋	SX913・石検出面	隆沈線	黒褐	6.6	[2.8]	-	
57	292	262	甗	SD401・C~L形トレンチ・壁面清掃中	沈線・磨消 (LR)	にぶい黄橙	-	[5.0]	-	石英・角閃石多い。
58	292	262	壺	SD401・埋土上層	沈線・磨消 (RL)	灰黄褐	-	[5.1]	-	
59	292	262	壺	SD401・A区・埋土中下位	沈線のみ	にぶい黄橙	-	[4.3]	-	仙台平野?
60	292	262	甗	SD401・A区・埋土上部	沈線・刻み	黒褐	-	[3.2]	-	
61	292	262	台付鉢	SD402・E区・埋土下部清掃中	沈線のみ	にぶい黄橙	-	[6.8]	-	
62	292	262	壺	SD402・D区南・埋土上層	沈線	灰黄褐	-	[4.5]	-	
63	292	262	鉢?	SD502・埋土上層、SP5173・埋土	沈線	明赤褐	-	[5.6]	-	
64	292	262	台付鉢	SD502・埋土下層	沈線のみ	橙	-	[6.0]	-	
65	292	262	甗	SD402・E区・埋土上層	沈線・磨消 (LR)	にぶい褐	-	[4.0]	-	
66	292	262	壺		沈線・刺突列 (植物)	暗褐	-	[6.5]	-	
67	292	262	壺	東・検出	沈線・刺突列	にぶい黄橙	(8.2)	[4.2]	-	
68	292	262	甗	検出面	沈線・刻み	暗褐	-	[5.3]	-	
69	292	262	甗	SI715南付近・遺構外VII層	沈線	褐	-	[2.4]	-	
70	292	263	蓋	不明	沈線	にぶい黄褐	(4.3)	[1.4]	-	有孔
71	292	263	甗	II Z・検出面、SB402同辺・検出面、II Z6h・検出面	磨消	灰黄褐	-	[14.6]	-	
72	292	263	甗	II Z4h・VIII層上	沈線・地文 (RL)	暗褐	(12.0)	[9.0]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載弥生土器（C）一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.C	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
73	292	263	高坏	II Z7i~8j	沈線・刺突	にぶい黄橙	-	[2.2]	-	
74	292	263	台付壺	II Z7i~8j	沈線	にぶい黄橙	-	[2.5]	(3.7)	
75	292	263	鉢	II Z1f・ 焼土粒上面、北東隅・検出	沈線・地文	にぶい黄橙	(26.0)	[7.1]	-	
76	293	263	壺	II Z6f・ V~VII層	沈線・地文 (RL)	にぶい黄褐	-	[8.6]	-	
77	293	263	壺	II Z・検出面	沈線・刺突・ 磨消 (LR)	にぶい黄橙	-	[3.5]	-	頸部に焼成前 穿孔, 赤彩
78	293	263	甗	II A2~3d・検出面	沈線・地文 (RL)	灰黄褐	-	[10.6]	-	
79	293	263	鉢	II Z6b	沈線・地文	にぶい褐	-	[8.4]	-	
80	293	263	壺	II A1・2cカクラン	沈線・充填 (RL)	褐	-	[6.0]	-	
81	293	263	甗	表土~検出面, 西半・検出面	沈線・充填 (LR)	褐灰	-	[5.6]	-	
82	293	263	壺	東・検出	沈線・刻み・地文	灰黄褐	-	[3.8]	-	
83	293	263	甗	中央・表土・検出	沈線・充填 (LR)	にぶい黄褐	-	[5.7]	-	台付?
84	293	263	壺	検出面	沈線・磨消 (LR)	黒褐	-	[5.5]	-	
85	293	263	甗	II Z6f	沈線・地文 (LR)	褐	-	[5.4]	-	c35と同一個体
86	293	263	壺?	II A1c~2c・カクラン	沈線・地文 (RL)	暗褐	-	[3.5]	-	
87	293	263	壺	S1453~456あたり	沈線・磨消	黒褐	-	[4.2]	-	
88	293	263	甗	S1716付近	沈線	褐	-	[4.4]	-	
89	293	264	甗	II Z8c・検出面	沈線・地文 (LR)	褐灰	-	[4.7]	-	
90	293	264	甗	II Z8c・検出	沈線・地文 (RL)	褐灰	-	[5.5]	-	
91	293	264	壺	II A1c~2c	沈線・刺突列	橙	-	[5.0]	-	
92	293	264	甗	東・検出	沈線・地文	黒褐	-	[7.3]	-	
93	293	264	甗	北中央・検出	沈線	にぶい黄橙	-	[6.4]	-	
94	293	264	壺	II Z6e	沈線・磨消 (LR)	暗褐	-	[6.7]	-	
95	293	264	甗	S1706付近・検出	沈線・磨消 (RL)	褐	-	[7.6]	-	
96	293	264	甗	中央・表土~検出面, 西半・検出面	沈線・充填 (LR)	黒褐	-	[3.0]	-	
97	293	264	壺	検出面	沈線	黒褐	-	[5.5]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載弥生土器 (C) 一覧

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.C	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
98	293	264	壺	II Z7h・VI層	沈線	にぶい黄橙	-	[1.8]	4.8	底部：方形？
99	293	264	甕	SI715・南付近	沈線	暗褐	-	[3.1]	-	
100	293	264	壺	II Z5g・VII層	沈線	灰黄褐	-	[4.8]	-	
101	293	264	甕	II Z層・検出面	沈線・交互刺突・ 地文 (RL)	にぶい黄褐	-	[4.4]	-	天王山式
102	293	264	壺	SI478付近・検出	沈線・磨消 (LR)	暗褐	-	[3.7]	-	
103	293	264	台付鉢	II Z6e	沈線・刺突	にぶい黄橙	-	[3.8]	(10.0)	
104	294	264	壺	メインベルト南東	沈線	にぶい黄褐	-	[3.0]	-	海綿状骨針微量
105	294	264	壺	II Z5g	沈線	黒褐	-	[4.4]	-	
106	294	264	壺	SI445の下・検出	沈線・磨消(無節)	にぶい黄橙	-	[4.8]	-	
107	294	264	壺	II Z6f	沈線	にぶい黄褐	-	[4.7]	-	
108	294	264	壺	II Z検出	沈線・地文 (LR)	にぶい橙	-	[6.4]	-	
109	294	264	壺	II Z6e・検出面	沈線	褐灰	-	[3.8]	-	
110	294	264	壺	北東隅・暗褐色土トレンチ	沈線	にぶい黄橙	-	[2.8]	-	十三塚式
111	294	264	壺	中央・表土～検出面	沈線	灰黄褐	-	[3.5]	-	
112	294	264	壺	北東隅・検出	沈線・地文 (LR)	暗褐	-	[6.1]	-	
113	294	264	高坏	II A2～3d・検出面	沈線	灰白	-	[4.3]	-	
114	294	264	不明	中央北寄・表土～検出面	沈線	黒褐	-	[2.6]	-	
115	294	264	壺	II Z7f・V～VII層	—	灰黄褐	-	[2.3]	-	有脚
116	294	264	甕	SI715南付近	沈線・磨消 (LR?)	灰黄褐	-	[3.5]	-	赤彩
117	294	264	甕？	残土・表採	沈線・刺突列	橙	-	[2.1]	-	
118	294	264	甕？	損壊部・掘外・検出面	沈線	にぶい橙	-	[1.7]	(4.8)	
119	294	264	高坏	II Z・検出	沈線・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[4.4]	-	
120	294	264	壺	II A2b～3c・SI438の東側・検出面	沈線	にぶい橙	-	[5.2]	-	
121	294	264	小形台付？	SI425	無文	褐	-	[2.6]	-	
122	294	264	小形台付	SI468付近	無文	にぶい黄褐	-	[2.2]	-	

第3表 田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—後期・晩期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
1	294	265	深鉢	沖積層掘削中 (5層)	沈線・地文(LR)	暗褐	-	[9.2]	-	
2	294	265	深鉢	II Z7g・V~VII層	沈線・磨消・地文(RL)	黒褐	-	[4.6]	-	
3	294	265	注口土器	II Z6d	沈線	黒褐	-	[2.8]	-	
4	294	265	注口土器	SI427	無文	黒褐	-	[2.1]	-	
5	294	265	深鉢	北東・V層上位 (遺構?)	沈線・地文(RL)	褐	-	[7.2]	-	
6	294	265	深鉢	II A6c	沈線・磨消・地文(LR)	黒褐	-	[4.0]	-	
7	294	265	深鉢	SI404・埋土	刺突列付隆線・地文(LR)	褐	-	[5.5]	-	
8	294	265	深鉢	SD207・A区・埋土下層	太沈線・地文(LR)	明褐	-	[8.3]	-	
9	294	265	深鉢	SK432・埋土	沈線	褐	-	[8.2]	-	

第4表 田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
10	295	266	深鉢	SI437・埋土	沈線・刺突列・磨消・地文(RL)	にぶい黄橙	-	[9.5]	-	
11	295	266	深鉢	SI419・ベルト・下層	沈線・刺突・地文(LR)	褐灰	-	[7.7]	-	
12	295	266	深鉢	SI419・ベルト・下層	沈線・磨消・地文(LR)	褐	-	[5.9]	-	
13	295	266	深鉢	SI425・埋土下位	ヒレ状隆・刺突・地文(LR)	黒褐	-	[6.6]	-	D17と同一個体?
14	295	266	深鉢	SI425・埋土下部, 埋土中位	沈線・地文(LR)	灰褐	-	[9.6]	-	D16と同一個体? 内面補修孔 (未貫通)
15	295	266	深鉢	SI425・南壁下位	沈線・磨消・地文(RLR)	にぶい褐	-	[9.3]	-	
16	295	266	深鉢	SI425・埋土上部, 埋土中位, 埋土下部	沈線・地文(LR)	灰褐	-	[7.0]	-	D14と同一個体? 内面補修孔 (未貫通)
17	295	266	深鉢	SI425・埋土下部	ヒレ状隆・刺突・地文(LR)	黒褐	-	[4.6]	-	D13と同一個体?
18	295	266	深鉢	SI425・床直	沈線・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[5.5]	-	
19	295	266	深鉢	SI425・床直	沈線・竹管	褐	-	[5.0]	-	
20	295	266	深鉢	SI425・P9・埋土	地文のみ(燃糸)	にぶい橙	-	[14.4]	-	
21	295	266	器台	SI425・埋土上部	磨消・無文	暗褐	(19.4)	7.8	(22.0)	
22	295	266	深鉢	SI425・埋土中位	地文のみ(RL)	にぶい褐	-	[4.4]	(12.0)	底部網代痕
23	295	266	小形深鉢	SI425・床直・埋土下部, 埋土上位	沈線・竹管	黒褐	(10.0)	[4.0]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—後期・晩期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
24	295	266	深鉢	SI425・南側・埋土中位、埋土下部、 (SI403側)・埋土上部、床直、 P9・埋土、南壁・下位	地文のみ(燃糸)	明褐	(25.6)	[32.7]	-	
25	296	266	深鉢	SI486・埋土	磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[5.2]	(8.0)	底部網代痕
26	296	266	深鉢	SI486・埋土一括	沈線・磨消・ 地文(無節L)	明赤褐	-	[6.9]	-	
27	296	266	深鉢	SI911・Q4・埋土上位	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい褐	-	[7.9]	-	
28	296	266	深鉢	SI487・埋土	隆沈線・地文(RL)	褐	-	[4.8]	-	
29	296	266	深鉢	SI487・埋土	隆沈線・地文(RL)	褐	-	[4.2]	-	
30	296	267	深鉢	SI911・Q2・床面、 SK916・埋土上位	隆沈線・充填・ 地文(LR)	黄褐	-	[20.6]	-	雲母多め。
31	296	267	深鉢	SI488・南側・埋土	地文のみ(RL)	灰黄褐	-	[13.5]	(7.2)	底部網代痕 ナゲ消し
32	296	267	深鉢	SI482・埋土	沈線・地文(LR)	にぶい橙	-	[7.3]	-	
33	296	267	小形深鉢	SI482・埋土	地文のみ(LR)	褐	(12.0)	[15.7]	-	
34	296	267	深鉢	SI482・埋土	沈線・刺突・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[29.3]	-	
35	297	267	深鉢	SI482・埋土	沈線・隆線・ 地文(燃糸)	黄褐	-	[7.0]	-	
36	297	267	深鉢	SI482・下(南)縄文住居・埋土	隆沈線・地文	褐	-	[5.5]	-	
37	297	267	深鉢	SI482・埋土	地文のみ(燃糸)	褐灰	-	[10.0]	(10.0)	底部網代痕
38	297	267	深鉢	SI482・埋土	地文のみ(RLR)	明褐	27.0	[42.8]	-	
39	297	268	深鉢	SI742・Q1・埋土下位	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[3.7]	-	
40	297	268	深鉢	SI742	沈線・ 地文(結節RL)	にぶい黄橙	-	[12.0]	-	D139と同一個体
41	297	268	深鉢	SI742	隆沈線・地文(LR)	にぶい赤褐	-	[6.7]	-	
42	297	268	深鉢	SI742	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[5.4]	-	浅鉢の 可能性あり。
43	297	268	深鉢	SI744・埋土最下層、 SK742・埋土	沈線・地文(燃糸)	褐	-	[8.5]	-	
44	297	268	深鉢	SI492・西・埋土	地文のみ(LR)	明褐	-	[10.1]	11.1	内面コゲ 外面スス付着
45	298	268	深鉢	SI907・埋土	隆沈線・刺突列・ 磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[21.7]	-	
46	298	268	深鉢	SI907・埋土	無文	にぶい褐	-	[3.5]	-	
47	298	268	深鉢	SI907・埋土	ヒレ状突起・沈線・ 磨消・地文(LR)	にぶい橙	-	[4.9]	-	
48	298	268	深鉢	SI907・埋土	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい橙	-	[4.7]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
49	298	268	深鉢	SI907・埋土	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[6.7]	-	
50	298	268	浅鉢	SI906・Q4・埋土下位	地文のみ(LRL)	にぶい褐	18.6	11.7	5.2	底部網代痕 補修孔あり 注口付
51	298	268	深鉢	SI906・Q1・埋土上位、 Q2・埋土上位、 Q3・埋土上位、埋土	ヒレ状突起・沈線 ・刺突列・磨消 ・地文(RL)	にぶい黄橙	21.5	23.6	-	
52	298	268	深鉢	SI906・Q2・埋土下位	地文のみ(結節LR)	褐	-	[12.0]	-	
53	298	268	深鉢	SI906・Q3・埋土上位	沈線・刺突・ 磨消・地文(LR)	にぶい黄褐	(3.0)	[5.8]	-	
54	298	268	深鉢	SI906・Q1・埋土上位	隆沈線	にぶい黄橙	-	[5.2]	-	
55	298	268	小形深鉢	SI906・Q1・埋土上位	沈線・地文(RLR)	褐	-	[3.7]	4.4	
56	298	268	深鉢	SI906・Q3・埋土上位	ヒレ状突起・沈線 ・磨消・地文(LR)	暗褐	10.7	12.7	4.8	底部木葉痕
57	298	269	深鉢	SI906・Q1・埋土下位、埋土上位、 Q4・埋土下位	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[15.8]	-	
58	299	269	深鉢	SI905・Q2・埋土下位、P1内	沈線・磨消・ 地文(LRL?)	にぶい黄橙	-	[13.0]	-	
59	299	269	深鉢	SI906・Q1・埋土上位、Q4・埋土上 位、埋土下位	地文のみ(LRL?)	にぶい黄橙	(30.2)	[30.3]	-	
60	299	269	深鉢	SI908・埋土	地文のみ(RL)	褐	-	[13.6]	-	
61	299	269	深鉢	SI908・埋土、床面直上	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[26.3]	-	
62	299	269	深鉢	SI908・埋土	隆沈線・ 地文のみ(RL)	褐	-	[6.1]	-	
63	299	269	小形深鉢	SI910・埋土	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[4.4]	4.0	スス・コゲ付着
64	299	269	深鉢	SI910・炉A・埋土上層	隆沈線	褐	-	[5.9]	-	
65	299	269	深鉢	SI910・埋土	隆沈線・地文	にぶい黄橙	-	[6.7]	-	
66	300	269	深鉢	SI910・埋土	隆沈線・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[7.5]	-	
67	300	269	深鉢	SI910・埋土	沈線・地文(RLR)	褐	-	[6.8]	-	
68	300	269	深鉢	SI910・埋土上層	隆沈線・地文	赤褐	-	[8.3]	-	
69	300	269	深鉢	SI910・P3・埋土	沈線・地文(RL)	褐	-	[6.8]	-	
70	300	270	深鉢	SI910・炉B・炉内埋設土器	地文のみ(結節LR)	にぶい黄橙	-	[23.2]	-	
71	300	270	深鉢	SI910・埋土	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[8.3]	-	雲母少量
72	300	270	深鉢	SI910・埋土	沈線・地文(LR)	褐	-	[7.6]	-	
73	300	270	深鉢	SI910・埋土	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[8.7]	-	雲母多め。

鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧-中期-

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
74	300	270	深鉢	SI910・埋土	沈線・刺突列・磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[13.9]	-	
75	300	270	深鉢	SI910・埋土	沈線・刺突・磨消・地文(L?)	橙	22.2	[33.7]	-	
76	301	270	深鉢	SI902・埋土下位	沈線・磨消・地文(燃系)	褐	-	[12.0]	-	
77	301	270	浅鉢	SI902・Q1・埋土下位	沈線・磨消	褐	-	[6.6]	-	外面赤彩
78	301	270	深鉢	SI902・SK904・Q1・埋土下位, Q2・埋土上位, 埋土	沈線・磨消・地文(RL)	褐	23.3	[20.9]	-	
79	301	271	深鉢	SI902・Q2・埋土上位, Q3・埋土上位・Q4・埋土上位, 埋土下位, 埋土, SK906・埋土	地文のみ(RLR)	にぶい黄橙	27.0	43.2	-	D84と同一個体
80	302	271	深鉢	SI902・Q1・埋土	隆線・沈線・地文(LR)	黒褐	-	[5.9]	-	榎木林式?
81	302	271	小形深鉢	SI902・Q4・埋土下位	無文	にぶい黄橙	-	[2.8]	4.2	
82	302	271	深鉢	SI902・Q1・埋土	隆沈線・地文(LR)	明褐	-	[8.9]	-	
83	302	271	深鉢	SI902・Q3・埋土上位, Q4・埋土上位, 埋土下位	沈線・磨消・地文(RLR)	にぶい褐	-	[13.5]	-	
84	302	271	深鉢	SI902・Q3・埋土上位, Q4・埋土下位	地文のみ(RLR)	にぶい橙	-	[15.7]	13.4	D79と同一個体 底部網代痕
85	302	271	深鉢	SI902・Q4・埋土上位, SK906	ヒレ状突起・沈線・磨消・地文(RLR)	褐	21.9	35.8	9.6	底部網代痕
86	302	271	深鉢	SI902・Q1・埋土	沈線・刺突列・磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[12.2]	-	
87	303	272	深鉢	SI902・Q2・埋土下位, Q3・埋土下位, SK905・Q2・埋土	地文のみ(LR)	にぶい褐	-	[28.9]	12.7	底部網代痕
88	303	272	深鉢	SI909・床直	地文のみ(RLR)	褐	11.2	8.9	4.4	
89	303	272	深鉢	SI494・埋土	沈線・地文(LR)	暗褐	(10.2)	10.7	4.6	
90	303	272	深鉢	SI494・埋土	無文	にぶい黄橙	-	[6.4]	5.4	底部木葉痕
91	303	272	深鉢	SI494・埋土	沈線・地文(燃系)	暗褐	-	[4.2]	-	
92	303	272	深鉢	SI494・埋土中位	地文のみ(LR)	褐	-	[12.0]	10.1	底部網代痕
93	303	272	深鉢	SI913	沈線・地文(LR)	赤褐	-	[3.0]	-	
94	303	272	深鉢	SI902・Q3・埋土下位	ヒレ状突起・沈線・磨消・地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[12.2]	-	
95	304	272	深鉢	SI901・埋土上位	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[19.8]	-	
96	304	272	深鉢	SI901・埋土上層, 埋土下層	隆沈線・刺突列・地文(RLR)	暗褐	-	[10.9]	-	
97	304	272	深鉢	SI901・埋土上位, 埋土下位	隆線	明赤褐	-	[14.7]	-	
98	304	272	小形深鉢	SI902・Q1・埋土	無文?	橙	-	[1.3]	4.5	底部針葉樹の 圧痕

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
99	304	272	小形深鉢	SI744・ベルト下	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[1.2]	4.4	
100	304	272	小形深鉢	SI744・埋土	地文のみ(LR)	褐灰	-	[5.1]	4.4	底部木葉痕
101	304	272	深鉢	SI744・埋土	刺突列・ 地文(不明)	にぶい黄橙	-	[4.7]	-	
102	304	273	深鉢	SI744・埋土	貼付・沈線・ 磨消・地文(燃系)	にぶい黄橙	-	[4.6]	-	
103	304	273	深鉢	SI744・埋土	貼付・沈線・ 磨消・地文(燃系)	にぶい橙	-	[4.6]	-	
104	304	273	深鉢	SI744・埋土、南側・埋土	貼付・沈線・ 磨消・地文(RL)	にぶい橙	-	[6.4]	-	
105	304	273	深鉢	SI744・南側埋土、床面近く、 床SI751・土器埋設炉、床直	地文のみ(LR)	褐	30.4	[24.7]	-	
106	305	273	深鉢	SI485・床直	地文のみ(燃系)	にぶい黄橙	-	[10.8]	-	補修孔
107	305	273	深鉢	SI485・埋設土器・炉	沈線・地文(LR)	にぶい黄橙	(19.7)	30.2	8.0	底部網代痕
108	305	273	顔料容器	SI485・埋土	無文	にぶい黄橙	2.6	15.1	9.8	蓋と身に分割、 内面に顔料付着。
109	305	273	深鉢	SI485・埋土	地文のみ(燃系)	にぶい黄橙	-	[18.8]	11.4	底部網代痕
110	305	273	深鉢	SI485、II Z2i	沈線・磨消・ 地文(RLR)	明赤褐	(6.0)	[9.7]	-	
111	305	273	深鉢	SI912・Q3・埋土上位	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[4.8]	-	
112	305	273	深鉢	SI912・Q3・埋土	隆沈線・刺突・ 地文(RL?)	赤褐	-	[7.8]	-	
113	305	273	深鉢	SI912・Q3・埋土	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[7.5]	-	
114	305	273	深鉢	SI912・Q3・埋土下位	隆沈線・地文(RLR)	にぶい赤褐	-	[7.9]	-	
115	305	274	深鉢	SI912・Q3・埋土上位	隆沈線・刺突列・ 地文(燃系)	褐	-	[10.3]	(6.5)	
116	306	274	深鉢	SI451・埋土、SI483・埋土(床直上 含む)	隆沈線・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[8.7]	-	
117	306	274	深鉢	SI483・埋土(床直上含む)	ヒレ状突起・ 沈線・磨消・ 地文(RLR)	にぶい橙	-	[14.8]	-	
118	306	274	深鉢	SI483・P-2・埋土	地文のみ(燃系)	にぶい橙	-	[12.3]	11.2	底部網代痕
119	306	274	深鉢	SI483・埋土(貼床含む)	地文のみ(燃系)	にぶい橙	-	[20.8]	11.4	底部網代痕
120	306	274	深鉢	SI483・P-1・床直上、埋土(床直上 含層)、II Z1f・地山直上(黄褐色土)	地文のみ(RL)	褐	-	[27.3]	14.0	
121	306	274		SI483・埋土	沈線・地文(LR)	明褐	(6.4)	5.9	3.5	
122	306	274	深鉢	SI820・サブトレイ括	地文のみ(燃系)	明褐	-	[7.7]	-	雲母多量
123	307	274	深鉢	SI493・埋土、7層検出	沈線・地文(燃系)	にぶい黄橙	(19.4)	[16.2]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
124	307	274	深鉢	SI493・埋土	沈線・刺突列・磨消・地文(燃系)	褐	-	[15.9]	-	
125	307	274	深鉢	SI493・埋土	沈線・刺突列・磨消・地文(LR)	灰黄橙	-	[6.3]	-	D128と同一個体
126	307	274	浅鉢	SI493・埋土	沈線・磨消・地文(RLR)	明赤褐	-	[9.4]	-	
127	307	275	深鉢	SI494・493・埋土	沈線・地文(LR)	褐	(8.3)	9.5	4.2	
128	307	275	深鉢	SI493・埋土	沈線・刺突列・磨消・地文(LR)	灰黄橙	-	[6.5]	-	D125と同一個体
129	307	275	深鉢	SI819・一括	沈線・磨消・地文(LR)	灰黄褐	-	[4.7]	-	
130	307	275	深鉢	SI819・一括	地文のみ(LRL)	にぶい黄褐	-	[7.4]	-	
131	307	275	深鉢	SI819・炉・埋土、炉石・周辺埋土、炉・掘り方埋土	沈線・磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[19.1]	8.0	底部木葉痕
132	307	275	深鉢	SI819・埋土中	沈線・磨消・地文(LR)	にぶい橙	-	[9.6]	-	
133	307	275	深鉢	SI819・ベルト一括、床面	地文のみ(結節RL)	褐	-	24.3	8.0	
134	308	275	深鉢	SI740・Q1・埋土上位、Q3・埋土上位	沈線・磨消・地文(LR)	褐灰	-	[11.6]	-	
135	308	275	深鉢	SI740・Q2・埋土上位	沈線・刺突列・磨消・地文(LR)	明褐	-	[5.3]	-	
136	308	275	深鉢	SI740・Q1・埋土下位、Q3・埋土下位	沈線・磨消(LR)	にぶい黄橙	(19.7)	[12.3]	-	口唇部裏面突起
137	308	275	深鉢	SI740・Q2・埋土上位、Q3・埋土下位、下層、ベルト一括	地文のみ(燃系)	にぶい黄橙	-	[16.6]	-	
138	308	275	深鉢	SI740・Q2・埋土上位	沈線・地文(燃系)	にぶい黄橙	-	[8.2]	-	
139	308	275	深鉢	SI740・Q3・埋土下位、埋土上面	沈線・地文(結節RL)	にぶい黄橙	-	[27.8]	[7.7]	D40と同一個体 底部網代痕
140	308	275	深鉢	SI740・pit1・埋土、Q1・埋土上位、Q3・埋土下位、Q4・埋土下位	地文のみ(RLR)	褐	-	[29.2]	10.7	底部網代痕
141	309	275	深鉢	SI740・Q1・埋土上位、Q2・埋土上位、Q13・埋土下位、Q3・埋土下位	沈線・地文(燃系)	明褐	11.5	14.5	5.0	口唇部裏面突起2単位あり
142	309	275	深鉢	SI740・Q1・埋土上位	隆沈線・地文(LR)	にぶい褐	-	[5.5]	-	
143	309	276	深鉢	SI740・埋土上層	沈線・磨消・地文(RL)	にぶい橙	-	[6.8]	-	
144	309	276	深鉢	SI740・Q3・埋土上位	隆沈線	橙	-	[8.8]	-	
145	309	276	深鉢	SI740・埋土上層	沈線・磨消・地文(RL)	明褐	-	[12.2]	-	
146	309	276	深鉢	SI740・Q1・埋土上位	隆沈線・地文(LR)	にぶい褐	-	[5.8]	-	
147	309	276	小形深鉢	SI740	地文のみ(RL)	にぶい黄橙	-	[2.2]	5.2	
148	309	276	小形深鉢	SI740・Q4・埋土上位	地文のみ?(LR)	褐	-	[1.7]	4.4	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
149	309	276	深鉢	SI758	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[6.5]	-	
150	309	276	深鉢	SI813・埋土一括	隆沈線・地文(RLR)	にぶい褐	-	6.5	-	
151	309	276	深鉢	SI493・埋土、SI494・埋土上位、SI496・トレンチ(土坑も含む)、遺構外	地文のみ(RLR)	にぶい黄橙	(28.7)	[56.7]	-	
152	310	277	深鉢	SI494・埋土、SI495・埋土上位	地文のみ(結節LR)	にぶい褐	27.4	50.7	11.8	底部網代痕
153	311	278	深鉢	SI494・埋土、埋土中位、南一括	地文のみ(結節LR)	黄褐	23.0	30.6	12.0	底部網代痕
154	311	277	深鉢	SI495・埋土ベルト・2層目、7層、II Z・検出面	沈線・刺突・磨消・地文(LR)	褐	-	[22.5]	8.7	底部網代痕
155	311	277	深鉢	SI495・床面やや上面	地文のみ(LR)	灰黄褐	-	[14.1]	12.5	底部網代痕
156	312	279	深鉢	SI495・2層目、ベルト・埋土2層目	地文のみ(LR)	褐	-	[31.4]	-	
157	312	278	深鉢	SI495・2層目、ベルト・埋土最上層(1層目)	ヒレ状突起・沈線・磨消・地文(LR)	にぶい橙	(12.6)	[19.5]	-	
158	312	279	浅鉢	SI495・7層、II Z・検出面	隆線・刺突・地文(燃系)	明黄褐	(24.8)	[9.0]	-	
159	312	278	深鉢	SI495・炉3くぼみ・埋土、埋土ベルト・2層目	地文のみ(燃系)	褐	-	[19.5]	10.6	底部網代痕
160	313	279	深鉢	SI495・炉体土器内、土器埋設	地文のみ(L)	褐	-	[27.7]	(10.7)	底部木葉痕
161	313	279	深鉢	SI751・埋土、床直	沈線・刺突列・磨消・地文(LR)	褐	19.0	[19.9]	-	
162	313	279	小形深鉢	SI751・南側・埋土	地文のみ(不明)	褐灰	-	[3.2]	5.0	
163	313	279	深鉢	SI816・一括	沈線・地文(LR)	褐	-	5.3	-	
164	313	279	深鉢	SI812・一括	地文のみ(LR)	橙	-	6.4	-	
165	313	279	深鉢	SI812・埋土	沈線・刺突列・磨消・地文(LRL)	にぶい褐	-	5.1	-	
166	313	279	深鉢	SI815・複式炉、埋設土器	沈線・磨消・地文(LR)	褐	-	[23.5]	8.6	底部網代痕
167	313	280	深鉢	SI815・ベルト一括	地文のみ(結節LR)	褐	-	[21.0]	-	
168	314	280	深鉢	SI817・上層、下層、床面	ヒレ状突起・沈線・刺突列・磨消・地文(LRL)	にぶい黄褐	(17.9)	[15.1]	-	口唇部内面ヒレ状突起
169	314	280	深鉢	SI817・ベルト一括	沈線・磨消・地文(RL)	暗褐	-	[14.5]	-	
170	314	280	深鉢	SI817・上層	沈線・地文(RLR)	暗褐	-	[8.4]	-	D175と同一個体
171	314	280	深鉢	SI817・最上層、上層	沈線	にぶい黄褐	14.8	[18.6]	-	海綿状骨針少量
172	314	280	深鉢	SI817・下層	沈線・刺突・磨消・地文(燃系)	にぶい橙	-	[16.2]	-	
173	314	280	深鉢	SI817・床面、ベルト一括	地文のみ(燃系)	橙	-	[9.9]	14.2	底部網代痕

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
174	314	280	深鉢	SI817・下層,床面	地文のみ(燃糸)	にぶい黄褐	-	[13.9]	10.4	底部網代痕
175	315	280	深鉢	SI817・上層	沈線・地文(RLR)	暗褐	-	[8.5]	-	D170と同一個体
176	315	280	深鉢	SI817・床面	沈線・磨消	橙	-	[7.0]	-	
177	315	281	深鉢	SI817・ベルト一括	ヒレ状突起・沈線・磨消・地文(LR)	暗褐	-	[9.7]	-	
178	315	281	深鉢	SI817・床面	地文のみ (RLR)	橙	-	[21.3]	-	
179	315	281	深鉢	SI817・中～下層	ヒレ状突起・沈線・磨消・地文(RLR)	橙	-	[10.0]	-	
180	315	281	深鉢	SI817・埋土	ヒレ状突起・沈線・刺突列・磨消・地文(LR)	にぶい橙	-	[15.0]	-	D314・319他と同一個体?
181	315	281	深鉢	SI828・埋土	隆沈線	にぶい黄橙	-	[10.8]	-	
182	315	281	深鉢	SI828・床直, SI829・床面	地文のみ(RL)	にぶい黄橙	25.0	[22.5]	-	
183	315	281	深鉢	SI828・炉内	地文のみ(LR)	にぶい橙	-	[25.5]	-	
184	316	281	深鉢	SI818・埋土,床面	地文のみ(結節LR)	にぶい黄橙	-	[21.2]	-	
185	316	281	深鉢	SI818・上層	地文のみ(RL)	褐	-	[12.3]	-	
186	316	282	深鉢	SI301	地文のみ(LR)	黄褐	(27.4)	[43.0]	-	
187	316	282	深鉢	SI754・埋土	隆沈線・地文(RLR)	褐	(17.4)	[8.3]	-	
188	316	282	深鉢	SI754・埋土	隆沈線・地文(燃糸)	黒褐色	-	[5.4]	-	
189	316	282	深鉢	SI754・埋土	隆沈線・刺突列・地文(RLR)	橙	-	[7.0]	-	補修孔あり。
190	316	282	深鉢	SI754・埋土	沈線・地文(LRL)	褐	-	[6.0]	-	
191	316	282	深鉢	SI754・埋土	隆沈線・刺突列・地文(LR)	褐	-	[5.6]	-	
192	316	282	深鉢	SI754・埋土	沈線・地文(RLR)	褐	-	[6.5]	4.4	
193	316	282	深鉢	SI754・埋土	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[7.5]	(5.4)	
194	317	282	深鉢	SI754・埋土	地文のみ(燃糸)	褐	-	[32.5]	-	
195	317	283	深鉢	SI830・P3・埋土	沈線・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[7.8]	-	
196	317	283	深鉢	SI822・埋土,下層, SI830・炉前庭部	沈線・磨消・地文(LR)	褐	(15.7)	21.4	7.0	底部網代痕
197	317	283	深鉢	SI802・複式炉	地文のみ(LR)	にぶい褐	-	[6.1]	-	
198	317	283	深鉢	SI802・埋設土器	地文のみ(RLR)	にぶい褐	-	[27.8]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
199	317	283	深鉢	SI802・土坑埋土	隆線・地文(LR)	褐	-	[4.1]	-	
200	318	283	深鉢	SI405・407・煙道,埋土	ヒレ状突起・沈線・地文(燃系)	橙	(24.1)	34.2	8.5	底部網代痕
201	318	283	深鉢	SI822・ベルト・下層	ヒレ状突起・沈線・磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	[20.0]	[12.4]	-	
202	318	283	深鉢	SI822・上層,下層	地文のみ(結節LR)	にぶい黄橙	19.5	[23.9]	-	
203	318	283	深鉢	SI822・ベルト	沈線・地文(LR)	灰黄褐	-	[5.0]	-	補修孔(途中)
204	318	283	深鉢	SI822・上層	竹管刺突・沈線・磨消?	明黄褐	-	[5.1]	-	
205	318	283	小形深鉢	SI801・Q3・埋土下部	地文のみ(LR)	にぶい黄褐	-	[0.9]	(3.7)	
206	318	283	深鉢	SI801・埋土 SD402・C西畦・埋土上部	地文のみ(燃系)	にぶい橙	-	[13.9]	-	
207	318	284	深鉢	SI801・埋土下部	沈線・地文(LR)	褐	-	[12.5]	-	
208	318	284	深鉢	SI822・ベルト	ヒレ状突起・刺突列・磨消・地文(RL)	明黄褐	-	[6.3]	-	
209	318	284	深鉢	SI822・ベルト・上層	地文のみ(燃系)	にぶい黄橙	-	[7.7]	11.6	底部網代痕
210	319	284	深鉢	SI801・埋土下部,埋土中位	沈線・地文(RLR)	褐	-	[6.3]	-	
211	319	284	深鉢	SI801・(西区)埋土	隆線・地文(LR)	黒褐	-	[5.1]	-	
212	319	284	深鉢	SI801・埋土下部	沈線・刺突・磨消・地文(RL)	暗褐	-	[7.2]	-	
213	319	284	深鉢	SI801・埋土下部	沈線・磨消・地文(LR)	にぶい橙	-	[10.3]	-	
214	319	284	深鉢	SI801・PP2・埋土	地文のみ(RLR)	にぶい褐	-	[8.2]	11.5	底部網代痕
215	319	284	深鉢	SI801・Q4・埋土	磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[7.2]	11.2	底部網代痕 ナデ酒し
216	319	284	深鉢	SI801・埋土	地文のみ(燃系)	褐	-	[7.8]	11.2	底部網代痕
217	319	284	深鉢	SI406・埋設土器	隆線	褐	-	[6.5]	-	
218	319	284	深鉢	SI406・床直、炉付近、埋設土器、II Z区・検出面	地文のみ(RLR)	にぶい橙	(24.7)	47.9	9.8	
219	320	285	深鉢	SI758・埋土下層	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[16.3]	-	
220	320	285	深鉢	SI758・埋土下層	沈線・地文(RLR)	暗褐	(10.1)	[6.7]	-	
221	320	285	深鉢	SI758・埋土下層	地文のみ(RLR)	褐	-	[19.8]	-	
222	320	285	深鉢	SI829・埋土,床直,床面,炉内	地文のみ(LR)	褐	-	[9.1]	7.4	底部網代痕
223	320	285	深鉢	SI829・床直,床面	地文のみ(LR?)	褐	(21.3)	[12.6]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
224	320	285	深鉢	SI829・床直, 床面	原体圧痕・ 地文(LR)	にぶい黄橙	(18.2)	[22.1]	-	
225	321	285	深鉢	SK519・埋土下層	隆沈線	にぶい褐	-	[5.6]	-	
226	321	285	深鉢	SK519・埋土下層	隆沈線・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[7.1]	-	
227	321	285	深鉢	SK401・埋土	無文	にぶい黄橙	-	[6.8]	9.7	底部網代痕
228	321	285	深鉢	SK405・埋土	地文のみ(RL)	にぶい黄橙	-	[15.8]	-	
229	321	285	深鉢	SK416・埋土	沈線・竹管刺突・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[7.4]	-	
230	321	285	深鉢	SK402・埋土、II Z区	沈線	にぶい黄橙	(11.4)	[7.4]	-	
231	321	285	深鉢	SK414・埋土	多重沈線・ 地文(LRL)	褐	-	[6.7]	-	
232	321	285	深鉢	SK416・上～中層	地文のみ(RLR)	褐	-	[8.6]	(9.3)	
233	321	285	深鉢	SK416・最下位	沈線・磨消・ 地文(LR)	暗褐	-	[12.5]	-	
234	321	286	深鉢	SK416、417・埋土	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[6.5]	-	
235	321	286	深鉢	SK416・埋土	沈線・磨消・ 地文(LR)	褐	-	[8.4]	-	
236	321	286	深鉢	SK416・埋土	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[5.6]	-	
237	321	286	深鉢	SK416・埋土下位	沈線・地文(LR)	褐	-	[5.7]	-	
238	321	286	深鉢	SK419	隆沈線・地文(RL)	にぶい黄橙	-	[4.6]	-	
239	321	286	深鉢	SK421・埋土	隆沈線・刺突・ 地文(RLR)	暗褐	-	[3.7]	-	
240	321	286	深鉢	SK421・埋土	隆沈線・地文(LRL)	褐	-	[5.5]	-	
241	321	286	深鉢	SK423・埋土	隆沈線・ 地文(燃糸)	灰白	-	[3.7]	-	
242	321	286	深鉢	SK425・埋土	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[5.7]	-	
243	321	286	深鉢	SK423・埋土	隆沈線・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[6.5]	-	
244	322	286	深鉢	SK432・埋土	沈線・刺突列	にぶい黄橙	-	[2.6]	-	
245	322	286	深鉢	SK438・埋土	沈線・地文(LR)	褐	-	[33.0]	-	
246	322	286	深鉢	SK438・埋土	地文のみ(RLR)	褐	-	[13.5]	-	
247	322	286	小形深鉢	SK438・埋土	無文	褐	(8.3)	7.0	4.6	
248	322	286	小形深鉢	SK438・埋土	地文のみ(LR)	灰黄褐	-	[4.0]	7.3	底部網代痕

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
249	322	286	深鉢	SK441・北側検出	隆沈線・地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[6.0]	-	
250	322	286	深鉢	SK444	沈線・地文(LR)	橙	-	(4.8)	-	
251	322	286	深鉢	SK463・埋土一括、 SK464・埋土上層	沈線・刺突列(LR)	灰黄褐	-	[14.4]	-	
252	322	286	小形深鉢	SK463・埋土一括	地文のみ	にぶい黄橙	-	[6.2]	4.2	底部網代痕
253	322	286	深鉢	SK483・埋土	隆沈線・刺突列・ 地文(RLR)	褐灰	-	[9.3]	-	
254	322	286	深鉢	SK464・埋土	沈線・磨消・ 地文(無筋L)	にぶい黄橙	-	[18.9]	-	
255	322	286	深鉢	SK494・埋土	隆沈線・地文(LR)	にぶい褐	-	[10.4]	-	
256	322	286	深鉢	SK720	(隆)沈線・ 地文(RLR?)	褐	-	[5.9]	-	
257	322	286	深鉢	SK723・埋土	隆沈線・地文(RLR)	黒褐	-	[3.0]	-	
258	322	286	深鉢	SK719・底面・埋土	地文のみ(RL?)	にぶい橙	-	[11.0]	12.4	底部網代痕
259	323	287	深鉢	SK719	地文のみ(結節LR)	褐	-	[14.0]	-	
260	323	287	深鉢	SK719	地文のみ(LR)	褐	-	[22.6]	-	
261	323	287	小形深鉢	SK730・埋土	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[3.8]	4.8	
262	323	287	深鉢	SK742・埋土	隆沈線・ 地文(燃糸)	褐	-	[7.5]	-	
263	323	287	深鉢	SK904・埋土	橋状突起・沈線・ 刺突列・磨消(RL)	にぶい橙	(12.8)	[9.6]	-	
264	323	287	深鉢	SK904・埋土上位	沈線・刺突列・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[4.5]	-	
265	323	287	深鉢	SK904・埋土	貼付・沈線・磨消・ 地文(RLR)	橙	-	[5.1]	-	
266	323	287	深鉢	SK906・埋土	隆沈線・地文(RL)	にぶい褐	-	[5.1]	-	
267	323	287	深鉢	SK906・埋土	沈線・磨消・ 地文(RL)	にぶい黄橙	-	[7.6]	-	
268	323	287	深鉢	SK906・埋土	地文のみ(燃糸)	にぶい黄橙	-	[13.8]	-	
269	323	287	深鉢	SK912・埋土	沈線・地文(RLR)	浅鉢黄橙	-	[5.8]	-	
270	323	287	深鉢	SK916・埋土上位	沈線・摩耗・ 地文(LR)	褐	-	[8.2]	-	
271	323	287	深鉢	SK919・埋土	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[4.7]	-	
272	323	287	深鉢	SK915・埋土上層	沈線・地文(RLR)	灰黄褐	-	[5.1]	-	
273	323	287	深鉢	SK915・埋土上層	ヒレ状突起・ 磨消・沈線	にぶい黄橙	-	[3.0]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
274	323	287	深鉢	SK930・埋土	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[4.8]	-	
275	323	287	深鉢	SK919・埋土	沈線・地文(RLR)	褐	-	[8.8]	-	
276	323	287		SK303	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[4.5]	-	
277	323	287	深鉢	II Z区・検出面	沈線・刺突・ 地文(RL)	にぶい黄褐	-	[3.9]	-	
278	323	287	深鉢	SK304	3重沈線・ 地文(LR)	灰褐	-	[7.7]	4.8	
279	324	287	深鉢	SK802・埋土上位	隆沈線?・ 地文(不明)	黒褐	-	[5.0]	-	
280	324	287	深鉢	SK802・埋土上位	隆沈線・地文(RL)	橙	-	[6.3]	-	
281	324	287	深鉢	SK802・埋土上位	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[14.2]	-	
282	324	287	深鉢	SK803・埋土下位	隆沈線・地文(LR)	灰白	-	[5.6]	-	
283	324	287	小形深鉢	SK803・埋土下位	隆沈線・ 地文(燃糸)	褐	-	[5.2]	-	
284	324	287	深鉢	SK804・埋土上位	沈線・地文(LR)	褐	-	[9.7]	-	
285	324	288	深鉢	SK804・ベルトA-A' 1層	沈線・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[6.0]	-	
286	324	288	深鉢	SK804・埋土上位	沈線・刺突・ 磨消・地文(LR)	褐	-	[7.4]	-	
287	324	288	深鉢	SK804・西半・埋土上位、 SK817・ベルトA-A'・16層、 SK818・ベルトA-A'・14層	隆線・沈線・ 地文(LR)	褐	(20.0)	[19.8]	-	
288	324	288	小形深鉢	SK804・1層	地文のみ(LR)	褐	-	[4.3]	-	
289	324	288	深鉢	SK805・北半・埋土下位	地文のみ(LR)	褐	-	[4.3]	3.4	
290	324	288	深鉢	SK805・埋土上位	隆沈線・刺突列・ 地文(RLR)	褐	-	[6.8]	-	
291	324	288	深鉢	SK806・埋土上位	沈線・磨消(LR)	褐	-	[4.3]	-	
292	324	288	深鉢	SK806・埋土上位	隆線・地文(RL)	褐	-	[6.0]	-	
293	324	288	深鉢	SK806・埋土上位	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[4.3]	-	補修孔
294	324	288	深鉢	SK806・埋土上位	無文	褐	-	[5.8]	-	
295	324	288	深鉢	SK806・埋土上位	隆沈線・地文(LR)	明褐	-	[4.0]	-	
296	324	288	深鉢	SK809・ベルトA-A'・8層	沈線・磨消・ 地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[6.3]	-	
297	324	288	深鉢	SK809・ベルトA-A'・1層	沈線・刺突・磨消・ 地文(燃糸)	にぶい黄橙	-	[10.7]	-	
298	324	288	深鉢	SK809・ベルトA-A'・1層、 2層	沈線・地文(LR)	褐	(18.5)	23.8	6.4	底部木葉痕

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
299	325	288	深鉢	SK814・北西・埋土上位, SK816・南半・埋土下位	沈線・刺突・ 磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	19.2	25.4	6.8	底部木葉痕
300	325	288	深鉢	SK814・北西・埋土上位	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[4.0]	-	
301	325	288	深鉢	SK829・埋土	(隆)沈線	褐	-	[4.1]	-	
302	325	288	小形深鉢	SK829・埋土上層	隆沈線・ 地文(燃糸)	橙	-	[2.1]	(5.5)	
303	325	288	深鉢	SK819・埋土6層	沈線・地文(LR)	暗褐色	-	[5.6]	-	
304	325	288	深鉢	SK818・埋土上位	隆沈線・地文(LR)	にぶい赤褐	-	[7.4]	-	
305	325	288	深鉢	SK824・2層	隆沈線・ 地文(結節LR)	にぶい赤褐	-	[15.0]	-	
306	325	288	深鉢	SK819・埋土	沈線・地文(RLR)	褐	-	[6.0]	-	
307	325	289	深鉢	SK820・埋土上位(暗褐色土)	隆沈線・地文(RLR)	にぶい黄褐	-	[4.6]	-	
308	325	289	深鉢	SK830・埋土	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[4.9]	-	
309	325	289	深鉢	SK827・埋土	地文のみ(LR)	灰黄褐	-	[15.5]	-	内面コゲ
310	325	289	深鉢	SK827・埋土	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[8.6]	-	
311	325	289	深鉢	SK827・埋土	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[8.1]	-	
312	325	289	深鉢	SK831・埋土	沈線・磨消・ 地文(LR)	褐	-	[5.9]	-	外面スス 内面コゲ
313	325	289	深鉢	SK831・埋土	地文のみ(RLR)	橙	-	[7.3]	-	
314	325	289	深鉢	SK831・埋土	沈線・地文(LR)	にぶい橙	-	[19.2]	(10.0)	D180・319他と 同一個体? 底部網代痕
315	326	289	深鉢	SK833・埋土,1層	無文	にぶい褐	(10.3)	11.9	(5.2)	
316	326	289	深鉢	SK833・1層一括	地文のみ(RLR)	褐	(14.4)	16.2	5.9	
317	326	289	深鉢	SK835・ベルト一括	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[4.5]	-	
318	326	289	深鉢	SK838・一括	橋状突起	明赤褐	-	[4.9]	-	外面赤彩
319	326	289	深鉢	SK838・埋土一括	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい橙	-	[10.8]	-	D180・314他と 同一個体?
320	326	289	深鉢	SK840・一括	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい褐	-	[5.2]	-	
321	326	289	深鉢	SK845・一括	地文のみ(燃糸)	にぶい褐	-	[20.6]	-	
322	326	289	深鉢	SK842・上層(黒)	沈線・摩耗・ 地文(RL)	明褐	-	[8.3]	-	
323	326	289	深鉢	SK843・埋土	地文のみ(燃糸)	明褐	-	[13.5]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
324	326	289	深鉢	SK843・埋土	隆沈線・地文(RLR)	褐灰	-	[6.0]	-	
325	326	289	深鉢	SK838・埋土一括	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[9.7]	-	
326	326	289	深鉢	SF801・ベルトA-A'・6層	地文のみ(燃系)	明褐	-	[8.8]	(14.6)	底部網代痕
327	326	290	深鉢	SF801・北東1/4・覆土	沈線・刺突・磨消・地文(LR)	黒褐	-	[7.5]	-	内面コゲ 外面スス付着
328	327	290	深鉢	SF801・埋土(2層),焼土層	沈線・磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[22.3]	-	D330と同一個体
329	327	290	深鉢	SF801・ベルトA-A'・1層, 6層、北東1/4・焼土層、 北面1/4・覆土	地文のみ(結節LR)	にぶい黄橙	-	[26.0]	-	
330	327	290	深鉢	SF801・南東1/4・焼土層	沈線・磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[12.4]	-	口唇部内面 ヒレ状突起 D328と同一個体
331	327	290	深鉢	SX408・埋土	隆線	褐	-	[4.6]	-	
332	327	290	深鉢	SX408・埋土	沈線・刺突・地文(燃系)	にぶい黄橙	-	[6.3]	-	
333	328	291	深鉢	SX908・埋土	隆沈線・地文(LR)	褐	40.0	[57.5]	-	
334	329	290	深鉢	SX907・石検出面,掘り込み内	地文のみ(RL)	にぶい黄橙	(25.7)	54.1	12.0	底部網代痕
335	330	291	深鉢	SX801	隆沈線・地文(RLR)	褐	28.4	[18.0]	-	
336	330	292	深鉢	SX08・埋土	沈線・磨消・地文(LR)	褐	-	[6.8]	-	
337	330	292	深鉢	SX08・埋土	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[16.7]	-	
338	330	292	深鉢	SX922・石検出面	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[12.7]	-	
339	330	292	深鉢	SX923・埋設土器	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[11.3]	11.1	
340	330	292	深鉢	SX909・埋設土器	地文のみ(LR)	褐	-	[7.3]	-	
341	330	292	深鉢	SX907・掘り込み内	地文のみ(結節RL)	褐	-	[17.6]	-	
342	330	292	深鉢	SF402・埋土	沈線・磨消・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[4.6]	-	
343	330	292	深鉢	SF402	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[8.1]	-	
344	330	292	深鉢	SX900・(II A8a)・石範囲内	隆沈線・地文(不明)	にぶい黄褐	-	[3.5]	-	
345	331	292	深鉢	SX907・掘り込み内	沈線・地文(結節RL)	にぶい黄褐	(23.6)	[38.1]	-	
346	331	292	深鉢	SX909・埋設土器	地文のみ(結節LR)	褐	(18.6)	26.4	(6.4)	
347	331	292	深鉢	SI401・掘り方	隆沈線・地文(燃系)	黒褐	-	[9.0]	-	D465と同一個体
348	331	292	深鉢	SI401・掘り方 外233・西半・検出面	隆沈線・刺突・地文(RLR)	暗褐	-	[7.6]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
349	331	292	深鉢	SI402・南側、SI406・埋土	隆沈線・地文(LR)	褐灰	-	[12.5]	-	
350	331	293	深鉢	SI402・埋土・II Z区・カクラン、SI405・煙道	沈線2条 3条・地文 (LR)	褐	(18.1)	[21.2]	-	
351	331	293	小形深鉢	SI710・貼床	無文	にぶい黄褐	-	[1.5]	2.9	
352	331	293	深鉢	SI710・貼床、埋土	ヒレ状貼付・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[6.8]	-	
353(表面)	332	293	深鉢	SI403・床面、煙出、煙道5・埋土、 焼土胎、	ヒレ状突起・ 沈線・刺突・ 地文(燃糸)	にぶい褐色	(35.0)	[20.0]	-	
353(側面)	332	293		SI425・埋土下部、製炭検出面 (カ クラン)、黒褐色土	ヒレ状突起・ 沈線・刺突	にぶい褐色	-	[20.0]	-	
354	332	293	深鉢	SI403・煙出	沈線・刺突・ 地文(燃糸)	明黄橙	-	[15.3]	-	
355	332	293		SI403・貼床はがし(南半)	地文のみ(RL)		-	[4.0]	13.6	底部網代痕
356	332	293	深鉢	SI403・P24	口縁隆線・ 地文(RLR)	明黄橙	-	[8.2]	-	
357	332	293	深鉢	SI452・カマド付近	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[6.2]	-	
358	332	293	深鉢	SI452・カマド付近	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[9.0]	-	
359	332	293	深鉢	SI803・Q1・掘り方埋土	沈線・磨消(LR)	褐	-	[8.3]	-	
360	333	293	深鉢	SI411・床下	隆線	明褐	-	[7.6]	-	補修孔
361	333	293	深鉢	SI411・埋土	隆沈線・地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[4.0]	-	
362	333	293	深鉢	SI411・床下	口端刻み・小刺突	褐	-	[3.8]	-	
363	333	293	深鉢	SI411・煙道部・煙道埋土、 床下、カマド煙道、II Z1g・下層	地文のみ(燃糸)	褐灰	-	[29.5]	-	
364	333	293	深鉢	SI445・床直、SI	隆沈線・刺突列 ・地文(RLR)	橙	-	[6.0]	-	
365	333	293	深鉢	SI445・床直	隆沈線?・刺突列 ・地文(燃糸)	にぶい黄橙	-	[7.8]	-	
366	333	293	深鉢	SI411, II Z1g・下層	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[11.8]	-	補修孔
367	333	294	深鉢	SI416・埋設土器2	隆線・地文(LR)	褐灰	(30.9)	[21.5]	-	
368	333	294	深鉢	SI445・貼床・埋土	隆沈線・地文(LR)	にぶい褐	-	[10.0]	-	
369	333	294	深鉢	SI449・埋土	沈線・地文(LR)	褐	(12.2)	[10.1]	-	
370	333	294	深鉢	SI472・埋土下層	沈線・磨消・ 地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[5.1]	-	
371	334	294	浅鉢	SI430・埋土上部	隆沈線・地文(LR)	浅鉢黄橙	-	[11.6]	-	
372	334	294	深鉢	SI430・埋土上部、SK414・埋土、 北側検出・検出面	隆沈線・地文(RLR)	暗褐	-	[12.3]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
373	334	294	深鉢	SI430・旧住居	隆沈線・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[8.5]	-	
374	334	294	深鉢	SI453・埋土 SI454・埋土、北東・埋土	沈線2条 3条・地文(LR)	褐	-	[17.6]	-	弥生土器 (中期)?
375	334	294	深鉢	SI451・埋土	沈線・地文(RL)	暗褐	-	[5.0]	-	
376	334	294	深鉢	SI458・貼床	沈線・地文(LR)	暗褐	-	[7.9]	-	
377	334	294	深鉢	SI458・埋土	沈線・地文(LR)	褐	-	[6.8]	-	
378	334	294	浅鉢	SI466, 476・埋土	沈線・刺突列	暗褐	-	[4.0]	-	
379	334	294	壺	SI469・埋土	沈線・ 磨消(複節RLR)	にぶい黄橙	-	[7.4]	5.3	底部網代痕 ナデ消し
380	334	294	深鉢	SI451・埋土	地文のみ(LR)	褐	(13.7)	[16.2]	(6.2)	底部網代痕
381	335	295	深鉢	II Z2h・VII層検出	沈線・刺突・ 地文(燃糸)	褐	-	[7.8]	-	
382	335	295	深鉢	II Z1g・VII層	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[5.8]	-	
383	335	295	深鉢	II Z6e・VII層	沈線・磨消・ 地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[7.6]	-	
384	335	295	深鉢	II Z6e・VII層	隆沈線・刺突列・ 地文(RLR)	暗褐	-	[5.7]	-	
385	335	295	深鉢	II Z2j・VII層	沈線	にぶい黄橙	-	[4.8]	-	
386	335	295	深鉢	II Z3d・VII層	沈線・磨消・ 地文(RL)	浅鉢黄橙	-	[10.1]	-	
387	335	295	深鉢	II Z9g・VI層下位～VII層上面	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[13.2]	-	
388	335	295	深鉢	II Z4h・VII層	沈線・地文(RLR)	暗褐	(9.8)	13.4	6.6	
389	335	295	深鉢	II Z9g・VI層下～VII層上面	隆沈線・地文(RLR)	にぶい黄橙	(13.2)	13.6	8.0	
390	335	295	深鉢	II Z6e・VII層	隆沈線・地文(RLR)	にぶい赤褐	-	[5.0]	6.6	
391	335	295	深鉢	II Z10g・VI層下位～VII層上面	隆沈線・刺突列・ 地文(燃糸)	にぶい褐	-	[8.0]	-	
392	335	295	深鉢	II Z10h・VII層下位	隆沈線・刺突列・ 地文(RLR)	褐	-	[10.8]	-	
393	335	295	深鉢	II Z8d・VII層上 II A7a・VII層	隆沈線・地文(RLR)	褐	-	[21.7]	-	
394	335	295	深鉢	II Z9 f・VII層上	隆沈線・地文(RLR)	灰褐	(9.8)	[6.9]	-	
395	335	295	深鉢	II Z9 f・VII層	隆沈線・刺突列・ 地文(RLR)	灰褐	-	[8.1]	-	弥生土器 (中期)?
396	335	295	器台	II Z10 h・VII層上位	無文・円形透孔	にぶい褐	14.7	10.4	18.0	
397	335	295	深鉢	II Z9 f・VII層上	隆沈線・ 地文(燃糸)	にぶい黄橙	-	[13.5]	6.6	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
398	335	295	深鉢	II Z9 f・VII層下位	隆沈線・地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[9.5]	-	
399	336	295	深鉢	II Z9 f・VII層	沈線・磨消・地文(RLR)	灰黄褐	-	[7.5]	-	
400	336	295	深鉢	II Z9 f・VII層	隆沈線・地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[7.9]	-	
401	336	295	深鉢	II Z9 f・VII層	沈線・地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[7.7]	(7.0)	
402	336	295	深鉢	II Z9 f・VII層下位	隆沈線・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[6.6]	-	
403	336	296	深鉢	II Z9 f・VII層	隆沈線・地文(RLR)	橙	-	[8.6]	-	
404	336	296	深鉢	II Z9e・VII層	隆沈線・地文(RLR)	にぶい褐	[15.7]	[10.3]	-	
405	336	296	深鉢	II Z9e・VII層	隆沈線・刺突列・地文(燃系)	暗褐	-	[8.4]	-	
406	336	296	深鉢	II Y5i・VII層	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[5.4]	-	
407	336	296	深鉢	II Y5h・VII層	沈線・地文(LR)	暗褐	(11.5)	[15.0]	-	
408	336	296	深鉢	II Y5j・VII層上面	沈線・地文(RLR?)	褐	-	(12.0)	-	
409	336	296	深鉢	II Z9e・VII層	地文のみ(燃系)	にぶい褐	-	[12.2]	-	
410	336	296	深鉢	II Y6j・VII層	沈線・地文(RL)	にぶい黄橙	-	[6.3]	-	
411	336	296	深鉢	II Y5j・VII層	沈線・磨消(LR)	褐	-	[4.5]	3.8	
412	336	296	深鉢	II Y5i、II Z2e・埋土	隆沈線・地文(LR)	黒褐色	-	[7.5]	-	
413	336	296	深鉢	III Z1h・VI層下位～VII層	隆沈線・地文(LR)	灰褐	-	[13.5]	-	
414	337	296	深鉢	III Z10 j・VII層	(隆)沈線・地文(LR)	褐	-	[15.6]	-	
415	337	296	深鉢	堀検出エリア・カクラン	沈線・地文(RLR)	明黄褐	-	[4.9]	-	
416	337	296	浅鉢	II Y区・トレンチ・VI層	隆沈線・地文(LR)	にぶい赤褐	-	[5.2]	-	注口部あり。
417	337	296	深鉢	SI415北側付近・検出	沈線・地文(LR)	褐	-	[7.2]	-	
418	337	296	深鉢?	追加調査区・表土検出面	隆沈線・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[5.6]	-	
419	337	296	深鉢	追加調査区西半分、仮2号住・埋土	隆沈線	暗褐	-	[6.3]	5.8	底部木葉痕ナデ消し
420	337	296	深鉢	SK318周辺	地文(結節LR)	にぶい橙	-	[32.5]	(11.0)	底部網代痕
421	337	297	深鉢	カクラン・検出	隆線	黒褐	-	[5.8]	-	
422	337	297	深鉢	SI411の下層?	円孔・突起	にぶい黄橙	-	[6.0]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
423	337	297	深鉢	II Z2 b ~ 2 c ・ 検出面	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[4.3]	-	
424	337	297	深鉢	I Z8i ~ I A10b・VII層上面	沈線・地文(RL)	褐	-	[8.0]	-	
425	338	297	深鉢	II Z ・ 検出面	地文のみ(撚糸)	にぶい黄橙	(23.9)	[11.7]	-	
426	338	297	深鉢	SK318周辺	地文(RLR)	にぶい橙	-	[7.2]	13.7	底部網代痕
427	338	297	深鉢	北端 (黒褐色土)	沈線・地文(RL)	褐	-	[25.9]	8.4	底部網代痕 ナデ消し
428	338	297	深鉢	II Y区・トレンチ・VI層	沈線・地文(LR)	暗赤褐	-	[29.0]	-	
429	339	297	深鉢	メインベルト南側・検出面	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[10.0]	-	
430	339	297	深鉢	西堀検出エリア・検出	隆沈線・刺突	明褐	-	[7.2]	-	
431	339	297	深鉢	II Z1 g ・ SI411の下層、II Z1g・ 検出面(黒褐色土)	隆沈線・地文(LR)	明褐	-	[19.5]	-	
432	339	297	深鉢	中央北寄・表土~検出面, 西半・検出面, 検出	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[9.2]	-	
433	339	298	深鉢	II Z1 ~ 2 f ・ 検出面	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[14.6]	-	
434	339	298	深鉢	II Z1f ・ 黒褐色	隆沈線・地文(LR)	黄褐	-	[7.2]	-	
435	339	298	深鉢	VII「層上面	隆線・地文(撚糸)	暗褐	-	[7.1]	-	
436	339	298	深鉢	黒褐色シルト (縄文層)	隆線・沈線	褐	-	[9.7]	-	
437	339	298	器台	検出面	無文	褐	(17.3)	5.9	(19.5)	
438	339	298	深鉢	SI425・埋土 (縄文層)、 遺構外・縄文土層	地文のみ(撚糸)	褐	-	[25.3]	-	
439	340	298	深鉢	I Z8i ~ I A10b・VII層上面	環状突起	にぶい黄橙	-	[7.3]	-	
440	340	298	深鉢	I Z10 g ・ VI層	内面ヒレ状突起・ 沈線・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[5.0]	-	
441	340	298	深鉢	SI429の南・ II Z1d, SX408, SK470・埋土	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[14.1]	-	
442	340	298	深鉢	SI429の南・検出	隆沈線・刺突列・ 地文(RL)	灰黄褐	-	[6.2]	-	
443	340	298	深鉢	I Z10 h ・ VI層	沈線・磨消・ 地文(LR)	灰褐	-	[7.4]	-	
444	340	298	深鉢	VII層上面	ヒレ状突起・ 地文(RL)	明黄褐	-	[5.6]	-	
445	340	298	深鉢	II Z2e ・ 検出	隆沈線・地文 (R)	橙	-	[9.7]	-	
446	340	298	深鉢	I Z8i ~ I Z10b・VII層上面、 I Z10b・VI層相当	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[18.8]	-	
447	340	298	深鉢	II Z1 g ・ VI層相当	沈線・磨消・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[8.5]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
448	340	299	深鉢	II Z2 f・検出	沈線・地文(LR)	褐	-	[11.5]	-	
449	340	299	深鉢	II Z2e・検出	沈線・地文(RLR)	褐	-	[8.9]	-	
450	340	299	深鉢	II Z2 g・V層相当	隆沈線・地文(RL)	にぶい黄橙	-	[5.7]	-	
451	340	299	深鉢	II Z1f・検出	沈線・磨消・地文(燃系)	にぶい黄橙	-	[10.3]	-	
452	340	299	浅鉢	I Z10 h・VI層	隆沈線・地文(燃系)	赤褐	-	[6.1]	-	
453	341	299	深鉢	II Z2e・検出	隆沈線・地文(RL)	暗褐	-	[12.4]	-	
454	341	299	深鉢	II Z2 f・検出、北・中央検出	沈線・地文(LR)	褐	-	[16.9]	-	
455	341	299	深鉢	I Z8i~10 b・VII層上面	ヒレ状突起・隆沈線・地文(燃系)	にぶい黄橙	(13.0)	[10.8]	-	
456	341	299	浅鉢?	III Y3i~3 j・検出	隆沈線・磨消・地文(RLR)	にぶい黄橙	-	[6.2]	-	
457	341	299	浅鉢	II Z6a~6b・包含層	隆沈線・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[5.3]	-	外面赤彩
458	341	299	深鉢	II Z6a~6b・包含層	隆沈線・地文(RL)	黒褐	-	[6.8]	-	
459	341	299	深鉢	III Y3i~3 j・検出	隆沈線・磨消(RL)	にぶい黄橙	-	[9.2]	-	内外面赤彩
460	341	299	深鉢	II Z2 f・検出	隆沈線・地文(LR)	褐	(13.7)	[20.3]	(6.6)	
461	341	299	深鉢	S1451の南らへん、S1415北側付近・検出	隆沈線・地文(LR)	褐	[31.8]	[42.3]	-	
	341	299	深鉢	II Z2 f・検出	沈線・地文(LR)	褐				
462	342	300	深鉢	II Z2 f・検出	隆沈線・地文(RLR)	褐	(20.0)	[20.1]	-	
463	342	300	深鉢	S1421付近・検出、II Z1d・検出、S1429の南らへん・検出	地文のみ(LR)		-	[16.1]	12.4	底部→笹?
464	342	300	深鉢	北東・VI層~7層上面	隆沈線・地文(燃系?)	赤褐	-	[8.7]	-	
465	342	300	深鉢	II Z1g・VI層相当	隆沈線・地文(燃系?)	にぶい黄橙	-	[10.8]	-	D347と同一個体
466	342	300	深鉢	I Z9 h~10 h・VI層	隆沈線・地文(燃系?)	にぶい黄橙	-	[13.3]	(7.0)	底部網代痕
467	342	300	深鉢	S1458付近・検出、I Z10e・検出、I Z10e~h・VI層、I Z10 h・VI層相当、S1426付近、I Z8i~I A10b・VII層上面	地文のみ(結節LR)	にぶい黄橙	-	[39.5]	(12.5)	底部網代痕
468	343	300	深鉢	北東・VI層~VII層上面	地文のみ(燃系?)	灰黄褐	-	[7.7]	10.9	底部網代痕
469	343	300	深鉢	III Y3i~3 j・検出	隆線・磨消?・地文(RLR)	褐	-	[8.2]	-	
470	343	300	深鉢	II Z2 f・検出	沈線・地文(RL)	褐	(17.0)	[13.2]	-	
471	343	300	深鉢	II Z1 g・VI層相当	隆沈線・地文(RL)	褐	-	[11.4]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—中期—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載NoD	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
472	343	301	深鉢	II Z6a~6b・包含層、不明	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[29.6]	-	
473	344	301	深鉢	II Z3a・VII層、II Z6a・カクラン、II Z6a~6b・包含層	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[18.5]	12.6	底部網代痕
474	344	301	深鉢	SD401・A区・写真前の清掃	隆沈線	黒褐	-	[8.0]	-	
475	344	301	深鉢	SD401・A区・埋土下部	沈線・刺突列・地文(RL)	にぶい褐	-	[5.9]	-	
476	344	301	深鉢	SD401・A区・写真前の清掃	隆沈線・地文(LR)	褐	-	[4.9]	-	
477	344	301	深鉢	SD401・A北攪乱・埋土、A区・埋土上、中部	隆沈線・地文(RLR)	黄褐	-	[13.0]	-	
478	344	301	深鉢	西側堀3・包含層	沈線・磨消・地文(RL)	暗褐	(22.0)	[11.0]	-	
479	344	301	深鉢	SD402・F(北側)地すべり状地形・埋土	隆沈線・地文(RLR?)	にぶい褐	-	[6.4]	-	
480	344	301	深鉢	SD402・D区土橋付近・黒ボク土	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[6.5]	(7.4)	
481	344	301	深鉢	SD402・C面・埋土下部③	内面ヒレ状突起・沈線	にぶい橙	-	[4.6]	-	
482	344	301	深鉢	SD402・C西畦・埋土下部④、C西・埋土下部③	沈線・磨消(RLR)	にぶい橙	-	[8.1]	-	
483	344	301	深鉢	SP4735	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[7.2]	-	
484	344	301	深鉢	SD402・C西畦埋土下部③、SD482	ヒレ状突起・沈線・磨消・地文(RL)	赤褐	-	[7.2]	-	
485	344	301	深鉢	SD402・D区・南斜面～土橋貼付土	隆沈線・刺突列・地文(燃糸)	赤褐	-	[6.2]	-	
486	344	301	深鉢	SP4082	隆沈線・地文(LR)	暗褐	-	[3.9]	-	
487	344	301	深鉢	SP4211	地文(RL)	褐灰	-	[5.1]	13.1	底部網代痕

第5表 田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—早期末葉—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
488	345	302	深鉢	SI752・埋土	原体圧痕	にぶい赤褐	-	[5.3]	-	
489	345	302	深鉢	SI752・埋土	地文のみ(LR)	明赤褐	-	[8.2]	-	繊維多量
490	345	302	深鉢	SI752・埋土下部	原体圧痕・地文(LR)	灰黄褐	-	[7.2]	-	内面沈線
491	345	302	深鉢	SI752・埋土下部	原体圧痕・刺突・地文(LR)	黒褐	-	[7.3]	-	D564と同一個体 ←抹消候補
492	345	302	深鉢	SI752・埋土	地文のみ(LR)	灰黄褐	-	[4.6]	-	
493	345	302	深鉢	SI752・床直	地文のみ(LR)	にぶい橙	-	[4.4]	-	
494	345	302	深鉢	SI752・埋土	原体圧痕	にぶい赤褐	-	[4.8]	-	繊維微量
495	345	302	深鉢	SI752・埋土下部	原体圧痕	にぶい黄橙	-	[3.0]	-	
496	345	302	深鉢	SI752・埋土下部	原体圧痕・地文(LR)	にぶい褐	-	[4.5]	-	
497	345	302	深鉢	SI752・埋土	原体圧痕・地文(LR?)	にぶい黄褐	(32.5)	[18.2]	-	
498	345	302	深鉢	SI753・東西ベルト	地文(LR)	明褐	-	[10.1]	-	表裏縄文
499	345	302	深鉢	SI753・東西ベルト	原体圧痕・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[7.5]	-	
500	345	302	深鉢	SI753・東西ベルト	原体圧痕・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[7.4]	-	D501と同一個体
501	345	302	深鉢	SI753・東西ベルト	原体圧痕・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[13.4]	-	D500と同一個体
502	345	302	深鉢	SI753・埋土下層	原体圧痕・地文(LR)	暗褐	-	[7.8]	-	
503	345	302	深鉢	SI753・東端・埋土下層	原体刺突列付隆線・原体圧痕	灰黄褐	-	[4.6]	-	
504	345	302	深鉢	SI753・東端・埋土下層	地文(LR)	にぶい黄橙	-	[11.7]	-	表裏縄文
505	345	302	深鉢	SI753・東端・埋土下層	原体圧痕付隆線・地文(LR)	暗褐	-	[8.2]	-	表裏縄文・補修孔
506	346	303	深鉢	SI753・東端・埋土下層	原体圧痕付隆線・原体圧痕・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[12.6]	-	Na518と同一個体?
507	346	303	深鉢	SI753・埋土下層	地文のみ (LR)	橙	-	[7.6]	-	表裏縄文
508	346	303	深鉢	SI753・埋土下層	原体圧痕・地文(LR)	褐	-	[13.4]	-	外面スス 内面コゲ付着
509	346	303	深鉢	SI753・東西ベルト	原体圧痕付隆線・地文(LR)	明褐	-	[7.8]	-	表裏縄文
510	346	303	深鉢	SI753・南東・埋土上層	原体圧痕・地文(LR)	褐灰	-	[5.1]	-	
511	346	303	深鉢	SI753・南東・埋土下層	原体圧痕付隆線・原体圧痕・地文(LR)	にぶい黄橙	(30.2)	[34.9]	-	表裏縄文
512	346	303	深鉢	SI753・南東側・埋土下層	沈線?・地文(RL?)	にぶい黄橙	-	[7.1]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—早期末葉—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
513	346	303	深鉢	SI753・北東・埋土下層	原体圧痕付隆線・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[6.8]	-	
514	346	303	深鉢	SI753・東端・埋土上層	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[5.4]	-	
515	346	303	深鉢	SI753・南東・埋土上層	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[6.3]	-	
516	347	303	深鉢	SI753・東端・埋土下層	原体圧痕付隆線・ 地文(LR)	明褐色	-	[15.4]	-	表裏縄文
517	347	303	深鉢	SI753・検出面	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[10.4]	-	
518	347	304	深鉢	SI753・東端・埋土下層②	原体圧痕付隆線・ 原体圧痕・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[8.1]	-	D506と 同一個体?
519	347	304	深鉢	SI753・埋土下層	原体圧痕・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[7.1]	-	表裏縄文
520	347	304	深鉢	SI753・埋土下層	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[5.9]	-	繊維少量
521	347	304	深鉢	SI753・南北トレ・埋土下層(集中 部)	原体圧痕・ 地文(LR)	褐	-	[9.4]	-	
522	347	304	深鉢	SI753・東端・埋土下層、 埋土下層②・③、東西ベルト	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[12.5]	-	
523	347	304	深鉢	SI753・南東・埋土上層、 東端・埋土下層	原体圧痕付隆線・ 地文(LR)	にぶい黄褐	(28.7)	[21.3]	-	表裏縄文
524	347	304	深鉢	SI753・東端・埋土下層	原体圧痕・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[14.5]	-	表裏縄文
525	347	304	深鉢	SI753・南東・埋土上層	原体圧痕付隆線・ 地文(LR?)	黒褐	-	[3.8]	-	
526	347	304	深鉢	SI753・南西・埋土上層	地文(LR)	明褐	-	[5.6]	-	
527	348	304	深鉢	SI914・Q5・埋土下層、 Q5・埋土南側下層	絡条体圧痕付隆線・ 地文(RL)	にぶい黄褐	-	[5.6]	-	表裏縄文
528	348	304	深鉢	SI914・Q3・埋土下層	原体圧痕付隆線・ 地文(LR)	褐	-	[9.1]	-	表裏縄文
529	348	304	深鉢	SI914	地文のみ(LR)	明褐	-	[7.9]	-	表裏縄文
530	348	304	深鉢	SI914・Q3, Q4・埋土下層	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[7.1]	-	表裏縄文
531	348	305	深鉢	SI914・Q4・埋土下層、東西ベルト 内埋土	地文のみ(LR)	明褐	-	[8.0]	-	表裏縄文
532	348	305	深鉢	SI914・Q3・埋土下層	原体圧痕付隆線・ 地文(LR)	褐	(25.1)	[22.8]	-	補修孔あり。
533	348	305	深鉢	SI914・Q3・埋土下層	原体圧痕付隆線・ 地文(LR)	にぶい黄橙	-	[6.4]	-	表裏縄文
534	348	305	深鉢	SI914	地文のみ(LR)	黒褐	-	[5.7]	-	表裏縄文
535	348	305	深鉢	SI914・Q1・下層、Q3・埋土下層	地文のみ(LR)	褐	30.1	[20.4]	-	内面コゲ
536	348	305	深鉢	SI914・Q4・埋土下層	地文のみ(LR)	にぶい黄褐	-	[5.4]	-	表裏縄文
537	348	305	深鉢	SI914・Q3・埋土下層	地文のみ(LR)	にぶい褐	-	[5.1]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—早期末葉—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
538	349	305	深鉢	SI916・Q4・埋土上位	地文のみ(LR)	にぶい黄褐	-	[9.0]	-	表裏縄文
539	349	305	深鉢	SI916・Q4・埋土下位	原体圧痕付隆線・沈線・地文(LR)	暗褐	-	[6.0]	-	表裏縄文
540	349	305	深鉢	SI916・Q1・埋土上位	地文のみ(LR)	橙	-	[3.3]	-	
541	349	305	深鉢	SI916・3,4ブロック・埋土上位	地文のみ(LR)	灰黄褐	-	[5.0]	-	
542	349	305	深鉢	SI916・Q1・埋土上位	地文のみ(RL)	にぶい黄橙	-	[4.8]	-	
543	349	305	深鉢	SI916・1,2ブロック・埋土上位	地文のみ(LR)	明褐	-	[3.1]	-	
544	349	306	深鉢	SI916・Q3・埋土上位、埋土中	原体圧痕付隆線・地文(LR)	黒褐	(30.1)	[12.2]	-	補修孔
545	349	305	深鉢	SI916・Q1・埋土上位	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[5.2]	-	表裏縄文
546	349	306	深鉢	SI754・床直(トレンチ)、SI755・床直、検出面、南北トレンチ	地文のみ(LR)	褐	(29.3)	[19.0]	-	表裏縄文(局所)
547	349	306	深鉢	SI755・南北トレンチ	盛り上げに刻み・地文(LR)	橙	-	3.8	-	
548	349	306	深鉢	SI755・南北トレンチ	地文のみ(LR)	にぶい黄褐	-	6.1	-	
549	349	306	深鉢	SI901・埋土下層	原体圧痕付隆線・地文(RL)	にぶい黄橙	-	[5.4]	-	表裏縄文
550	349	306	深鉢	SI903・埋土	地文のみ(LR)	黒褐	-	[5.0]	-	
551	349	306	深鉢	SI903・Pit3内	地文のみ(不明)	にぶい黄橙	-	[6.9]	-	
552	349	306	深鉢	SI903・埋土	原体圧痕・地文(LR)	にぶい黄褐	-	[3.4]	-	表裏縄文
553	349	306	深鉢	SI753・埋土下層	かきよせ(上下)・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[12.0]	-	繊維微量混入
554	349	306	深鉢	SI912・Q3・埋土	原体圧痕	暗褐	-	[4.7]	-	
555	350	306	深鉢	SI756・埋土	原体圧痕・地文(LR)	褐	(30.5)	[13.1]	-	繊維少量
556	350	306	深鉢	SI756・埋土	地文のみ(LR)	褐	-	[3.9]	-	
557	350	306	深鉢	SI756・埋土	地文のみ(LR)	褐	-	[7.8]	-	
558	350	306	深鉢	SI756・埋土	原体圧痕・地文(LR)	褐	-	[5.3]	-	繊維少量
559	350	306	深鉢	SI756・埋土	原体圧痕・地文(LR)	暗褐	-	[4.8]	-	繊維少量
560	350	306	深鉢	SI756・埋土	原体圧痕列付隆線・地文(LR)	明褐	-	[10.8]	-	繊維やや多い。
561	350	307	深鉢	SI756・埋土、北西隅・埋土一括土器	原体圧痕・地文(RL)	褐	-	[16.9]	-	繊維少量
562	350	307	深鉢	SI756・埋土	原体圧痕・地文(LR)	褐	-	[8.7]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器 (D) 一覧—早期末葉—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
563	350	307	深鉢	SI756・埋土	地文のみ(LR)	橙	-	[16.6]	-	
564	350	307	深鉢	SI756・埋土下部	刺突列・地文(LR?)	黒褐	-	[12.5]	-	D491と同一個体
565	351	307	深鉢	SI756・埋土,北西隅・埋土,一括土器	地文のみ(LR)	にぶい赤褐	-	[19.6]	-	
566	351	307	深鉢	SF401・焼土下	条痕・原体圧痕・地文(LR)	褐	(31.5)	[35.3]	-	繊維含む。
567	351	307	深鉢	SK735・埋土	地文のみ(LR)	褐	-	[11.3]	-	繊維少量
568	351	307	深鉢	SK727・埋土	地文のみ(LR)	橙	-	[7.9]	-	繊維少量
569	351	307	深鉢	SK829・埋土	口縁端部刻み・地文(LR)	暗褐	-	[2.8]	-	繊維少量
570	351	307	深鉢	SK490・埋土	口縁端部原体圧痕、地文(LR)	褐	-	[3.8]	-	
571	351	307	深鉢	SK729・埋土	地文のみ(LR)	褐	-	[7.0]	-	繊維少量
572	351	308	深鉢	SK735・埋土	地文のみ(LR)	褐	-	[5.1]	-	表裏縄文
573	351	308	深鉢	II A7a・VII層	口縁内面に原体圧痕・地文(RL)	橙	-	[5.2]	-	表裏縄文
574	351	308	深鉢	II A7b?・VII層	原体圧痕・地文(RL)	にぶい黄橙	-	[6.0]	-	内面コゲ付着 表裏縄文・ 補修孔
575	351	308	深鉢	SK728・埋土	地文のみ(LR)	にぶい褐	-	[5.1]	-	
576	352	308	深鉢	II Z10 j・VIIc層	地文のみ(LR)	にぶい黄橙	-	[6.1]	-	内面コゲ付着 表裏縄文
577	352	308	深鉢	II A7a・VII層	原体圧痕	褐	-	[5.9]	-	
578	352	308	深鉢	II A7a・VII層	隆帯?・沈線・原体圧痕・地文(LR)	にぶい橙	-	[7.6]	-	表裏縄文
579	352	308	深鉢	II Z10 j・VIIc層	原体圧痕・地文(末端LR)	にぶい黄橙	-	[11.8]	-	
580	352	308	深鉢	II A6 c・VII層	地文のみ(LR)	灰黄褐	-	[3.6]	-	繊維少量
581	352	308	深鉢	II A7b・VII層	地文のみ(LR)	灰褐	-	[2.8]	-	
582	352	308	深鉢	II Z7h・VII層(地山直上層)	地文のみ(LR)	暗褐	-	[12.7]	-	
583	352	308	深鉢	II A6 c・VII層	口縁部に刻み・地文(LR)	暗褐	-	[6.0]	-	繊維少量
584	352	308	深鉢	II A6a・攪乱	口縁部に原体圧痕・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[6.9]	-	繊維少量
585	352	308	深鉢	II A6 b・VII層	口縁部に刻み・地文(LR)	にぶい橙	-	[4.6]	-	
586	352	308	深鉢	II A4b・VII層	絡条体圧痕・隆帯・地文(非結束LR)	褐灰	-	[6.0]	-	
587	352	308	深鉢	堀土橋付近・VII層上面	原体圧痕・地文(LR)	褐灰	-	[3.8]	-	

田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器（D）一覧—早期末葉—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
588	352	308	深鉢	II Y 5 i・VII層	口縁部原体圧痕・ 地文(LR?)	褐	-	[10.7]	-	繊維多量
589	352	308	深鉢	III Z 1 i・VII層	地文のみ(RL?)	にぶい黄橙	-	[8.6]	-	繊維多量 前期初頭?
590	352	308	深鉢	II A 6 e・VII層	隆帯・地文(LR)	にぶい黄橙	-	[9.4]	-	
591	352	308	深鉢	II Y 5 i・VII層	原体圧痕・ 地文(RL)	にぶい褐	-	[6.8]	-	
592	352	308	深鉢	II A 6 c・VIIc層	原体圧痕付隆帯・ 地文 (LR)	暗褐	-	[4.9]	-	繊維微量
593	352	308	深鉢	II Z 8 h・VII層	地文のみ(RL)	明黄褐	-	[5.4]	-	繊維少量
594	352	308	深鉢	I A-4・VII層	地文のみ (LR?)	褐	-	[4.7]	-	繊維混入 前期初頭～前葉
595	352	308	深鉢	II A 7 c・VII層	地文のみ(不明)	にぶい橙	-	[6.3]	-	

第6表 田鎖車堂前遺跡掲載縄文土器(D) 一覧—早期中葉—

(復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.D	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	おもな文様	色調	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	底径	
596	353	309	深鉢	SI802・pp10	貝殻・沈線文	浅鉢黄橙	-	[4.5]	-	
597	353	309	深鉢	SI753・南東側・埋土下層	貝殻・沈線・刺突列	にぶい黄橙	-	[6.8]	-	
598	353	309	深鉢	SI916・3,4ブロック・埋土上位	貝殻・沈線	にぶい黄橙	-	[5.1]	-	
599	353	309	深鉢	SI489	貝殻・沈線文	にぶい黄橙	-	[2.7]	-	
600	353	309	深鉢	SI903・埋土	無文	橙	-	[5.4]	-	
601	353	309	深鉢	SI494・埋土	貝殻・沈線文	にぶい黄橙	-	[5.1]	-	
602	353	309	深鉢	SI904・埋土	沈線・刺突	橙	-	[4.0]	-	
603	353	309	深鉢	SK833・埋土	貝殻・沈線	にぶい黄橙	-	[3.6]	-	
604	353	309	深鉢	SI489・埋土	貝殻・沈線文	にぶい橙	-	[3.7]	-	
605	353	309	深鉢	SK827・埋土	貝殻・沈線・刺突	にぶい黄褐	-	[4.7]	-	
606	353	309	深鉢	II A7c・VII層	沈線・刺突	橙	-	[3.5]	-	
607	353	309	深鉢	SK476・埋土	貝殻・沈線・刺突	灰黄褐	-	[4.2]	-	
608	353	309	深鉢	SX900・(II A8a)石範囲内	貝殻・沈線・刺突	褐	-	[4.2]	-	
609	353	309	深鉢	II Y 5 i・VII層	貝殻	橙	-	[6.0]	-	
610	353	309	深鉢	II A6a・VII層	貝殻・沈線	にぶい橙	-	[3.4]	-	
611	353	309	深鉢	II A7b・VII層	沈線	にぶい黄橙	-	[4.2]	-	
612	353	309	深鉢	II Z7a・VII層	貝殻・沈線・刺突	褐灰	-	[4.4]	-	
613	353	309	深鉢	II A7a~7b・VII層	貝殻・沈線・刺突	橙	-	[5.1]	-	
614	353	309	深鉢	II A5b・VII層	貝殻・沈線・刺突	褐灰	-	[4.4]	-	
615	353	309	深鉢	II A7b・VII層	貝殻・沈線・刺突	にぶい黄橙	-	[5.9]	-	
616	353	309	深鉢	IZ10h・VI層	貝殻・沈線文	にぶい黄橙	-	[4.3]	-	
617	353	309	深鉢	II Y 5 i・VII層	貝殻・沈線・刺突	にぶい黄橙	-	[4.3]	-	

第7表 田鎖車堂前遺跡掲載磁器（E）一覧

掲載No.E	図版	写真図版	種別	器種	産地（窯）	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
1	195	188	青磁	碗	龍泉窯系	SP4264・埋土	外面連弁文	13世紀
2a	195	188	青磁	碗	龍泉窯系	SI438・埋土上層、堀1・西C区検出面	外面連弁文	13世紀
2b	195	188	青磁	碗	龍泉窯系	堀1・西C区・検出面		13世紀
3	195	188	白青磁	碗	中国	III C6g・包含層		13世紀
4	195	188	染付	碗	肥前	表土		17世紀
5	199	188	青白磁	皿	景德鎮	堀1・東C区・埋土下層	極薄で外反する口縁	口縁部輪花形？
6	199	188	白磁	碗	福建	II B10d～f・検出面	内面に平行沈線2条	
7	199	188	白磁	碗	福建	北東側表土～検出面	見込みに沈線	
8	199	188	白磁	碗	福建	堀1・東・埋土	見込み釉掻き取り？	
9	199	189	白磁	碗	福建	溝1・ベルト・北東埋土最下層	見込みに沈線	
10	199	189	白磁	碗	福建	溝1・ベルト・埋土最下層		太宰府編年II類
11	199	189	白磁	碗	福建	北東側表土～検出面	見込み釉掻き取り	
12	199	189	白磁	四耳壺	福建	堀1・東・埋土上層		
13	199	189	白磁	四耳壺？	福建	III B2a・表土		
14	199	189	白磁	壺	福建	堀1・東・埋土		
15	199	189	白磁	壺	福建	SD601・流末埋土	内面大半無釉	
16	199	189	青磁	盤	龍泉窯系	SD402・D区西・土橋～南斜面貼付土	劃花文	
17	199	189	青磁	碗	同安窯系	堀1・西F区・埋土上層	櫛目文？	
18	199	189	青磁	碗	龍泉窯系	SI208・埋土中位	劃花文	
19	199	189	青磁	碗	龍泉窯系	区画溝1・南側・埋土最上層	劃花文	
20	199	189	青磁	碗	龍泉窯系	II B10e・検出面	劃花文	
21	199	189	青白磁	碗	龍泉窯系	II Y4d・西側低地帯・III層	劃花文	
22	199	189	青磁	碗	同安窯系	II B10d～f検出面	見込みに段	
23	199	189	青磁	水瓶？	龍泉窯系	III B攪乱	見込みに工具調整痕	

第8表 田鎖車堂前遺跡掲載陶器（F）一覧

掲載No.F	図版	写真図版	器種	産地（窯）	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
1	195	188	鉢	伊豆沼	SI422・埋土		14世紀?
2	195	188	鉢	伊豆沼	SI206~205・埋土上層		14世紀?
3	195	188	鉢	伊豆沼	北東隅検出		14世紀?
4	195	188	鉢	伊豆沼	II Z2h~3h・検出		14世紀?
5	199	190	鉢	常滑	調査区南側・トレンチB	内面自然釉	
6	199	190	鉢	常滑	SI301・埋土上層		
7	199	190	鉢	常滑	竪穴建物1（SI208）	下端回転ヘラケズリ	
8	199	190	鉢	常滑	堀1（SD207）・埋土最上層		
9	199	190	鉢	常滑	西側低地帯・II Y 5 d・III層	下半回転ヘラケズリ	
10	199	190	鉢	常滑	堀1（SD402A）・埋土上層	下半回転ヘラケズリ	
11	199	190	鉢	常滑	堀1（SD402B）・埋土		13c初頭?
12	199	190	鉢	渥美	II A 4 g~6 j・検出面		渥美最新段階?
13	200	190	壺	渥美	堀1（SD207A）・埋土上層		F14~17と同一個体?
14	200	190	壺	渥美	堀1（SD207）・埋土上層		F13・15~17と同一個体?
15	200	190	壺	渥美	堀1（SD207A）・埋土下層		F13・14・16・17と同一個体?
16	200	190	壺	渥美	堀1（SD402F）・埋土上層		F13~15・17と同一個体?
17	200	190	壺	渥美	堀1（SD402F）・埋土上層		F13~16と同一個体?
18	200	190	壺	常滑	III C6c~8e・中世包含層	線刻文?	二筋または三筋文壺。F19・20と同一個体?
19	200	190	壺	常滑	14年度南西区トレンチ（1面）	線刻文	二筋または三筋文壺。F18・20と同一個体?
20	200	190	壺	常滑	SD215・南端・埋土	線刻文?	二筋または三筋文壺。F18・19と同一個体?
21	200	190	壺	渥美	堀1（SD402F）・埋土最上層	線刻文	袈裟襷文の可能性あり。
22	200	190	壺	常滑	溝1・埋土中位	線刻文	三筋文壺。F23と同一個体?
23	200	190	壺	常滑	溝1・埋土上層	線刻文	三筋文壺。F22と同一個体?
24	200	190	壺	渥美	堀2（SD301）・北端・埋土上層	線刻文?	刻画文陶器?
25	200	190	壺	渥美	竪穴建物1（SI208）・埋土中位	線刻文?	刻画文陶器? F26・27と同一個体?

田鎖車堂前遺跡掲載陶器 (F) 一覧

掲載No.F	図版	写真図版	器種	産地 (窯)	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
26	200	190	壺	渥美	堀 1 (SD402E) ・埋土上層	無文・自然釉	F25. 27と同一個体?
27	200	190	壺	渥美	堀 1 (SD402E) ・埋土上層	無文・自然釉	F25. 26と同一個体?
28	200	190	甕	水沼	SI454 ・埋土	肩部に降灰	
29	200	190	甕	水沼	堀 1 ・埋土中位	格子目押印	破断面赤褐色、表面光沢のある黒色。
30	200	190	甕	渥美	II A6~8j ・包含層	格子目押印	内外面・破面に磨面。
31	200	190	甕	渥美	堀 1 (SD402D) ・埋土下層		内面に磨面。
32	200	190	甕	渥美	SK451 ・埋土	格子目押印	
33	201	190	甕	渥美	SI441 ・カマド付近	格子目押印	F34~37と同一個体?
34	201	190	甕	渥美	堀 1 (SD207A) ・埋土上層	格子目押印	F33・35~37と同一個体?
35	201	191	甕	渥美	II A1~2c ・検出面		F33・34・36・37と同一個体?
36	201	191	甕	渥美	表土		F33~35・37と同一個体?
37	201	191	甕	渥美	SI423 ・埋土		F33~36と同一個体?
38	201	191	甕	渥美	堀 1 (SD05) ・埋土中位	格子目押印	F39と同一個体?
39	201	191	甕	渥美	北東隅検出		F38と同一個体?
40	201	191	甕	渥美	堀 1 (SD207B) ・埋土上層	格子目押印	F41~43と同一個体?
41	201	191	甕	渥美	堀 1 (SD207) ・埋土中位	格子目押印	F40・42・43と同一個体?
42	201	191	甕	渥美	堀 1 (SD402D・SD207A) ・埋土下層	格子目押印	F40・41・43と同一個体?
43	201	191	甕	渥美	堀 1 (SD207) ・埋土上層		F40~42と同一個体?
44	201	191	甕	渥美	井戸 1 ・埋土中位	格子目押印	F45と同一個体?
45	201	191	甕	渥美	井戸 1 ・埋土上層		F44と同一個体?
46	201	191	甕	渥美	III B ・西側・III 層	格子目押印	
47	201	191	甕	渥美	堀 1 (SD402E) ・埋土上層		
48	201	191	甕	渥美	竪穴建物 1 (SI208) ・埋土中位		
49	201	191	甕	渥美	II A表土・攪乱		
50	201	191	甕	渥美	II A表土・攪乱		

田鎖車堂前遺跡掲載陶器 (F) 一覧

掲載No.F	図版	写真図版	器種	産地 (窯)	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
51	201	191	甕	渥美	堀1 (SD207C)・埋土中～上層		
52	201	191	甕	常滑	II B5d～6e・包含層	押印	
53	202	191	甕	常滑	SD02・埋土		体部下端～底部片。
54	202	191	甕	常滑	井戸1・埋土中位		内外面に磨面。
55	202	191	甕	常滑	堀1 (SD402C)・埋土上層	格子目押印	F56・57と同一個体?
56	202	191	甕	常滑	SI803・北の攪乱	格子目押印	F55・57と同一個体?
57	202	191	甕	常滑	堀1 (SD402D)・埋土上層	格子目押印	F55・56と同一個体?
58	202	191	甕	常滑	堀1 (SD402E)・埋土	格子目押印	F59と同一個体?
59	202	191	甕	常滑	SI202・床面	格子目押印	F58と同一個体?
60	202	192	甕	常滑	II A・表土・攪乱	格子目押印	水沼産の可能性あり。
61	202	192	甕	常滑	SD215・埋土下層	格子目押印	渥美産の可能性あり。
62	202	192	甕	常滑	堀1 (SD207)・埋土		
63	202	192	甕	常滑	堀2 (SD301)・埋土		肩～頸部片。
64	202	192	甕	常滑	SD04・埋土		
65	202	192	甕	常滑	道路下T14脇・第2面		
66	202	192	甕	常滑	近世包含層		
67	202	192	甕	常滑	堀1 (SD207)・埋土下層		
68	202	192	甕	常滑	堀2 SD401A・埋土中, 下部		
69	202	192	甕	常滑	残土		
70	203	192	甕	常滑	SD401・A区北岸・攪乱層		
71	203	192	甕	常滑	堀1 (SD402E)・埋土下層		
72	203	192	甕	常滑	堀1 (SD402D)・東・埋土		
73	203	192	甕	常滑	SI464・埋土		
74	203	192	甕	常滑	SD401・A区・埋土上, 中部		
75	203	192	甕	常滑	SD402・E区南斜面・貼付土～埋土下部		

田鎖車堂前遺跡掲載陶器（F）一覧

掲載No.F	図版	写真図版	器種	産地（窯）	出土遺構・位置・層位	文様等特徴	備考
76	203	192	甕	常滑	SK705		
77	203	192	甕	常滑	SI476・埋土		
78	203	192	甕	常滑	II Y4d・III層		内面に磨面。
79	203	192	甕	常滑	堀1（SD402F）・埋土最上層		
80	203	192	甕	常滑	SD401		
81	203	192	甕	常滑	SD401・埋土下部		
82	203	192	甕	常滑	堀1（SD402E）・埋土		
83	203	192	甕	常滑	SI704・北側検出面		

第9表 田鎖車堂前遺跡掲載金属製品 (G) 一覧

[残存値]・その他最大値

掲載No.G	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
1	204	193	鉄製小札	溝1・埋土最下層	[8.5]	4.4	0.3	36.29	平面図あり
2	204	193	鉄製小札	溝1・埋土上層	8.4	4.6	0.2	29.38	折り曲げ (仮2-A)
3	204	193	鉄製小札	溝1・埋土上層	8.3	4.3	0.2	28.34	折り曲げ
4	204	193	鉄製小札	溝1・ベルト南東側・埋土中位	7.7	4.5	0.3	34.86	折り曲げ
5	204	193	鉄製小札	溝1・最下層	8.5	4.5	0.3	30.12	平面図あり, 表面に有機質
6	204	193	鉄製小札	溝1・埋土下層	8.6	4.3	0.3	30.36	表面に有機質
7	204	194	鉄製小札	溝1・検出面	[4.3]	4.2	0.2	14.96	表面に有機質
8	205	193	鉄製小札	溝1・最下層	8.6	4.5	0.2	32.47	平面図あり, 切り刻み
9	205	193	鉄製小札	溝1・底石・直上	[8.5]	4.1	0.3	21.95	平面図あり, 表面に有機質
10	205	194	鉄製小札	溝1・埋土1~2層	8.7	4.3	0.2	27.7	
11	205	194	鉄製小札	溝1・埋土	[7.9]	4.3	0.3	41.53	表面に有機質
12	205	194	鉄製小札	溝1・埋土	[5.1]	4.5	0.2	20.29	表面に有機質
13a	205	194	鉄製小札	溝1・埋土	[4.1]	[3.2]	0.2	13.88	2個体
13b	205	194	鉄製小札	溝1・埋土	[5.5]	4.2	0.2	14.11	2個体
14	205	194	鉄製小札	溝1・埋土上層	[6.5]	4.3	0.2	21.75	表面に有機質
15	206	194	鉄鏃	溝1・埋土上層	[9.3]	2.2	0.9	15.34	
16	206	194	鉄製銜	溝1・埋土1~2層	9.6	1.8	0.5	13.65	
17	206	194	鉄製弓削刀子	SD01・2層	12.50	3.7	0.9	20.41	
18	206	194	鉄製和鋏	溝1・埋土1~2層	13.1	1.9	0.4	34.10	
19	206	195	鉄製毛抜	溝1・埋土上層	8.6	1.1	0.6	12.06	
20	206	195	鉄製火打金	井戸1・埋土下層 (黒色土)	2.8	7.7	0.5	40.24	
21	206	195	鉄製短剣?	溝1・埋土	[9.6]	[2.4]	0.5	19.13	両刃
22	206	195	鉄製刀子	溝1・埋土上層	[11.75]	1.95	0.55	17.84	
23	206	195	馬具?	溝1・1~2層	5.6	1.9	1.1	10.25	鍔の吊金具?
24	206	195	鈎	溝1・1~2層	7.8	3.7	1.2	20.79	逆刺無し

田鎖車堂前遺跡掲載金属製品 (G) 一覧

[残存値]・その他最大値

掲載No.G	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
25	206	195	半月状不明鉄製品	溝1・埋土上層	7.4	4.2	0.2	29.19	
26	206	195	手鎌	溝1・ベルト南東側・埋土中位	[9.2]	[2.0]	1.0	21.30	
27	206	195	不明	溝1・埋土	[5.8]	[2.8]	[1.0]	4.26	棒状
28	207	195	鉄鍋	井戸1・埋土上層	[10.7]	[10.2]	0.5	206.72	
29	207	196	刀装具 口金具?	堀1・埋土中～下部	3.6	2.5	1.15	10.14	口金具?
30	207	196	鋤先	溝1・埋土	[9.1]	[2.1]	0.9	18.90	
31	207	196	紡錘車	溝1・埋土	4.3	[4.35]	1.2	17.40	
32	207	196	銅製釘隠	検出面	[4.9]	[7.45]	0.75	8.06	
33	207	196	馬鍬	SI208・No.1	22.4	2.6	1.5	174.39	馬鍬状
34	208	196	短刀(腰刀)	不明	31.0	4.2	2.1	262.24	
35	277	251	刀子	SI403・床面直上	24.5	1.7	0.9	38.68	
36	277	251	小刀?	検出面	[22.15]	3.55	2.6	101.30	
37	277	251	刀子	SI431・No.1	[18.55]	[1.75]	[1.15]	25.60	
38	277	251	刀子	SI204・No.2・埋土	[15.2]	1.8	1.5	26.80	折れ
39	277	251	刀子	SI204・床着(焼土化面)	[11.45]	1.7	0.75	17.85	折れ
40	277	251	刀子	SI201・埋土中位層	[15.1]	[2.4]	[1.2]	49.63	折れ
41	277	251	刀子	SI01・埋土下層	21.2	2.2	1.2	57.58	
42	278	252	小刀?	北中央・検出	[6.8]	[2.2]	0.8	19.60	
43	278	252	小刀?	北中央・検出	[5.7]	2.6	1.7	18.17	
44	278	252	刀子?	SI459・埋土	12.5	1.6	1.0	16.90	
45	278	252	刀子	SI454	[11.8]	[2.6]	0.9	29.40	G79と一緒に入っていたもの
46	278	252	刀子?	SI701・埋土最上層	[6.75]	1.6	1.05	8.90	
47	278	252	刀子?	SK202・埋土上層	[5.3]	2.4	1.25	10.30	
48	278	252	馬鍬	SX201・No.1・底面	31.75	4.15	1.95	258.63	馬鍬状
49	278	252	太刀?	SX201・No.3・底面	34.6	6.7	3.0	401.08	

田鎖車堂前遺跡掲載金属製品 (G) 一覧

[残存値]・その他最大値

掲載No.G	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
50	278	252	鍔吊金具	SI202・床面	[2.8]	3.0	2.1	10.71	
51	279	253	太刀	SK718・埋土最下層 (4層)	[55.7] [11.2]	6.4 5.75	3.25 2.55	810.7 194.4	2個体
52	279	253	刀装具鐔	SI438・埋土上位	6.4	2.9	0.7	24.30	鐔
53	279	253	刀装具鐔	SI478・埋土	7.2	4.0	0.9	46.23	鐔
54	279	253	刀装具鐔	SI451・埋土	6.0	2.4	0.8	18.6	鐔
55	279	253	刀装具鐔	SF401・埋土	3.9	2.2	0.15	3.42	鐔、銅製?
56	279	253	刀装具(柄尻)	SK17・埋土	[4.3]	3.6	3.1	37.56	
57	280	254	鎌	SI501・南西・埋土下層	[7.6]	1.9	0.65	7.97	
58	280	254	鎌	SI439・埋土	[5.1]	1.8	0.5	3.26	鎌身
59	280	254	鎌	IIY4e・T1とT6の間・III層	7.75	3.4	1.0	22.69	
60	280	254	鎌	SI203・北側・確認面	[5.0]	[3.35]	0.35	5.36	無茎単孔式五角形鎌
61	280	254	鉄鎌	SB01・SP306	[2.9]	[2.9]	[0.4]	3.86	鎌身
62	280	254	鉄鎌	SI454・検出面～10cm下	[7.7]	[4.0]	1.0	23.69	
63	280	254	鉄鎌	SI203・No.3・床面	[5.7]	[3.2]	0.55	9.11	鎌身
64	280	254	鎌	調査区南側・表土～検出面	[3.4]	[2.9]	0.6	6.33	
65	280	254	鎌?	III区・検出面	[5.65]	[3.0]	0.7	10.60	鎌身
66	280	254	鎌	SI201・カマド内	[6.6]	[3.2]	0.5	10.37	鎌身?
67	280	254	鉄鎌	SI708・トレンチ	[5.5]	[2.65]	0.7	7.92	折れ
68	280	254	鉄鎌	SI213・埋土下層	[5.4]	[2.7]	0.6	9.91	
69	280	254	鉄鎌	SI702・埋土最上層	[6.95]	[3.55]	0.7	12.06	鎌身、割れ
70	280	254	鉄鎌	SX201・周辺・検出面	[5.9]	[3.0]	0.6	8.87	鎌身
71	280	254	鉄鎌	SI481・埋土一括	[6.3]	[2.8]	1.0	14.82	鎌身
72	280	254	鉄鎌	SK408・埋土	[6.4]	[3.9]	1.3	13.56	
73	281	255	鉄鎌	SI11・中央・床面直上	11.8	4.0	2.4	26.41	先端部二又状
74	281	255	鎌	道路北・表土	[8.3]	[0.9]	0.7	11.26	鎌身無し

田鎖車堂前遺跡掲載金属製品 (G) 一覧

[残存値]・その他最大値

掲載No.G	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
75	281	255	鎌?	SI458・埋土	[7.6]	1.0	0.8	5.80	
76	281	255	鋤先	調査区北端ライン・表土～検出面	[8.5]	3.2	1.3	45.80	
77	281	255	鋤先?	SX201・北溝・上層	[10.2]	[10.4]	1.5	75.10	折れ
78	281	255	鋤先	東側・表土～検出面	14.5	17.0	2.2	268.38	
79	281	255	鋤先	II A7g～10h・検出面	[16.0]	4.0	1.3	84.10	G45と一緒に入っていたもの
80	281	255	鋤先	SX201・底面 No.2	16.4	19.0	2.0	402.70	
81	282	256	鎌	SI445・埋土下層	[9.5]	3.1	0.8	33.94	
82	282	256	鎌	SI403・床面直上	19.6	4.2	0.8	135.46	
83	282	256	鎌	SI418・床直	[9.5]	7.05	0.9	76.72	
84	282	256	鎌	SI460・埋土	[12.4]	3.0	0.8	34.99	
85	282	256	鎌	SI507・(北西)集中部・埋土下層	[9.5]	3.2	1.2	32.60	
86	282	256	鎌?	SI202・床上	[4.7]	3.1	0.7	14.40	板状
87	282	256	手鎌	SI461・埋土	9.4	0.1	1.2	16.94	
88	282	256	手鎌	SD301・埋土	[5.7]	3.0	1.1	17.77	
89	282	256	手鎌	SI701・ベルト	[5.4]	1.9	1.2	6.06	
90	282	256	鈎	SI413・埋土	6.1	3.4	1.3	13.56	
91	283	256	鉸具	SI202・最上層	4.6	4.85	1.5	39.19	
92	283	256	不明	SD208・埋土	3.5	3.5	1.5	15.15	礫状
93	283	256	不明	SI202・中位	5.2	5.7	1.2	29.08	板状
94	283	256	紡錘車	残土表探	[4.6]	4.65	[1.2]	16.70	
95	283	257	紡錘車	メインベルト南東・検出面	[4.85]	[5.0]	[1.5]	36.57	
96	283	257	紡錘車	SI461・南西・埋土中位	23.1	6.0	1.1	68.77	
97	283	257	紡錘車	表土～検出面	[4.9]	5.2	0.95	32.88	
98	283	257	紡錘車	SP526・埋土	[4.7]	[4.55]	[0.9]	17.00	板状
99	283	257	鈍	SI201・埋土中位層	[6.0]	2.1	0.7	11.29	

田鎖車堂前遺跡掲載金属製品 (G) 一覧

[残存値]・その他最大値

掲載No.G	図版	写真図版	器種	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
100	283	257	不明	SI803・Q3・床直	8.8	2.1	1.4	28.9	鉛釘状
101	283	257	鉤	SI470・埋土	12.0	8.5	1.5	86.65	逆刺あり
102	284	257	銅椀	SI427・埋土下位	(口径) [21.4]	(器高) [5.3]	(底径) -	40.98	
103	284	258	不明	SX406・ベルトA-A'・1層	6.2	[5.3]	1.2	42.62	平板状
104	284	258	錫杖形鉄製品	SI429 No.1	2.35	0.85	0.5	0.82	小鉄鐸あり
105	284	258	錫杖形鉄製品	SI429 No.1	2.85	1.65	1.9	5.98	小鉄鐸あり
106	284	258	小鉄鐸	SI429・埋土	3.6	1.9	0.55	10.24	錫杖形鉄製品付属?
107	284	258	小鉄鐸	SI439・埋土	2.8	1.8	0.45	7.68	錫杖形鉄製品付属?
108	284	258	錫杖形鉄製品	SI429 No.1	[21.1]	[4.25]	4.0	69.21	小鉄鐸あり
109	284	258	錫杖形鉄製品	II Y7e・II層	[21.45]	2.9	0.7	65.08	

第10表 田鎖車堂前遺跡掲載石製品（H）一覧—古墳時代以降— [残存値]・その他最大値

掲載No.H	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
1	195	188	温石	SX406・西半・埋土	10.1	8.4	2.0	294.0	出雲花仙山産 (古墳時代)
2	285	245	管玉	SK202・埋土	2.95	1.2	1.2	7.5	石川県川松市産? (弥生時代中期)
3	285	245	管玉	SD201・埋土下層	2.35	0.7	1.2	1.8	関東? (古墳時代前期)
4	285	245	管玉	SI726・埋土	2.6	0.55	0.6	1.4	
5	285	245	紡錘車	SI205・No.5	4.45	4.3	2.35	74.9	
6	287	248	砥石	SI110・北西・埋土下層	[10.3]	[6.2]	[2.6]	212.3	
7	287	248	砥石	SI507・北東・埋土下層	[9.7]	5.8	[5.2]	347.8	
8	287	248	砥石	SI204・カマド上	[15.0]	[5.9]	[5.0]	757.8	
9	287	248	砥石	SI403・貼床下土坑	[14.8]	[4.8]	1.8	192.5	
10	287	248	砥石	SI403・貼床下土坑	[8.85]	6.5	2.0	131.6	
11	287	248	砥石	SI403・カマド直上	[9.0]	[7.6]	3.4	345.9	
12	287	248	砥石	SI420・埋土	[12.9]	[5.7]	5.2	516.1	
13	287	248	砥石	SI421・P1・埋土	[11.1]	[5.7]	[4.5]	267.2	
14	287	248	砥石	SI439・埋土	[5.3]	[6.5]	(4.2)	123.2	
15	287	248	砥石	SI439・埋土	[10.2]	[6.0]	3.1	274.4	
16	287	248	砥石	SI442・埋土	[7.3]	[10.2]	6.1	710.2	
17	287	248	砥石	SI444・埋土上層	23.2	5.0	3.4	335.3	
18	287	248	砥石	SI445・床直	[9.3]	[6.1]	3.2	185.6	
19	287	248	砥石	SI450・埋土	[7.7]	[5.8]	3.0	176.3	
20	287	248	砥石	SI456・埋土	[9.75]	7.95	3.0	263.0	
21	288	249	砥石	SI461・埋土下位	[13.3]	[5.2]	3.4	298.9	
22	288	249	砥石	SI714・埋土	[6.6]	[5.7]	[2.8]	131.8	
23	288	249	砥石	SI739・P01・埋土	[8.4]	[4.3]	3.55	188.1	
24	288	249	砥石	SI739・P01・埋土	[9.0]	[5.9]	3.5	225.8	
25	288	249	砥石	SI805・掘方埋土	[19.8]	14.8	4.6	1693.9	

田鎖車堂前遺跡掲載石製品 (H) 一覧—古墳時代以降—

[残存値]・その他最大値

掲載No.H	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
26	288	249	砥石	SK418・埋土	19.7	[7.9]	5.7	1268.9	
27	288	249	砥石	SK418・埋土	[8.6]	[7.6]	6.2	482.4	
28	288	249	砥石	SX201・北溝部上・上層	[6.9]	[4.6]	1.4	61.8	
29	288	249	砥石	SB01-P306	[8.4]	[3.0]	[0.8]	34.9	
30	288	250	砥石	堀埋土	[7.8]	[4.55]	[1.9]	112.6	
31	288	250	砥石	SD207・堀・埋土	[2.5]	3.3	3.2	34.9	
32	288	250	砥石	SD402・2F・埋土最上層	[9.7]	[5.1]	3.0	200.9	
33	288	250	砥石	SD402・F区	[6.0]	[6.0]	[4.3]	142.2	
34	289	250	砥石	SP4723・埋土	[10.7]	6.2	3.6	308.8	
35	289	250	砥石	III B3h~5i・検出面	[8.1]	[8.2]	[3.0]	235.1	
36	289	250	砥石	西半・検出面	[11.75]	[4.7]	[3.0]	161.4	
37	289	250	砥石	北端・表土~検出面	20.75	14.85	3.4	1630.6	
38	289	250	砥石	道路北・表土	[7.4]	[4.1]	2.0	62.4	
39	289	250	砥石	道路北・表土	[8.8]	4.8	2.2	100.8	
40	289	250	砥石	堀1・西辺・攪乱	[10.4]	[5.9]	4.9	385.4	
41	289	250	砥石	SI715の東・攪乱	[17.7]	[8.3]	3.4	662.5	

田鎖車堂前遺跡掲載石製品 (H) 一覧—縄文時代—

[残存値]・その他最大値

掲載No.H	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
42	356	312	勾玉	SI482・埋土	2.5	1.6	0.5	2.1	滑石製
43	356	312	装飾具	SK804・東半・埋土上位	[2.6]	[1.2]	[0.9]	2.9	
44	356	312	石剣	SD402・C西・埋土下部③	[9.4]	[2.9]	[0.9]	29.2	滑石製
45	356	312	垂飾具	SI474・埋土	[5.4]	1.95	[1.1]	16	デイサイト
46	356	312	垂飾具	SI822・上層	[3.8]	[3.65]	[1.35]	20.6	
47	356	312	石棒	II Y6e・検出面	[12.6]	1.6	1.2	47.7	
48	356	312	石棒	SI462・P1	[28.5]	[11.45]	[9.2]	4447.6	22kg
49	357	313	石柱	SX922・構成石	77.0	14.40	11.1	22000	

第12表 田鎖車堂前遺跡掲載銭貨（I）一覧

[残存値]・その他最大値

*（ ）内は初鋳年

掲載No.I	図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
				長さ	幅	厚さ		
1	195	開元通寶	SP5200・埋土上層	2.4	2.4	0.15	4.3	唐 (621)
2	195	開元通寶	SP515・埋土	2.4	2.4	0.1	2.5	唐 (621)
3	195	開元通寶	SP515・埋土	2.4	2.4	0.1	2.5	唐 (621)
4	195	景德元寶	損壊部・堀外検出面	2.2	2.4	0.1	1.7	北宋 (1004)
5	195	祥符元寶	II B 10c・攪乱	2.4	2.4	0.1	2.9	北宋 (1009)
6	195	天聖元寶	SD402	2.5	2.5	0.1	2.7	北宋 (1023)
7	196	景祐元寶	SI01・埋土上層	2.5	2.5	0.1	2.9	北宋 (1034)
8	196	皇宋通寶	SD401・B地区・埋土上位	[2.1]	[1.4]	0.05	0.4	北宋 (1038)
9	196	皇宋通寶	SP5105・埋土上層	2.4	2.4	0.1	2.4	北宋 (1038)
10	196	治平元寶	SD207・堀・埋土上層	2.4	2.4	0.1	1.6	北宋 (1064)
11	196	治平元寶	SK301	2.4	2.4	0.1	1.7	北宋 (1064)
12	196	治平元寶	SP587・埋土	2.4	2.4	0.15	3.3	北宋 (1064)
13	196	熙寧元寶	SK429・埋土	2.5	2.5	0.1	3.2	北宋 (1068)
14	196	熙寧元寶	SP526・掘方埋土	[2.4]	2.5	0.1	1.9	北宋 (1068)
15	196	□□元寶	SP510・掘方埋土下層	[1.0]	[2.1]	0.1	0.8	北宋「治平」か「熙寧」?
16	196	元豊通寶	SD601・埋土	2.4	2.4	0.1	1.7	北宋 (1078)
17	196	元豊通寶	SD402C・西壁・埋土上層	2.4	2.4	0.1	2.6	北宋 (1078)
18	196	元祐通寶	東側土捨場付近・検出面	2.3	2.3	0.1	1.5	北宋 (1086)
19	197	元祐通寶	SD201 (損壊部)	[2.4]	2.5	0.1	2.1	北宋 (1086)
20	197	紹聖元寶	検出面	1.4	1.4	0.05	1.9	北宋 (1094)
21	197	紹聖元寶	SP515・埋土	[2.2]	[1.9]	0.1	1.2	北宋 (1094)
22	197	元符通寶	SK429・埋土	2.4	2.5	0.1	2.9	北宋 (1098)
23	197	聖宋元寶	SI01・西側土坑	-	-	-	[5.4]	北宋 (1101), 2枚重ね
24	197	聖宋元寶	東・検出面	2.3	2.3	0.1	1.7	北宋 (1101)
25	197	聖宋元寶	SP517・掘方埋土	2.3	2.3	0.1	4.0	北宋 (1101)

田鎖車堂前遺跡掲載銭貨 (I) 一覧

[残存値]・その他最大値

* () 内は初鋳年

掲載No.I	図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
				長さ	幅	厚さ		
26	197	洪武通寶	SK301	2.4	2.4	0.1	2.1	明 (1368)
27	197	洪武通寶	SP515・埋土	2.3	2.2	0.1	2.7	明 (1368)
28	197	洪武通寶	SP515・埋土	2.4	2.4	0.1	2.4	明 (1368)
29	197	永樂通寶	SD401を切る柱穴	[1.8]	2.3	0.05	0.5	明 (1408), 模鑄銭?
30	197	永樂通寶	SP4205	[1.9]	[2.1]	0.05	0.7	明 (1408)
31	198	永樂通寶	木根・攪乱	2.5	2.5	0.1	2.6	明 (1408)
32	198	無文銭	SK801・埋土	[2.2]	[2.1]	0.1	0.9	
33	198	(古) 寛永通寶	SK213・埋土	2.4	2.4	0.1	1.8	江戸 (1636)
34	198	(古) 寛永通寶	SX406・西半埋土	2.4	2.4	0.1	3.2	江戸 (1636)
35	198	(新) 寛永通寶	I Y区・検出面	2.2	2.3	0.1	1.3	江戸 (1739)
36	198	(新) 寛永通寶	SI212・南西・埋土上層	-	-	-	5.0	江戸 (1739), 2枚重ね
37	198	(新) 寛永通寶	SK238	-	-	-	10.2	江戸 (1739), 3枚重ね
38	198	(新) 寛永通寶	SP4248	2.3	2.3	0.1	1.6	江戸 (1739)
39	198	(新) 寛永通寶	表土	2.4	2.4	0.1	2.6	江戸 (1739)

第13表 田鎖車堂前遺跡掲載かわらけ (A) 一覧

(復元値)・[残存値]

掲載No.A	図版	写真 図版	出土状態	特徴	出土状態	出土状態	寸法 (cm)			備考
							口径	器高	器厚	
1	199	188	溝1・ベルト南西・埋土2層目	手づくね・口縁部2段ナデ	非常に精良	10YR7/4にぶい黄橙色	(14.2)	[2.7]	[0.5]	油煙痕明瞭 (灯明皿)
2	199	188	調査区南側トレンチD	手づくね・口縁部2段ナデ	非常に精良	10YR8/2灰白色	(13.0)	[2.4]	[0.5]	口縁端面部取り。
3	199	188	SI205・埋土中位	手づくね・口縁部2段ナデ?	非常に精良	10YR7/4にぶい黄橙色	(13.9)	[1.6]	[0.4]	部分的に橙色の発色。

第14表 田鎖車堂前遺跡掲載土製品 (J) 一覧—古墳時代以降— (復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.J	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
1	285	245	土玉	SI402・床面・直上	1.1	1.2	1.2	1.5	
2	285	245	土錘	SI403・北煙道部	3.3	2.0	2.0	11.9	
3	285	245	平瓦	SD207・B区上位・埋土	[9.1]	(7.9)	2.1	161.1	凸面縄目, 凹面布目
4	285	245	糸巻?	SI205・No.4・床面直上	4.05	4.4	4.5	60.2	
5	285	245	紡錘車	SI14・東・埋土	5.3	5.3	1.8	55.3	
6	285	245	紡錘車	SI205・埋土中位層	[4.5]	(3.4)	1.65	12.2	
7	285	245	紡錘車	SI216・No.1	5.55	5.65	2.8	90.6	
8	285	246	紡錘車	SI216・No.2	6.05	6.2	2.05	85.7	格子目状沈線
9	285	246	紡錘車	SI507・埋土	[5.6]	(3.0)	2.7	39.7	
10	285	246	紡錘車	SI507・北東・埋土下層	5.55	5.7	2.65	90.7	
11	285	246	紡錘車	SI465・埋土	[4.5]	(2.2)	2.2	25.7	
12	285	246	紡錘車	SI418・床直	6.3	6.35	2.7	115.5	
13	285	246	紡錘車	SI733・埋土	[4.7]	(6.1)	2.2	17.7	
14	285	246	紡錘車	SI738・埋土	4.9	(3.1)	1.7	48.9	
15	286	246	紡錘車	SD207・区画D・埋土中層	[5.01]	4.95	2.3	59.4	
16	286	246	紡錘車	IV・III層	5.0	(4.2)	(2.1)	33.1	
17	286	246	紡錘車	Jトレ・Kトレ間包含層・遺構検出面	(3.05)	(2.65)	2.05	13.5	
18	286	246	紡錘車	II Z 5 d・V層?	6.15	4.9	2.1	84.9	
19	286	246	紡錘車	道路北・表土	6.55	6.35	2.7	115.5	
20	286	247	紡錘車	II A (SI?)・表土検出面	[9.0]	9.8	1.3	95.4	
21	286	247	羽口	SI441・カマド付近・埋土	[13.4]	6.8	7.1	454.8	
22	286	247	羽口	SI441・カマド付近・埋土	[9.1]	8.8	8.0	439.6	
23	276	247	埴輪	表土～検出面	[3.45]	[5.1]	1.1	16.4	内外面ハケ
24	276	247	埴輪	SI178・埋土下層	[3.25]	[5.7]	0.85	11.4	内外面ハケ

第15表 田鎖車堂前遺跡掲載土製品 (J) 一覧一弥生・縄文時代一 (復元値)・[残存値]・その他最大値

掲載No.J	図版	写真図版	種別	出土遺構・位置・層位	寸法 (cm)			重さ (g)	備考
					長さ	幅	厚さ		
25	294	265	不明	SI715南付近・Ⅶ層	[5.9]	[4.5]	[2.65]	42.9	弥生土器の脚部?
26	294	265	動物形	SIY1・埋土	[2.55]	[2.4]	[2.85]	7.8	
27	294	265	動物形	SI704・埋土(トレンチ)	[2.2]	1.6	[2.4]	7.1	
28	294	265	円盤形	IIA3e~5f・検出面	[3.6]	3.6	1.25	9.9	
29	354	310	耳飾	SI425・埋土下部	6.3	6.4	3.1	90.3	円環状, 刺突列
30	354	310	耳飾	SI485・埋土	4.7	4.7	2.3	28.6	円環状, 刺突列
31	354	310	耳飾	SI493・埋土	5.9	5.8	2.4	77.2	円環状, 刺突列, ヒレ状突起
32	354	310	耳飾	SF801・ベルトA-A'・3層	[4.5]	[2.3]	2.2	17.4	円環状, 刺突列
33	354	310	耳飾	IIZ1e・検出面	5.0	5.0	2.7	72.1	円環状, 刺突列, ヒレ状突起
34	354	310	耳飾	I Z10f・埋土下部	[4.2]	[3.5]	[1.3]	18.5	滑車状, 刺突列
35a	354	310	耳飾	SI471・貼床	[3.8]	[1.9]	[2.3]	14.9	刺突列
35b	354	310	耳飾	SI471・埋土	[2.6]	[1.8]	[1.1]	3.2	刺突列
36	354	310	土偶	SI488・埋土	[5.15]	3.1	2.55	32.0	
37	354	310	土偶	SI460・埋土	[5.45]	[4.4]	[1.4]	23.7	沈線・縄文
38	354	310	キノコ形	SI902・Q3・埋土上位	[3.8]	[1.65]	-	32.7	
39	354	310	キノコ形	II Z6e	[2.3]	[1.4]	-	34.9	
40	354	310	キノコ形	IIA6c	[3.0]	[1.7]	-	30.4	
41	355	311	キノコ形	SI425・埋土中位	[3.2]	4.7	-	34.4	
42	355	311	キノコ形	SI485・埋土	4.3	5.2	-	9.9	
43	355	311	キノコ形	SI906・Q4・埋土上位	[2.5]	[5.8]	[5.3]	3.5	
44	355	311	キノコ形	SI493・埋土	[2.05]	[4.1]	[4.3]	26.9	
45	355	311	キノコ形	SI412・埋土	4.0	3.2	[2.8]	17.9	
46	355	311	キノコ形	SK904・埋土上位	[2.1]	4.8	4.6	6.7	
47	355	311	斧状	SI406・埋土	[11.35]	3.9	2.4	89.0	貫通円孔, 縄文
48	355	311	斧状	SI754・埋土中位	[10.45]	[4.6]	2.8	143.9	貫通円孔, 刻み列
49	355	302	円盤状	SI493・埋土	3.0	3.55	0.95	10.6	土器片再加工
50	355	312	匙形	SF801・ベルトA-A'・1層	7.1	(6.0)	(3.0)	[33.9]	一側面に突起